

**第7期加西市障害福祉計画及び
第3期加西市障害児福祉計画策定に係る
アンケート調査結果報告書**

令和5年11月

加西市

目次

I アンケート調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	2
II 手帳所持者アンケート調査結果	3
1 基礎的事項.....	4
2 社会参加・理解.....	18
3 生活支援.....	23
4 相談・情報提供.....	37
5 外出・生活環境.....	46
6 災害時の対応.....	51
7 日中生活・収入について.....	55
8 余暇活動について.....	73
9 サービスの利用状況.....	75
10 保健・医療.....	79
11 療育・教育.....	81
12 手助けをしている方の状況.....	87
III 一般市民アンケート調査結果	94
1 基礎的事項.....	94
2 障がいのある人の福祉への関心.....	97
3 障がいのある人に対する理解.....	99
4 障がいのある人への支援.....	104
5 災害時の対応.....	109
6 障がいのある人の就労.....	110
7 福祉のまちづくり・人権尊重.....	111
8 障がいのある人に対する加西市の施策.....	113
IV 事業所調査結果	119

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第7期加西市障害福祉計画及び第3期加西市障害児福祉計画」の策定の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	手帳所持者	一般市民	事業所
調査対象者	市内在住の障害者手帳をお持ちの方（無作為抽出）	18歳以上の市民の方（無作為抽出）	市内で障がい福祉サービス等を実施している事業所
調査期間	令和5年9月22日（金）～10月6日（金）		
調査方法	郵送配布・郵送回収および WEB調査による本人記入方式		郵送配布・郵送回収
配布数	1,550件	1,000件	30件
有効回収数	696件	361件	19件
有効回収率	44.9%	36.1%	63.3%

3 報告書の見方

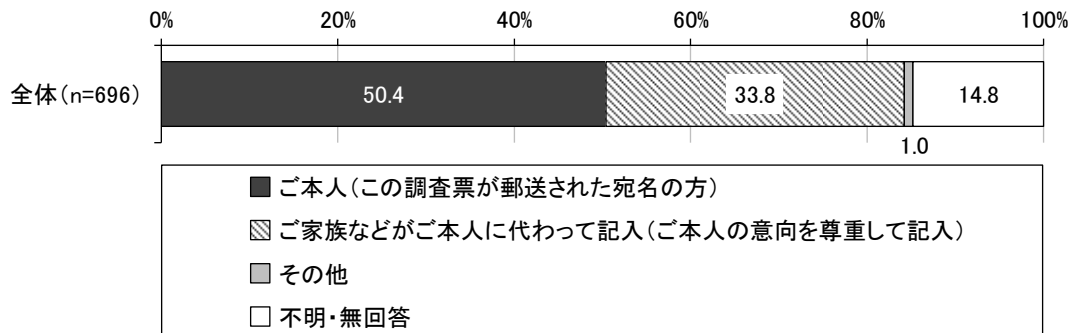
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇本報告書は、それぞれの手帳所持者別にクロス集計をかけることで身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者がそれぞれに数えられ、集計されています。
- ◇図表中及び分析文において、身体障害者手帳所持者を〔身体〕、療育手帳所持者を〔療育〕、精神障害者保健福祉手帳所持者を〔精神〕と表記しています。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇集計対象者総数が少ないクロス集計（n=10）については、分析文の記載を省略しています。

Ⅱ 手帳所持者アンケート調査結果

問1 アンケートに回答していただくのはどなたですか。(単数回答)

回答者についてみると、「ご本人（この調査票が郵送された宛名の方）」が 50.4%、「ご家族などがご本人に代わって記入（ご本人の意向を尊重して記入）」が 33.8%となっています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「ご本人（この調査票が郵送された宛名の方）」、[療育]では「ご家族などがご本人に代わって記入（ご本人の意向を尊重して記入）」が高くなっています。



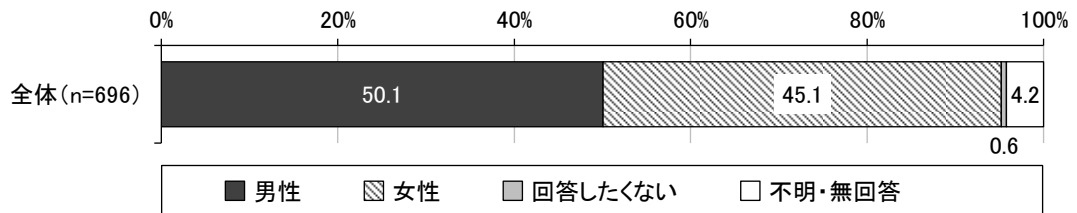
単位: %		送 ご さ れ た 宛 名 の 調 査 票 が 郵	向 を 尊 重 し て 記 入 し て ご 本 人 の 意	ご 家 族 な ど が ご 本 人 に 代	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		50.4	33.8	1.0	14.8	
所持 手 帳	身体 (n=420)	55.7	30.7	1.2	12.4	
	療育 (n=170)	27.6	58.2	2.4	11.8	
	精神 (n=156)	62.8	23.1	0.6	13.5	

I 基礎的事項

問2 あなたの性別をお答えください。(単数回答)

性別についてみると、「男性」が50.1%、「女性」が45.1%、「回答したくない」が0.6%となっています。

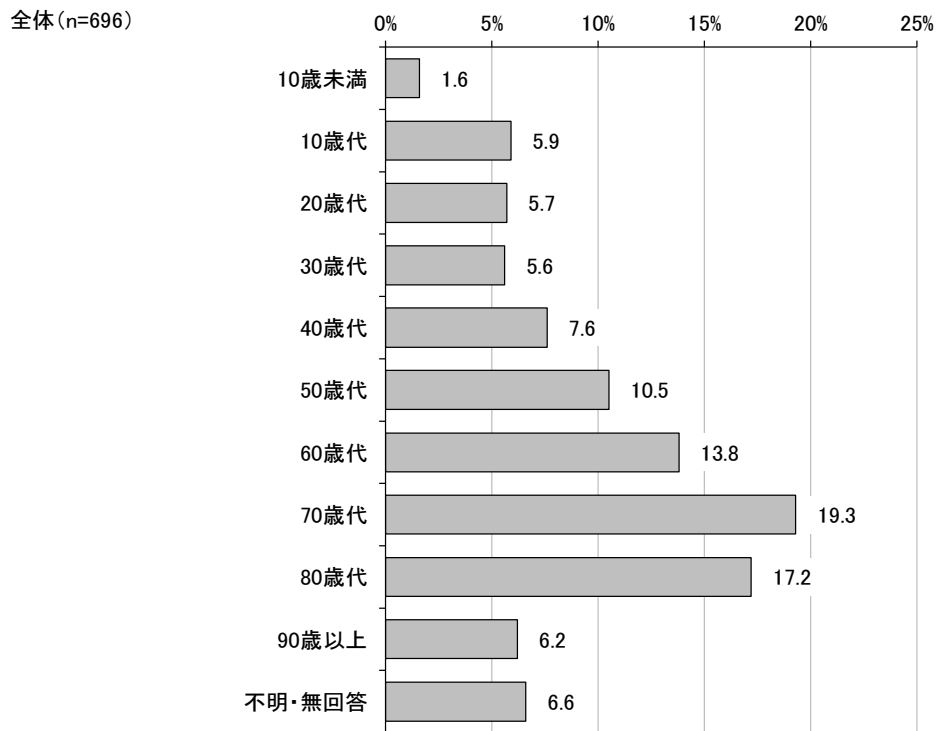
所持手帳でみると、[身体][療育]では「男性」、[精神]では「女性」が高くなっています。



単位: %		男性	女性	回答したくない	不明・無回答
全体 (n=696)		50.1	45.1	0.6	4.2
所持手帳	身体 (n=420)	52.9	46.2	0.2	0.7
	療育 (n=170)	58.2	40.0	1.2	0.6
	精神 (n=156)	42.9	55.8	0.6	0.6

問3 あなたのご年齢をお答えください。(令和5年9月1日現在)(数量回答)

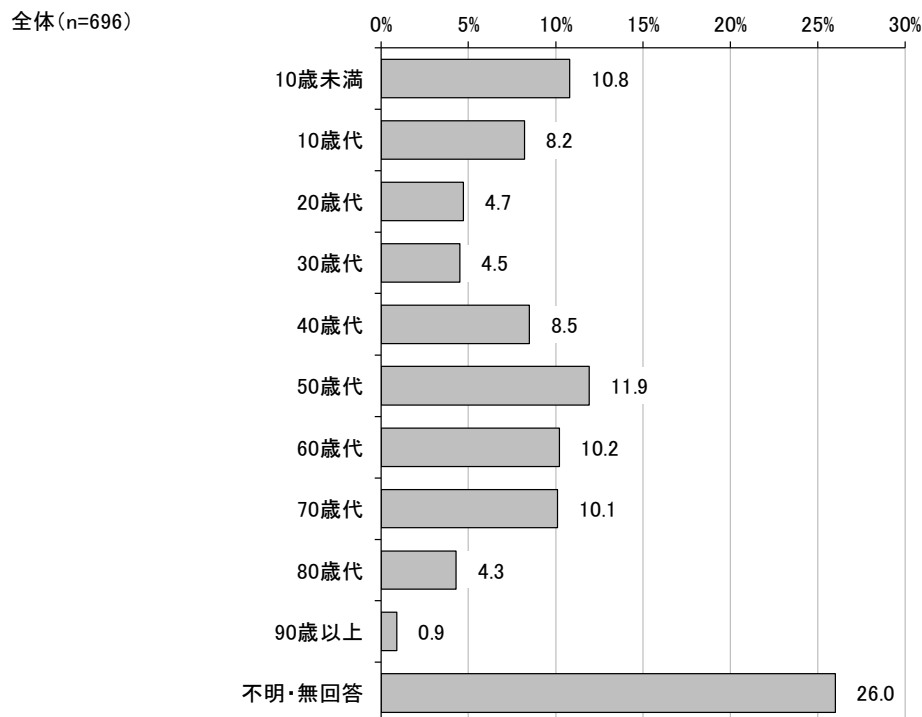
年齢についてみると、「70歳代」が19.3%、「80歳代」が17.2%、「60歳代」が13.8%となっています。



問3 また、あなたが手帳を初めて取得した時のご年齢をお答えください。(数量回答)

手帳取得年齢についてみると、「50歳代」が11.9%、「10歳未満」が10.8%、「60歳代」が10.2%となっています。

所持手帳でみると、[療育]では「10歳未満」「10歳代」の割合が他と比べて高くなっています。

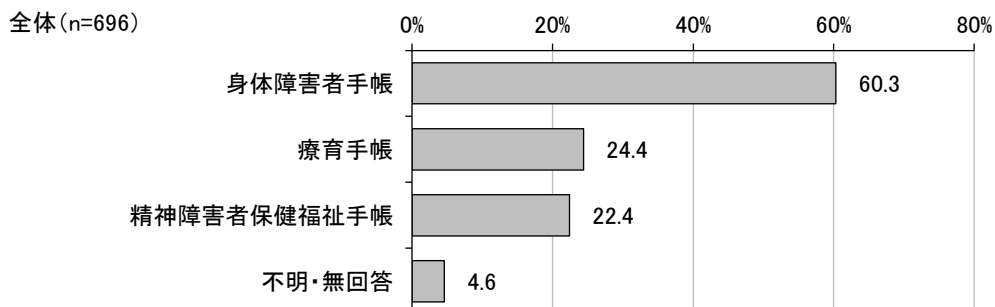


単位: %		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
全体(n=696)		10.8	8.2	4.7	4.5	8.5	11.9	10.2	10.1	4.3	0.9	26.0
所持手帳	身体(n=420)	6.7	4.3	3.6	3.8	6.7	14.3	13.8	16.2	7.1	1.4	22.1
	療育(n=170)	35.9	25.9	1.8	1.2	6.5	3.5	1.2	0.6	0.0	1.2	22.4
	精神(n=156)	1.9	3.2	12.2	9.0	14.7	14.7	9.6	3.2	0.0	1.3	30.1

問4 あなたが所持している障害者手帳について、教えてください。(複数回答)

所持している障害者手帳についてみると、「身体障害者手帳」が60.3%、「療育手帳」が24.4%、「精神障害者保健福祉手帳」が22.4%となっています。

年齢別で見ると、「18歳未満」では「療育手帳」が他と比べて高くなっています。また、「65歳以上」では「身体障害者手帳」の割合が他と比べて高くなっています。

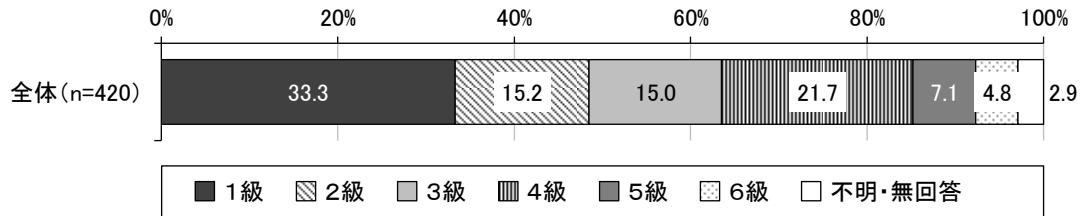


単位: %		身体障害者手帳	療育手帳	福祉精神障害者保健手帳	不明・無回答
全体(n=696)		60.3	24.4	22.4	4.6
年齢別	18歳未満(n=47)	8.5	97.9	2.1	0.0
	18~64歳(n=251)	35.5	41.4	41.8	1.6
	65歳以上(n=352)	89.8	4.0	12.8	0.6

1-(1)「身体障害者手帳」の等級について、総合等級では何級ですか。(単数回答)

身体障害者手帳の等級についてみると、「1級」が33.3%、「4級」が21.7%、「2級」が15.2%となっています。

年齢別でみると、「18歳～64歳」「65歳以上」では「1級」が高くなっています。

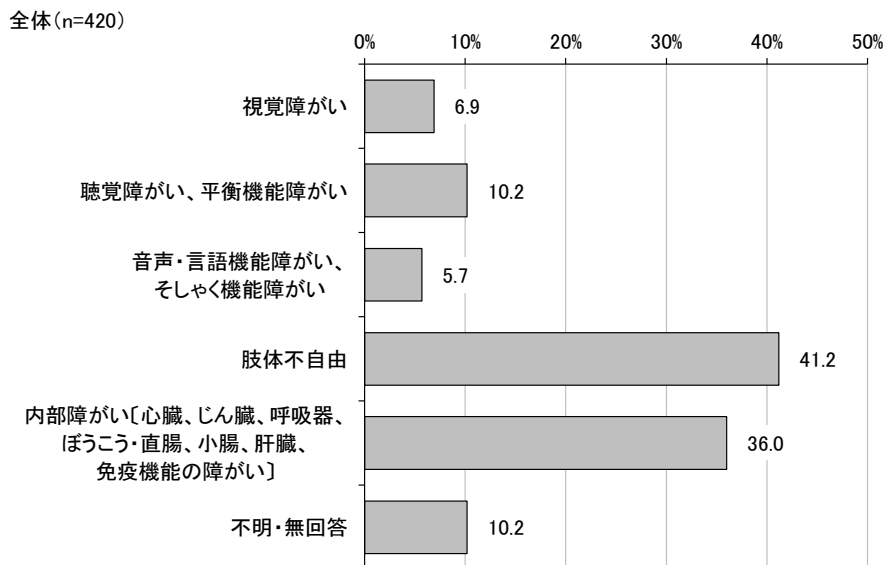


単位: %		1級	2級	3級	4級	5級	6級	不明・無回答
全体 (n=420)		33.3	15.2	15.0	21.7	7.1	4.8	2.9
年齢別	18歳未満 (n=4)	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	18～64歳 (n=89)	36.0	28.1	18.0	13.5	2.2	1.1	1.1
	65歳以上 (n=316)	33.2	11.7	13.9	24.1	8.9	4.7	3.5

1-(2) どのような障がいですか。(複数回答)

障がいの内容についてみると、「肢体不自由」が41.2%、「内部障がい〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障がい〕」が36.0%、「聴覚障がい、平衡機能障がい」が10.2%となっています。

年齢別でみると、「18～64歳」「65歳以上」では「肢体不自由」が高くなっています。

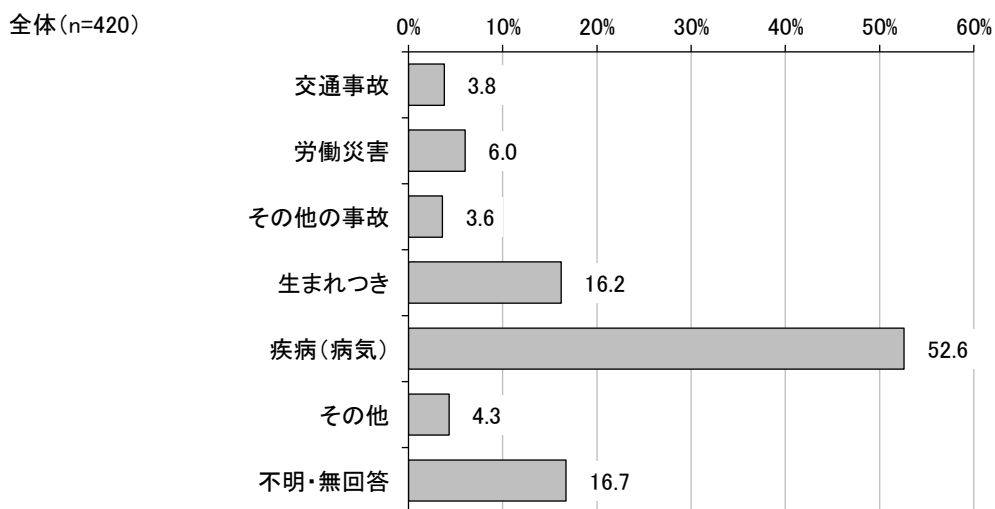


単位: %		視覚障がい	聴覚障がい、平衡機能障がい	音声・言語機能障がい、そしゃく機能障がい	肢体不自由	呼吸器、免疫機能の障がい〔心臓、じん臓、小腸、肝臓、ぼうこう・直腸〕	内部障がい〔心臓、じん臓、小腸、肝臓、ぼうこう・直腸〕	不明・無回答
全体 (n=420)		6.9	10.2	5.7	41.2	36.0	10.2	
年齢別	18歳未満 (n=4)	0.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	
	18～64歳 (n=89)	5.6	9.0	10.1	44.9	29.2	20.2	
	65歳以上 (n=316)	7.6	9.5	4.4	40.5	38.3	7.3	

1-(3) 障がいの原因は、次のどれですか。(複数回答)

障がいの原因についてみると、「疾病（病気）」が 52.6%、「生まれつき」が 16.2%、「労働災害」が 6.0%となっています。

年齢別でみると、「18～64 歳」「65 歳以上」では「疾病（病気）」が高くなっています。

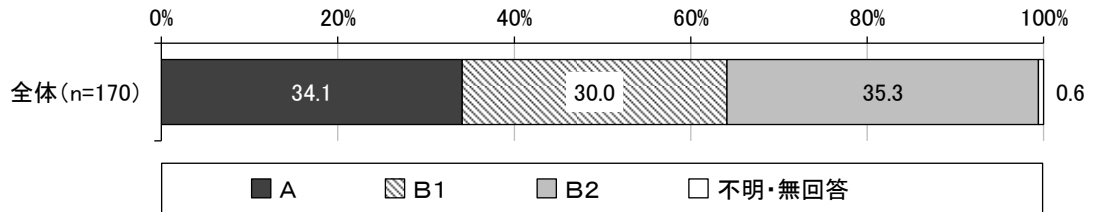


単位: %		交通事故	労働災害	その他の事故	生まれつき	疾病(病気)	その他	不明・無回答
全体 (n=420)		3.8	6.0	3.6	16.2	52.6	4.3	16.7
年齢別	18歳未満 (n=4)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
	18～64歳 (n=89)	4.5	4.5	0.0	37.1	44.9	4.5	11.2
	65歳以上 (n=316)	3.5	6.6	4.7	9.5	55.7	4.1	18.0

2- (1) 「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(単数回答)

療育手帳の判定についてみると、「B 2」が35.3%、「A」が34.1%、「B 1」が30.0%となっています。

年齢別でみると、[18歳未満]では「B 2」、[18~64歳][65歳以上]では「A」が高くなっています。

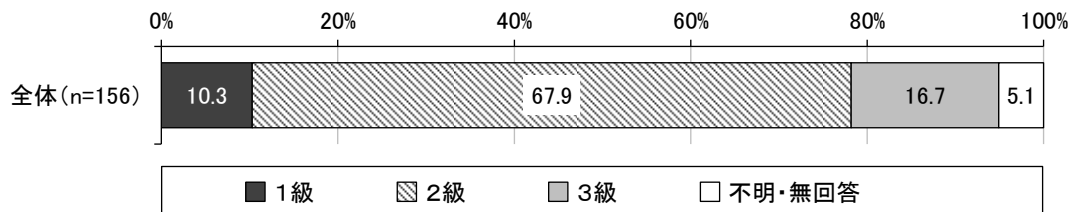


単位: %		A	B 1	B 2	不明・無回答
全体 (n=170)		34.1	30.0	35.3	0.6
年齢別	18歳未満 (n=46)	13.0	17.4	69.6	0.0
	18~64歳 (n=104)	42.3	34.6	22.1	1.0
	65歳以上 (n=14)	50.0	35.7	14.3	0.0

3- (1) 「精神障害者保健福祉手帳」の等級は、何級ですか。(単数回答)

精神障害者保健福祉手帳の等級についてみると、「2級」が67.9%、「3級」が16.7%、「1級」が10.3%となっています。

年齢別でみると、[18~64歳][65歳以上]では「2級」が高くなっています。

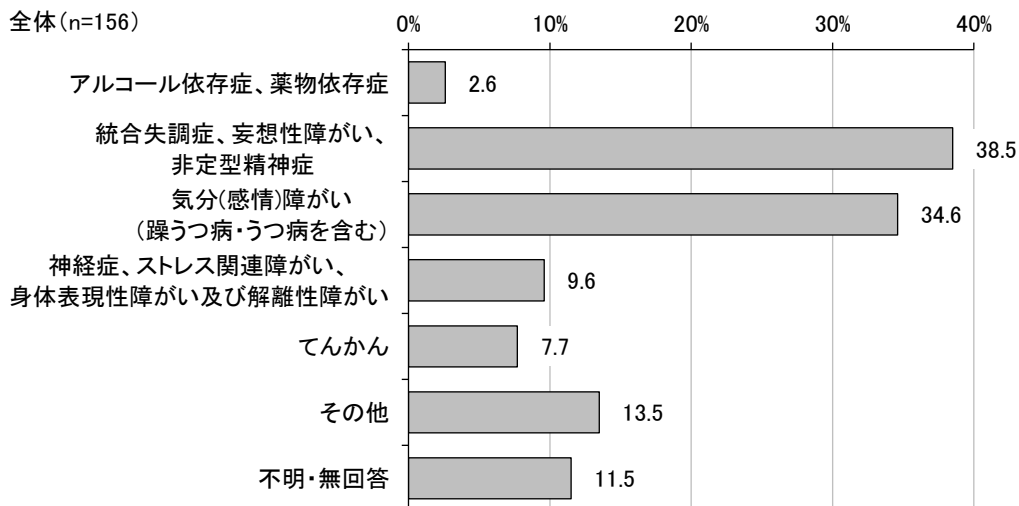


単位: %		1 級	2 級	3 級	不明・無回答
全体 (n=156)		10.3	67.9	16.7	5.1
年齢別	18歳未満 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0
	18~64歳 (n=105)	4.8	75.2	18.1	1.9
	65歳以上 (n=45)	24.4	53.3	11.1	11.1

3-(2) 次のうち、該当するものはありますか。(複数回答)

該当する内容についてみると、「統合失調症、妄想性障がい、非定型精神症」が38.5%、「気分(感情)障がい(躁うつ病・うつ病を含む)」が34.6%、「神経症、ストレス関連障がい、身体表現性障がい及び解離性障がい」が9.6%となっています。

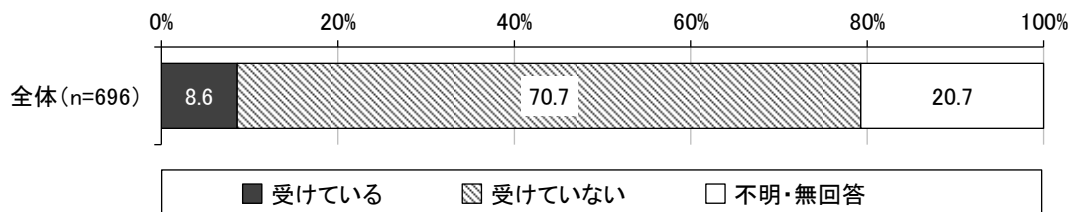
年齢別でみると、[18～64歳][65歳以上]では「統合失調症、妄想性障がい、非定型精神症」が高くなっています。



単位: %		アルコール依存症、薬物	統合失調症、妄想性障がい	気分(感情)障がい(躁うつ病・うつ病を含む)	神経症、ストレス関連障がい	てんかん	その他	不明・無回答
全体(n=156)		2.6	38.5	34.6	9.6	7.7	13.5	11.5
年齢別	18歳未満(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	18～64歳(n=105)	1.9	41.9	40.0	8.6	7.6	13.3	7.6
	65歳以上(n=45)	4.4	33.3	24.4	13.3	6.7	13.3	17.8

問5 あなたは、難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（単数回答）

難病の認定についてみると、「受けていない」が70.7%と、「受けている」の8.6%を上回っています。年齢別でみると、すべての場合において「受けていない」が高くなっています。

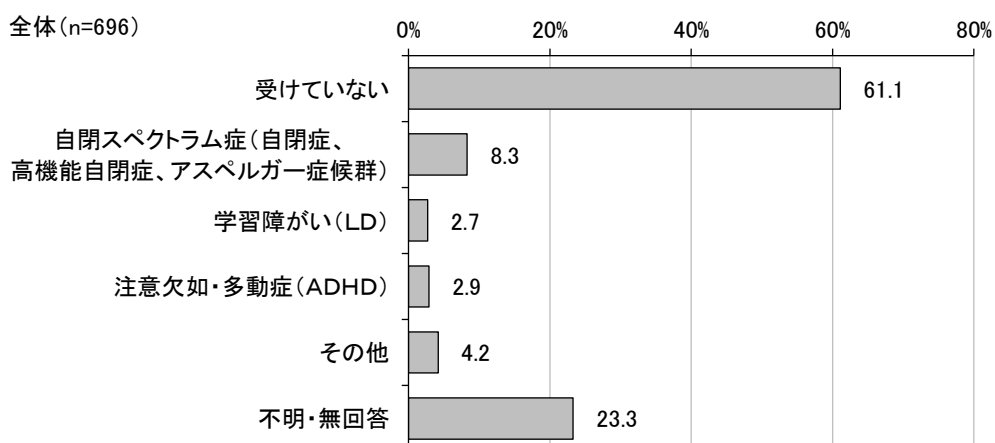


単位：%		受けている	受けていない	不明・無回答
全体 (n=696)		8.6	70.7	20.7
年齢別	18歳未満 (n=47)	2.1	93.6	4.3
	18～64歳 (n=251)	10.4	79.7	10.0
	65歳以上 (n=352)	9.1	66.8	24.1

問6 あなたは、これまでに医療機関から発達障がいの診断（疑いを含む）を受けたことがありますか。（複数回答）

発達障がいの診断についてみると、「受けていない」が61.1%と最も高く、次いで「自閉スペクトラム症（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群）」が8.3%、「注意欠陥・多動症（ADHD）」が2.9%となっています。

年齢別で見ると、「18歳未満」では「自閉スペクトラム症（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群）」、「18～64歳」「65歳以上」では「受けていない」が高くなっています。

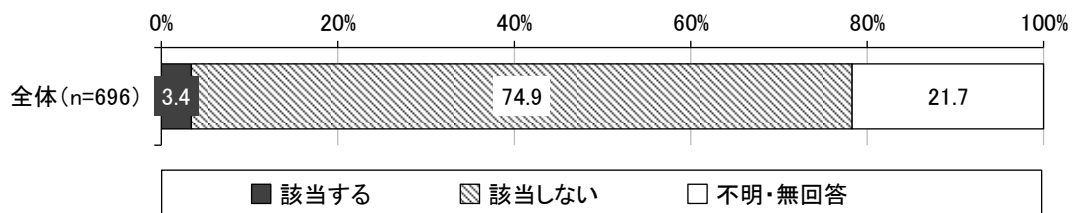


単位: %		受けていない	アスペルガー症候群、自閉症、高機能自閉症	自閉スペクトラム症 (LD)	注意欠如・多動症 (ADHD)	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		61.1	8.3	2.7	2.9	4.2	23.3
年齢別	18歳未満 (n=47)	10.6	48.9	14.9	21.3	17.0	4.3
	18～64歳 (n=251)	66.1	12.0	3.6	3.6	6.0	12.0
	65歳以上 (n=352)	69.9	0.3	0.6	0.3	1.4	27.6

問7 あなたは、高次脳機能障がいに該当しますか。(単数回答)

高次脳機能障がいに該当するかについてみると、「該当しない」が74.9%と、「該当する」の3.4%を上回っています。

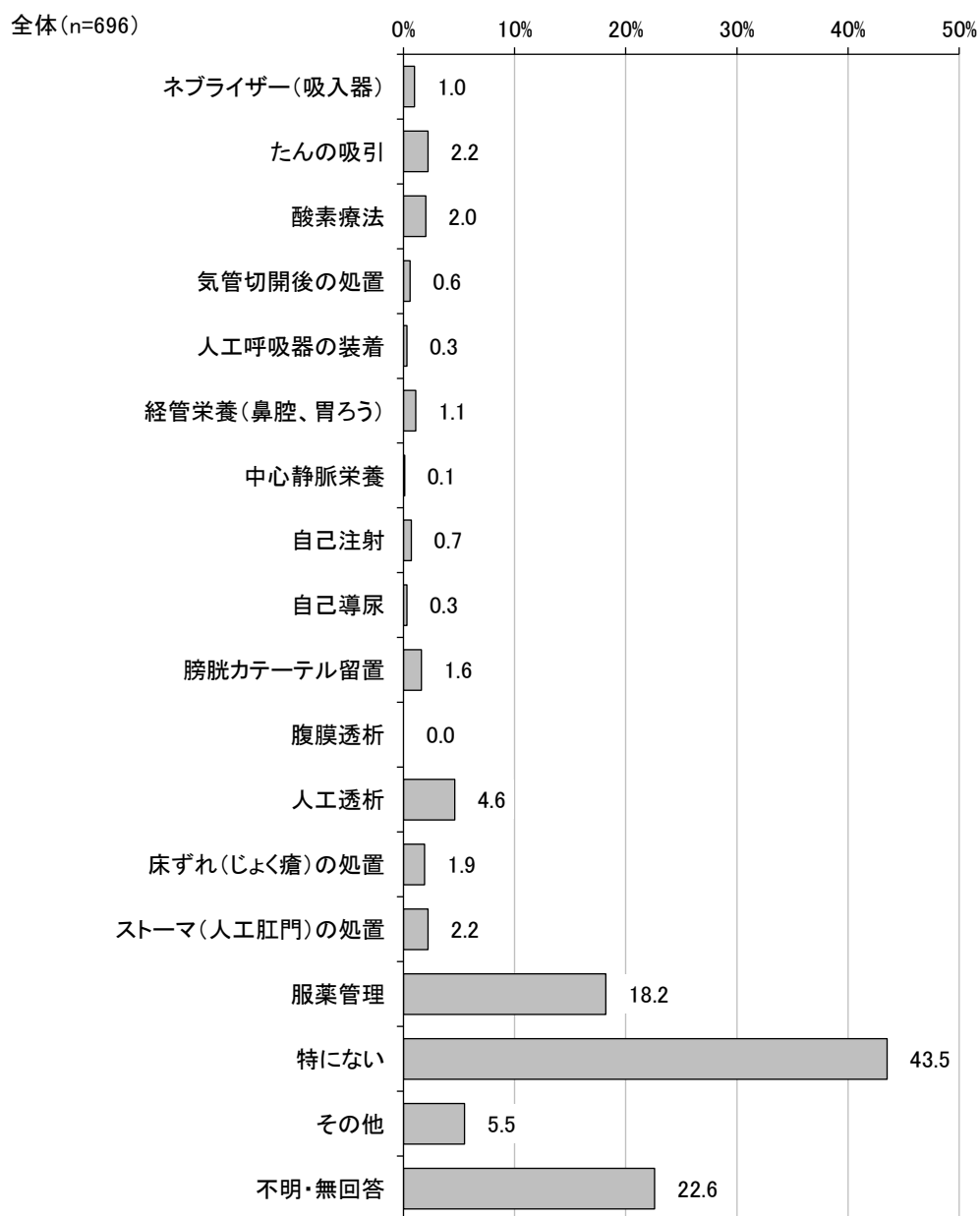
年齢別で見ると、すべての場合において「該当しない」が高くなっています。



単位: %		該当する	該当しない	不明・無回答
全体 (n=696)		3.4	74.9	21.7
年齢別	18歳未満 (n=47)	2.1	95.7	2.1
	18~64歳 (n=251)	4.0	87.3	8.8
	65歳以上 (n=352)	3.7	68.5	27.8

問8 あなたが必要としている医療的ケア（医療処置）はどれですか。（複数回答）

必要としている医療的ケアについてみると、「特にない」が43.5%と最も高く、次いで「服薬管理」が18.2%、「人工透析」が4.6%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「特にない」が高くなっていますが、[身体]では「人工透析」が他と比べて高くなっています。

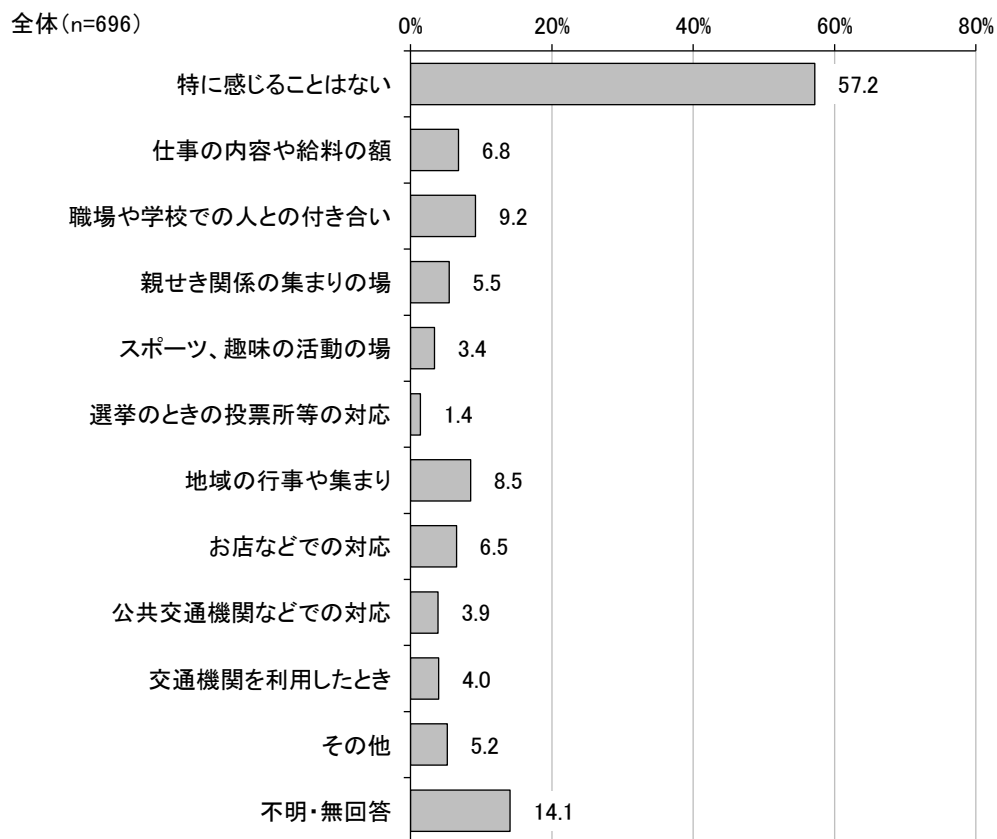
単位：%		ネブライザー (吸入器)	たんの吸引	酸素療法	気管切開後の処 置	人工呼吸器の装 着	経管栄養(鼻 腔、胃ろう)	中心静脈栄養	自己注射	自己導尿	膀胱カテーテル 留置
全体(n=696)		1.0	2.2	2.0	0.6	0.3	1.1	0.1	0.7	0.3	1.6
所持手帳	身体(n=420)	1.2	3.3	3.3	1.0	0.5	1.9	0.0	1.2	0.5	2.4
	療育(n=170)	1.2	2.9	1.8	1.2	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	1.8
	精神(n=156)	0.6	1.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	1.3	0.0	0.6

単位：%		腹膜透析	人工透析	床ずれ(じよく 瘡)の処置	ストーマ(人工 肛門)の処置	服薬管理	特にない	その他	不明・無回答
全体(n=696)		0.0	4.6	1.9	2.2	18.2	43.5	5.5	22.6
所持手帳	身体(n=420)	0.0	7.6	2.9	3.6	16.2	38.1	6.2	23.1
	療育(n=170)	0.0	0.6	1.2	0.0	20.6	57.6	2.9	15.9
	精神(n=156)	0.0	1.9	0.0	0.0	25.0	50.6	9.0	12.2

2 社会参加・理解

問9 あなたは日常生活において、障がいがあるために差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされたと感じることがありますか。また、どのようなときにそれを感じましたか。(複数回答)

差別や偏見を感じた経験の有無とその具体的な場面についてみると、「特に感じることはない」が57.2%と最も高く、次いで「職場や学校での人との付き合い」が9.2%、「地域の行事や集まり」が8.5%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「特に感じることはない」が高くなっています。

単位：%		は特 ない に感 じる こ と	仕 事 の 内 容 や 給 料 の 額	職 場 や 学 校 で の 人 と の 付 き 合 い	ま 親 の せ き 関 係 の 集 ま り の 場	の ス ポ ー ツ 、 趣 味 の 活 動 の 場	選 挙 の と き の 投 票 所 等 の 対 応	地 域 の 行 事 や 集 まり	お 店 な ど で の 対 応	公 共 交 通 機 関 な ど の 対 応	交 通 機 関 を 利 用 し た と き
全体(n=696)		57.2	6.8	9.2	5.5	3.4	1.4	8.5	6.5	3.9	4.0
所持 手 帳	身体(n=420)	65.2	3.8	4.8	2.9	2.4	1.7	5.7	4.3	3.1	2.9
	療育(n=170)	37.6	10.6	20.6	8.8	6.5	2.4	13.5	12.9	5.9	7.6
	精神(n=156)	44.9	14.1	12.8	9.0	5.1	0.0	12.8	8.3	5.1	3.2

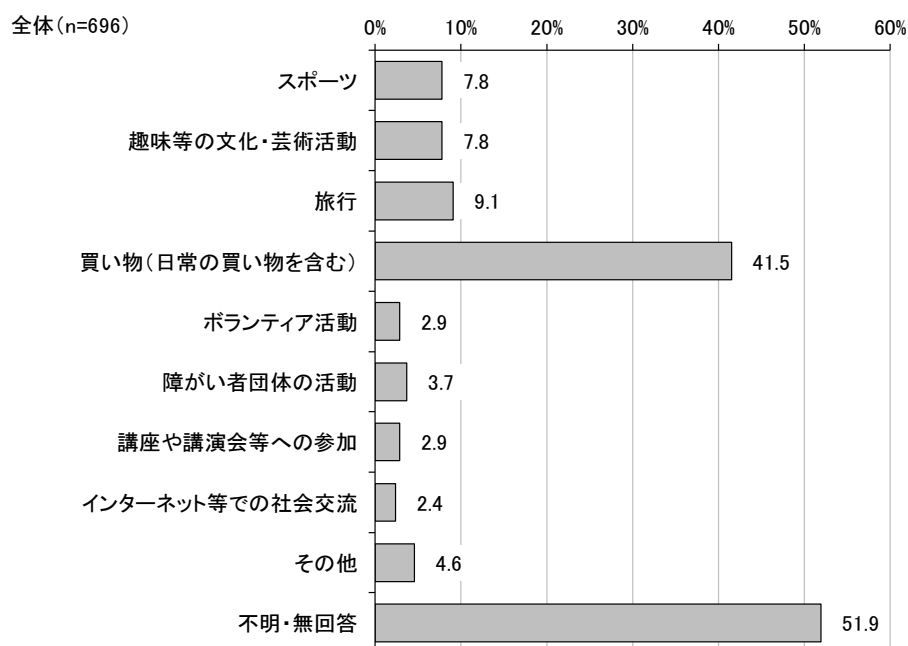
単位：%		そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=696)		5.2	14.1
所持 手 帳	身体(n=420)	4.0	15.7
	療育(n=170)	6.5	14.1
	精神(n=156)	10.9	11.5

問 10 あなたは、最近どのような社会参加をされていますか。また、今後どのような社会参加をしたいと思われますか。

「最近1か月間に参加した」内容（複数回答）

最近1か月間に参加した内容についてみると、「買い物（日常の買い物を含む）」が41.5%と最も高く、次いで「旅行」が9.1%、「スポーツ」「趣味の文化・芸術活動」が7.8%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「買い物（日常の買い物を含む）」が高くなっていますが、[療育]では「旅行」が他と比べて高くなっています。

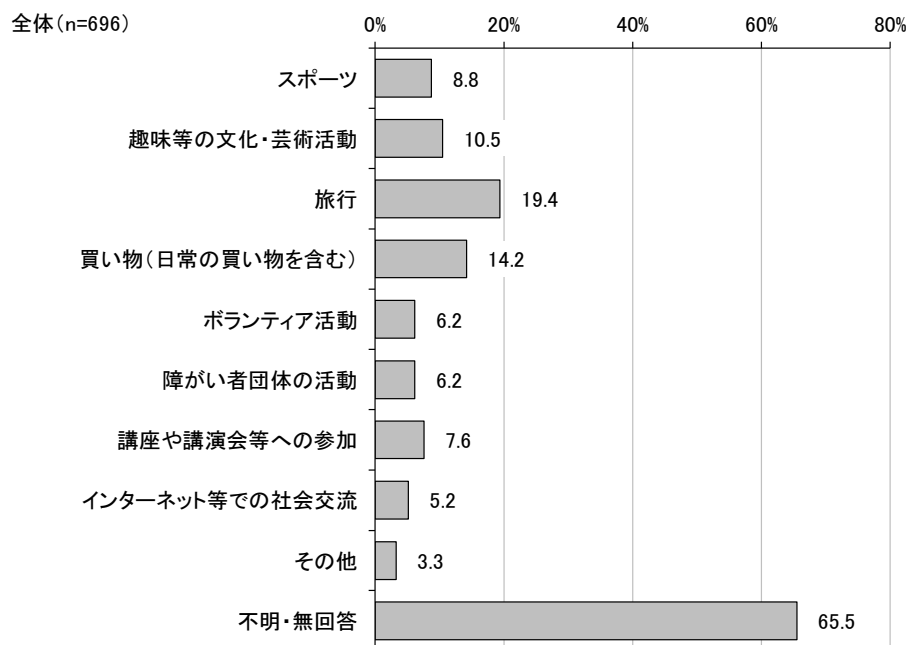


単位: %		ス ポ ー ツ	芸 術 活 動 の 文 化 ・	旅 行	買 い 物 を 含 む 日 常 の	動 ボ ラ ン テ ィ ア 活	活 動 が い 者 団 体 の	へ の 参 加 や 講 演 会 等	等 で の 社 会 交 流	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		7.8	7.8	9.1	41.5	2.9	3.7	2.9	2.4	4.6	51.9
所持手帳	身体 (n=420)	7.4	7.9	8.1	36.7	3.3	2.4	3.3	1.7	4.0	56.2
	療育 (n=170)	9.4	8.8	15.3	51.2	1.2	7.6	1.8	3.5	4.1	43.5
	精神 (n=156)	7.1	7.1	5.1	45.5	2.6	5.1	1.9	3.2	4.5	48.1

「今後参加したい」内容（複数回答）

今後参加したい内容についてみると、「旅行」が19.4%と最も高く、次いで「買い物（日常の買い物を含む）」が14.2%、「趣味等の文化・芸術活動」が10.5%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「旅行」が高くなっています。

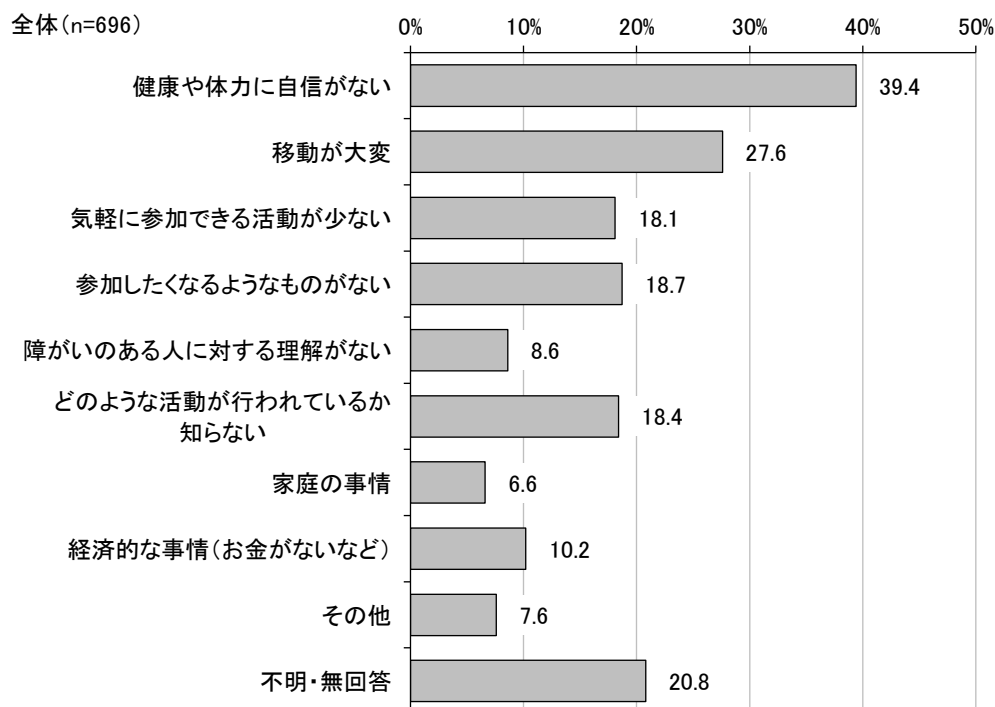


単位: %		スポーツ	趣味等の文化・芸術活動	旅行	買い物(日常の買い物を含む)	ボランティア活動	障がい者団体の活動	講座や講演会等への参加	インターネット等での社会交流	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		8.8	10.5	19.4	14.2	6.2	6.2	7.6	5.2	3.3	65.5
所持手帳	身体 (n=420)	5.2	6.9	14.3	10.7	4.3	4.8	6.7	3.6	1.9	71.0
	療育 (n=170)	14.7	16.5	24.1	18.8	8.8	8.8	8.8	7.1	5.9	57.6
	精神 (n=156)	10.9	13.5	28.2	16.0	8.3	7.1	8.3	5.8	7.1	58.3

問 11 あなたが地域活動に参加される場合、特に問題となることは何ですか。(3つまで回答)

地域活動に参加される場合、特に問題となることについてみると、「健康や体力に自信がない」が39.4%と最も高く、次いで「移動が大変」が27.6%、「参加したくなるようなものがない」が18.7%となっています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「健康や体力に自信がない」、[療育]では「移動が大変」が高くなっています。



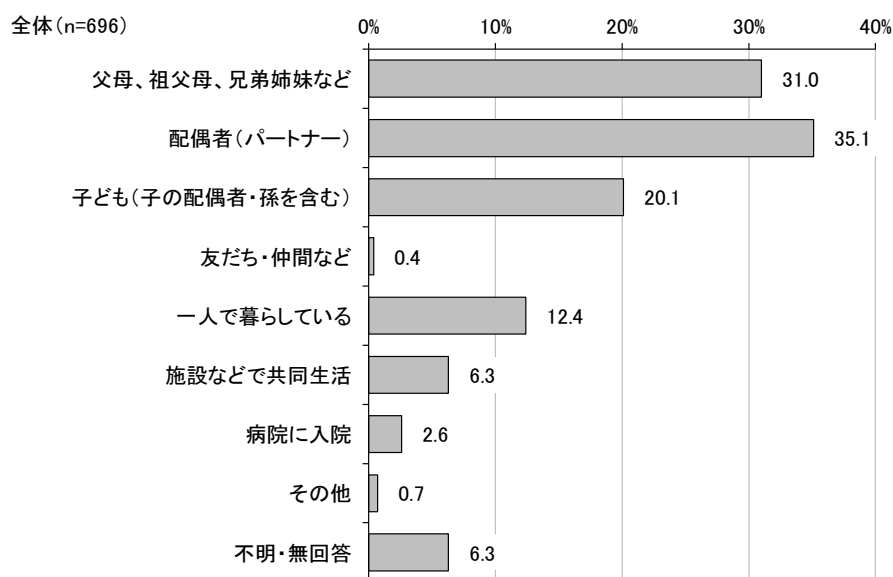
単位: %		健康や体力に自信がない	移動が大変	気軽に参加できる活動が少ない	参加したくなるようなものがない	障がいのある人に対する理解がない	どのような活動が行われているか知らない	家庭の事情	経済的な事情(お金がないなど)	その他	不明・無回答
全体(n=696)		39.4	27.6	18.1	18.7	8.6	18.4	6.6	10.2	7.6	20.8
所持手帳	身体(n=420)	43.8	31.4	15.2	14.8	5.2	14.5	4.3	8.1	7.6	24.0
	療育(n=170)	20.6	27.6	27.1	27.1	18.8	22.4	11.2	8.8	6.5	16.5
	精神(n=156)	44.2	21.8	19.2	19.9	10.3	25.6	9.6	23.1	7.1	16.0

3 生活支援

問 12 現在、あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。あなたからみた続柄で、該当する方をお答えください。(複数回答)

現在、一緒に暮らしている人についてみると、「配偶者（パートナー）」が 35.1%と最も高く、次いで「父母、祖父母、兄弟姉妹など」が 31.0%、「子ども（子の配偶者・孫を含む）」が 20.1%となっています。

所持手帳でみると、[身体] では「配偶者（パートナー）」、[療育] [精神] では「父母、祖父母、兄弟姉妹など」が高くなっています。

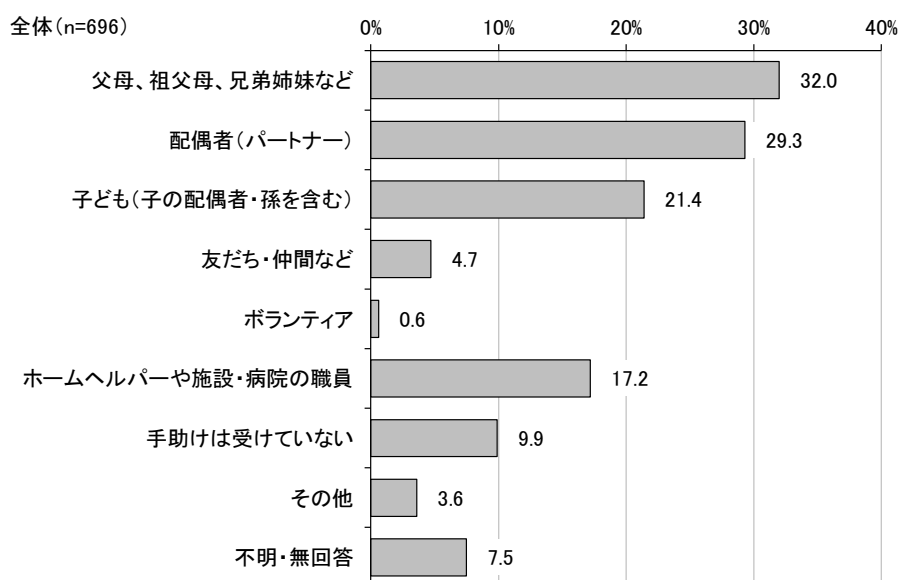


単位：%		父母、祖父母、兄弟姉妹など	配偶者（パートナー）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	友だち・仲間など	一人で暮らしている	施設などで共同生活	病院に入院	その他	不明・無回答
全体(n=696)		31.0	35.1	20.1	0.4	12.4	6.3	2.6	0.7	6.3
所持手帳	身体(n=420)	14.0	48.8	27.1	0.7	11.2	6.4	1.9	0.7	6.7
	療育(n=170)	72.4	2.9	1.2	0.6	7.1	10.6	1.8	0.6	5.9
	精神(n=156)	42.3	23.1	14.1	0.6	19.2	4.5	5.1	0.6	5.8

問 13 ふだん、あなたを手助けしているのは、どなたですか。(複数回答)

ふだん、手助けしている人についてみると、「父母、祖父母、兄弟姉妹など」が 32.0%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」が 29.3%、「子ども（子の配偶者・孫を含む）」が 21.4%となっています。

所持手帳でみると、[身体] では「配偶者（パートナー）」、[療育] [精神] では「父母、祖父母、兄弟姉妹など」が高くなっています。また、[身体] では「子ども（子の配偶者・孫を含む）」の割合が他と比べて高くなっています。

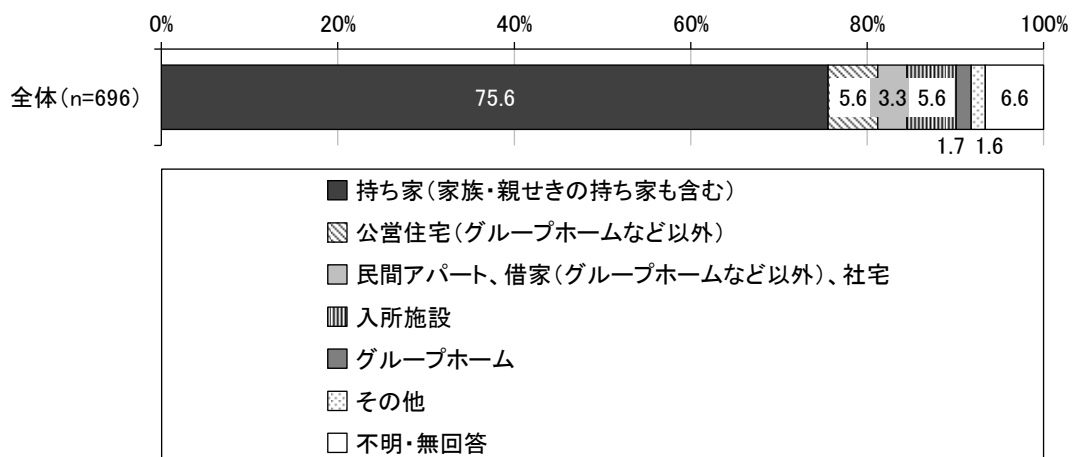


単位: %		父母、 姉妹、 な祖 父母、 兄	配 偶 者 (パ ー ト ナ ー)	子 ど も (子 の 配 偶 者 ・ 孫 を 含 む)	友 だ ち ・ 仲 間 な ど	ボ ラ ン テ ィ ア	施 設 ・ ホ ム ヘ ル パ ー や 病 院 の 職 員	手 助 け は 受 け て い ない	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		32.0	29.3	21.4	4.7	0.6	17.2	9.9	3.6	7.5
所持 手 帳	身体 (n=420)	14.3	41.0	31.0	4.3	1.0	15.7	10.0	3.3	8.1
	療育 (n=170)	68.8	2.4	1.2	5.3	1.2	23.5	7.6	4.1	7.1
	精神 (n=156)	47.4	21.2	11.5	6.4	0.6	22.4	10.9	3.8	6.4

問 14 あなたは、どこで暮らしていますか。(単数回答)

どこで暮らしているかについてみると、「持ち家(家族・親せきの持ち家も含む)」が75.6%と最も高く、次いで「公営住宅(グループホームなど以外)」「入所施設」が5.6%、「民間アパート、借家(グループホームなど以外)、社宅」が3.3%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「持ち家(家族・親せきの持ち家も含む)」が高くなっていますが、[精神]では「公営住宅(グループホームなど以外)」が他と比べて高くなっています。

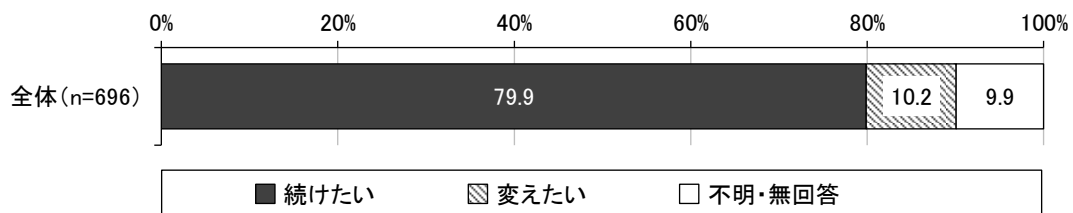


単位: %		の持ち家(家族・親せきも含む)	公営住宅(グループホームなど以外)	民間アパート、借家(グループホームなど)	入所施設	グループホーム	その他	不明・無回答
全体(n=696)		75.6	5.6	3.3	5.6	1.7	1.6	6.6
所持手帳	身体(n=420)	78.6	3.8	1.4	7.1	0.7	1.4	6.9
	療育(n=170)	70.0	6.5	4.7	5.3	5.9	0.6	7.1
	精神(n=156)	64.7	11.5	9.0	3.2	1.3	1.3	9.0

問 15 あなたは、今の暮らし方を続けたいと思われませんか。(単数回答)

今の暮らし方を続けたいと思うかについてみると、「続けたい」が79.9%と、「変えたい」の10.2%を上回っています。

所持手帳で見ると、すべての場合において「続けたい」が高くなっています。



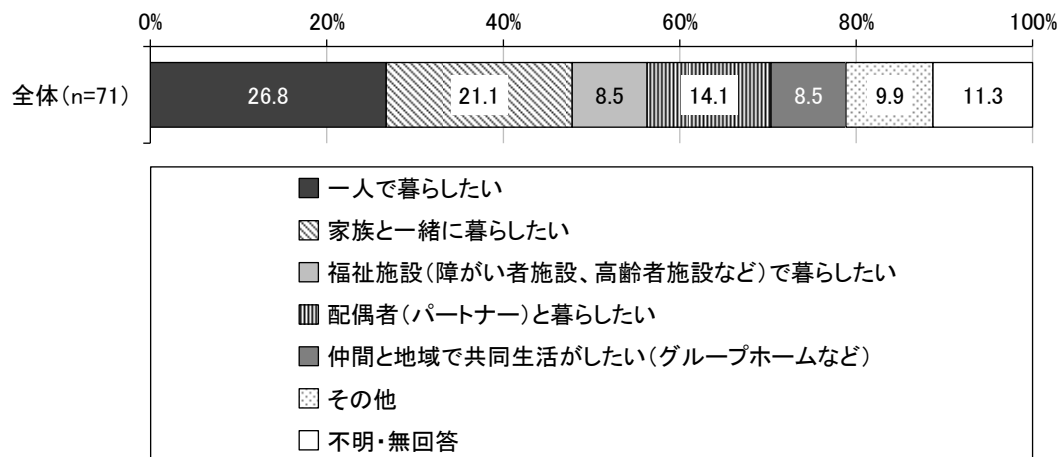
単位: %		続けたい	変えたい	不明・無回答
全体 (n=696)		79.9	10.2	9.9
所持手帳	身体 (n=420)	83.6	5.5	11.0
	療育 (n=170)	77.6	15.3	7.1
	精神 (n=156)	67.3	25.0	7.7

問 15 で「変えたい」と回答された方にお伺いします。

問 16 どのような暮らし方をしたいと思われますか。(単数回答)

どのような暮らし方をしたいと思うかについてみると、「一人で暮らしたい」が 26.8%と最も高く、次いで「家族と一緒に暮らしたい」が 21.1%、「配偶者（パートナー）と暮らしたい」が 14.1%となっています。

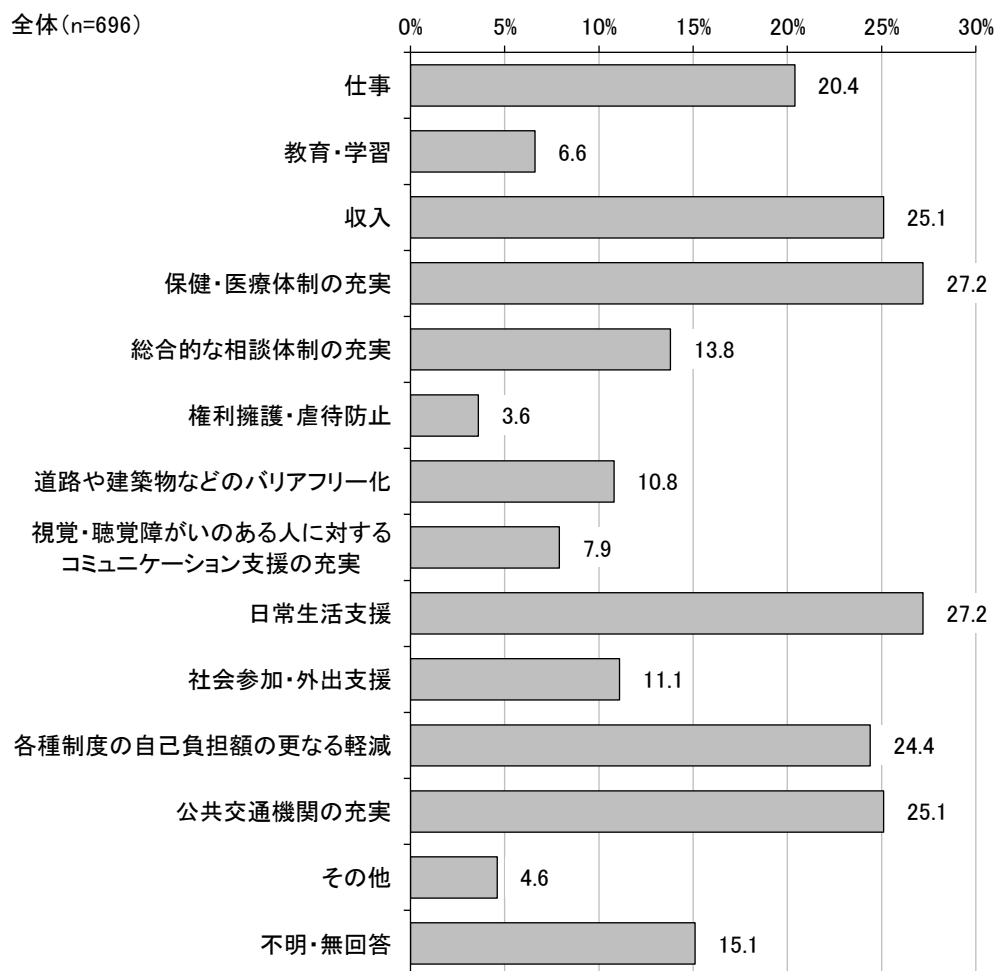
所持手帳でみると、[身体]では「家族と一緒に暮らしたい」、[療育][精神]では「一人で暮らしたい」が高くなっています。また、[精神]では「配偶者（パートナー）と暮らしたい」の割合が他と比べて高くなっています。



単位:%		一人で暮らしたい	家族と一緒に暮らしたい	福祉施設(障がい者施設、高齢者施設など)で暮らしたい	配偶者(パートナー)と暮らしたい	仲間と地域で共同生活がしたい(グループホームなど)	その他	不明・無回答
全体(n=71)		26.8	21.1	8.5	14.1	8.5	9.9	11.3
所持手帳	身体(n=23)	17.4	39.1	13.0	8.7	0.0	8.7	13.0
	療育(n=26)	38.5	7.7	7.7	7.7	11.5	11.5	15.4
	精神(n=39)	28.2	10.3	2.6	23.1	10.3	15.4	10.3

問 17 加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちになるには、次のうち特にどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。（3つまで回答）

加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちになるには、特にどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思うかについてみると、「保健・医療体制の充実」「日常生活支援」が 27.2%と最も高く、次いで「収入」「公共交通機関の充実」が 25.1%、「各種制度の自己負担額の更なる軽減」が 24.4%となっています。



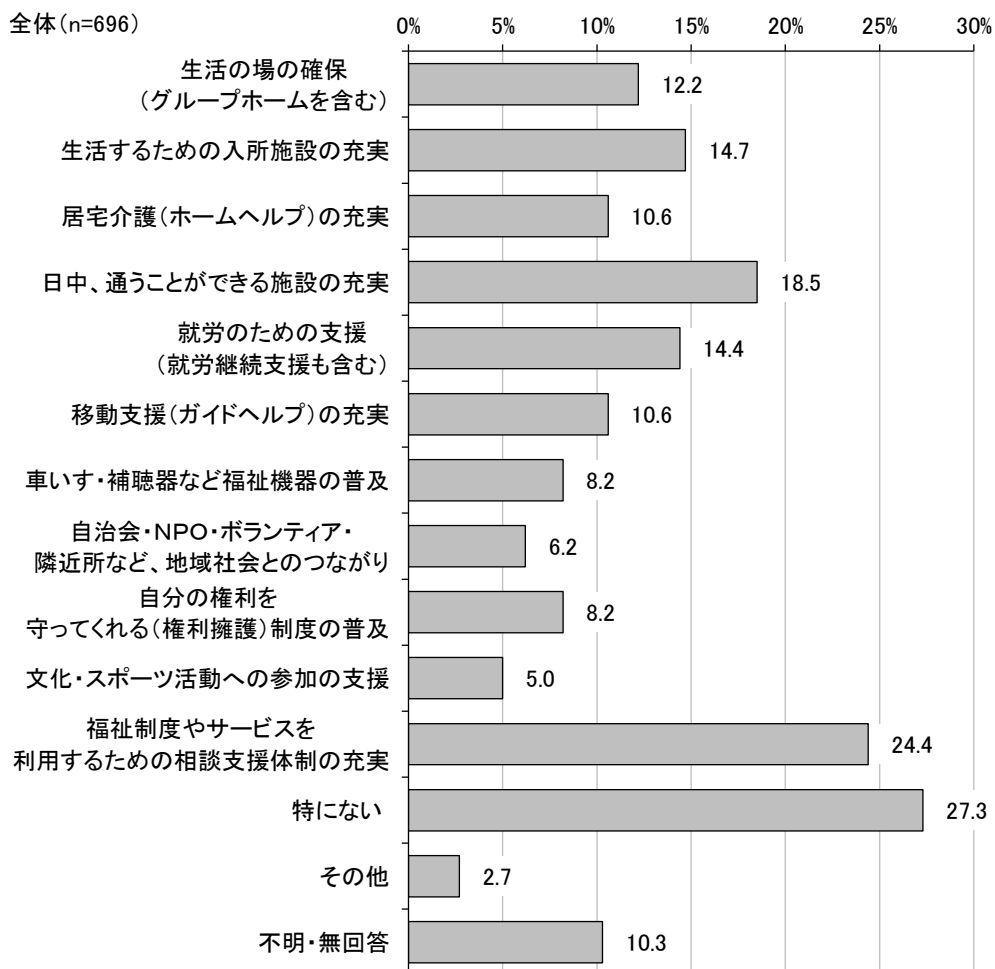
所持手帳でみると、[身体] では「保健・医療体制の充実」、[療育] では「仕事」、[精神] では「収入」が高くなっています。

単位：%		仕事	教育・学習	収入	保健・医療体制の充実	総合的な相談体制の充実	権利擁護・虐待防止	道路や建築物などのバリアフリー化	視覚・聴覚障がいのある人に対するコミュニケーションの充実	日常生活支援	社会参加・外出支援
全体 (n=696)		20.4	6.6	25.1	27.2	13.8	3.6	10.8	7.9	27.2	11.1
所持手帳	身体 (n=420)	11.9	2.9	20.2	31.4	11.9	1.9	12.9	10.7	24.3	10.7
	療育 (n=170)	37.1	18.8	25.3	24.7	19.4	8.2	11.8	6.5	34.7	16.5
	精神 (n=156)	25.0	4.5	35.9	24.4	16.0	5.8	5.1	3.8	25.6	10.3

単位：%		更なる軽度の自己負担額の削減	公共交通機関の充実	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		24.4	25.1	4.6	15.1
所持手帳	身体 (n=420)	25.7	27.9	4.0	17.4
	療育 (n=170)	21.8	19.4	2.4	8.8
	精神 (n=156)	20.5	27.6	7.7	11.5

問 18 あなたが毎日の生活を送る上で、特に必要な支援制度・サービスは、次のどれですか。
(3つまで回答)

毎日の生活を送る上で、特に必要な支援制度・サービスについてみると、「特にない」が27.3%と最も高く、次いで「福祉制度やサービスを利用するための相談支援体制の充実」が24.4%、「日中、通うことができる施設の充実」が18.5%となっています。



所持手帳でみると、[身体]では「特にない」、[療育]では「日中、通うことができる施設の充実」、[精神]では「福祉制度やサービスを利用するための相談支援体制の充実」が高くなっています。

単位：%		生活の場の確保（グループホームを含む）	生活するための入所施設の充実	居宅介護（ホームヘルプ）の充実	日中、通うことができる施設の充実	就労のための支援（就労継続支援も含む）	移動支援（ガイドヘルプ）の充実	機器の普及	車いす・補聴器など福祉機器の普及	地域社会とのつながり	自治会・NPO・ボランティア・隣所など、地	及（権利擁護）制度の普	自分の権利を守って普	文化・スポーツ活動への参加の支援
全体(n=696)		12.2	14.7	10.6	18.5	14.4	10.6	8.2	6.2	8.2	5.0			
所持手帳	身体(n=420)	8.1	15.5	12.4	15.5	6.4	10.2	11.0	5.5	5.7	4.8			
	療育(n=170)	21.8	17.6	8.2	31.8	27.6	11.2	2.9	5.9	11.2	7.1			
	精神(n=156)	15.4	9.6	11.5	17.9	27.6	10.3	1.9	7.7	13.5	3.8			

単位：%		福祉制度やサービスの相談支援を体制化する充実	特にない	その他	不明・無回答
全体(n=696)		24.4	27.3	2.7	10.3
所持手帳	身体(n=420)	21.0	31.9	2.6	11.7
	療育(n=170)	25.3	20.6	2.9	5.3
	精神(n=156)	32.1	18.6	3.2	9.0

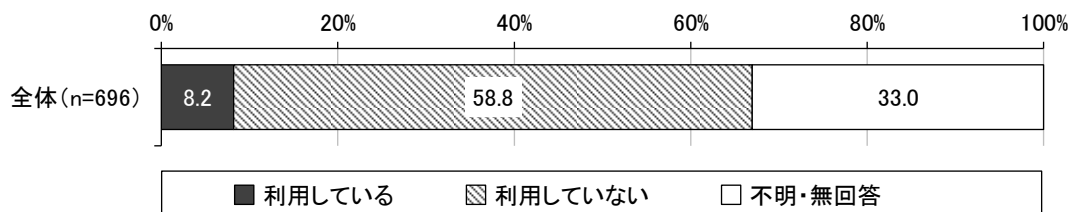
問 19 あなたは、日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用されていますか。また、今後利用したいと思われませんか。

ア：日常生活自立支援事業

① 利用状況（単数回答）

日常生活自立支援事業を利用しているかについてみると、「利用していない」が58.8%と、「利用している」の8.2%を上回っています。

所持手帳でみると、すべての場合において「利用していない」が高くなっています。

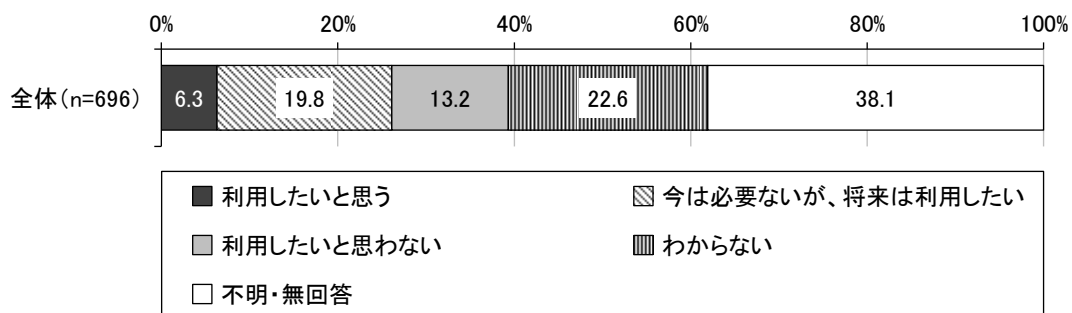


単位：%		利用している	利用していない	不明・無回答
全体 (n=696)		8.2	58.8	33.0
所持手帳	身体 (n=420)	6.0	56.9	37.1
	療育 (n=170)	12.9	58.8	28.2
	精神 (n=156)	10.9	58.3	30.8

② 利用意向（単数回答）

日常生活自立支援事業を今後利用したいと思うかについてみると、「わからない」が22.6%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来は利用したい」が19.8%、「利用したいと思わない」が13.2%となっています。

所持手帳で見ると、[身体][精神]では「わからない」、[療育]では「今は必要ないが、将来は利用したい」が高くなっています。



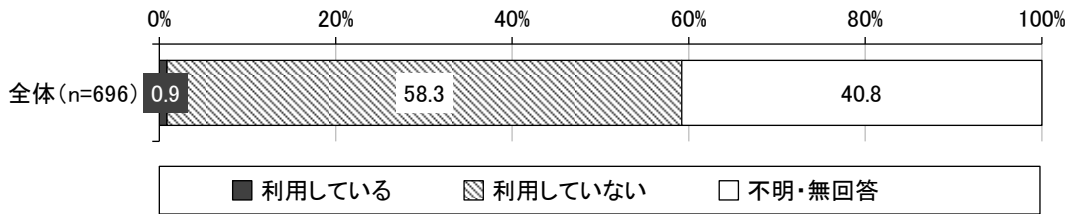
単位: %		利用したいと思う	将来は必要ないが、利用したい	利用したいと思わない	わからない	不明・無回答
全体 (n=696)		6.3	19.8	13.2	22.6	38.1
所持手帳	身体 (n=420)	4.8	20.0	12.9	22.1	40.2
	療育 (n=170)	9.4	24.7	8.8	23.5	33.5
	精神 (n=156)	9.6	12.8	17.3	25.0	35.3

イ：成年後見制度

① 利用状況（単数回答）

成年後見制度を利用しているかについてみると、「利用していない」が58.3%と、「利用している」の0.9%を上回っています。

所持手帳でみると、すべての場合において「利用していない」が高くなっています。

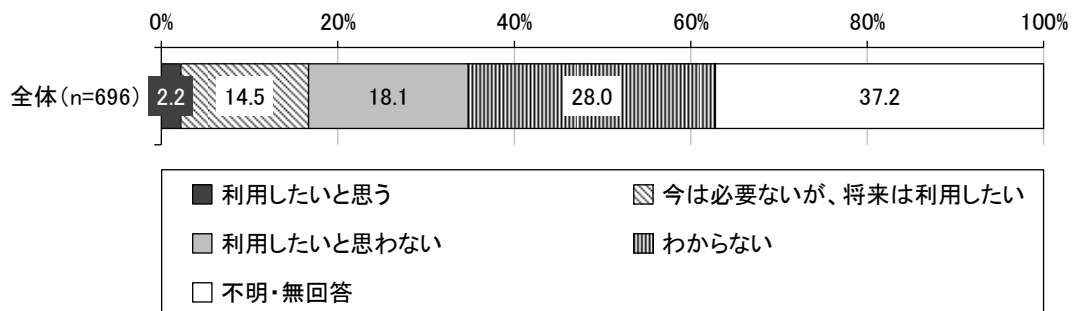


単位：%		利用している	利用していない	不明・無回答
全体 (n=696)		0.9	58.3	40.8
所持手帳	身体 (n=420)	0.7	54.5	44.8
	療育 (n=170)	1.2	65.9	32.9
	精神 (n=156)	0.6	57.7	41.7

② 利用意向（単数回答）

成年後見制度を今後利用したいと思うかについてみると、「わからない」が28.0%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」が18.1%、「今は必要ないが、将来は利用したい」が14.5%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「わからない」が高くなっていますが、[療育]では「今は必要ないが、将来は利用したい」が他と比べて高くなっています。



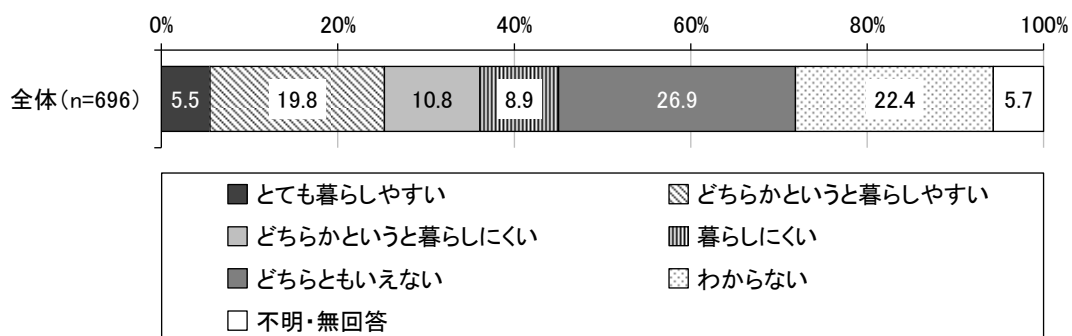
単位: %		利用したいと思う	今は必要ないが、将来は利用したい	わからない	不明・無回答
全体 (n=696)		2.2	14.5	18.1	37.2
所持手帳	身体 (n=420)	1.0	12.1	18.1	40.5
	療育 (n=170)	4.7	23.5	12.4	31.8
	精神 (n=156)	3.2	12.2	19.9	34.0

問 20 あなたは、加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。

(単数回答)

加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらともいえない」が26.9%と最も高く、次いで「わからない」が22.4%、「どちらかという暮らしやすい」が19.8%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「どちらともいえない」が高くなっていますが、[身体]では「わからない」が他と比べて高くなっています。

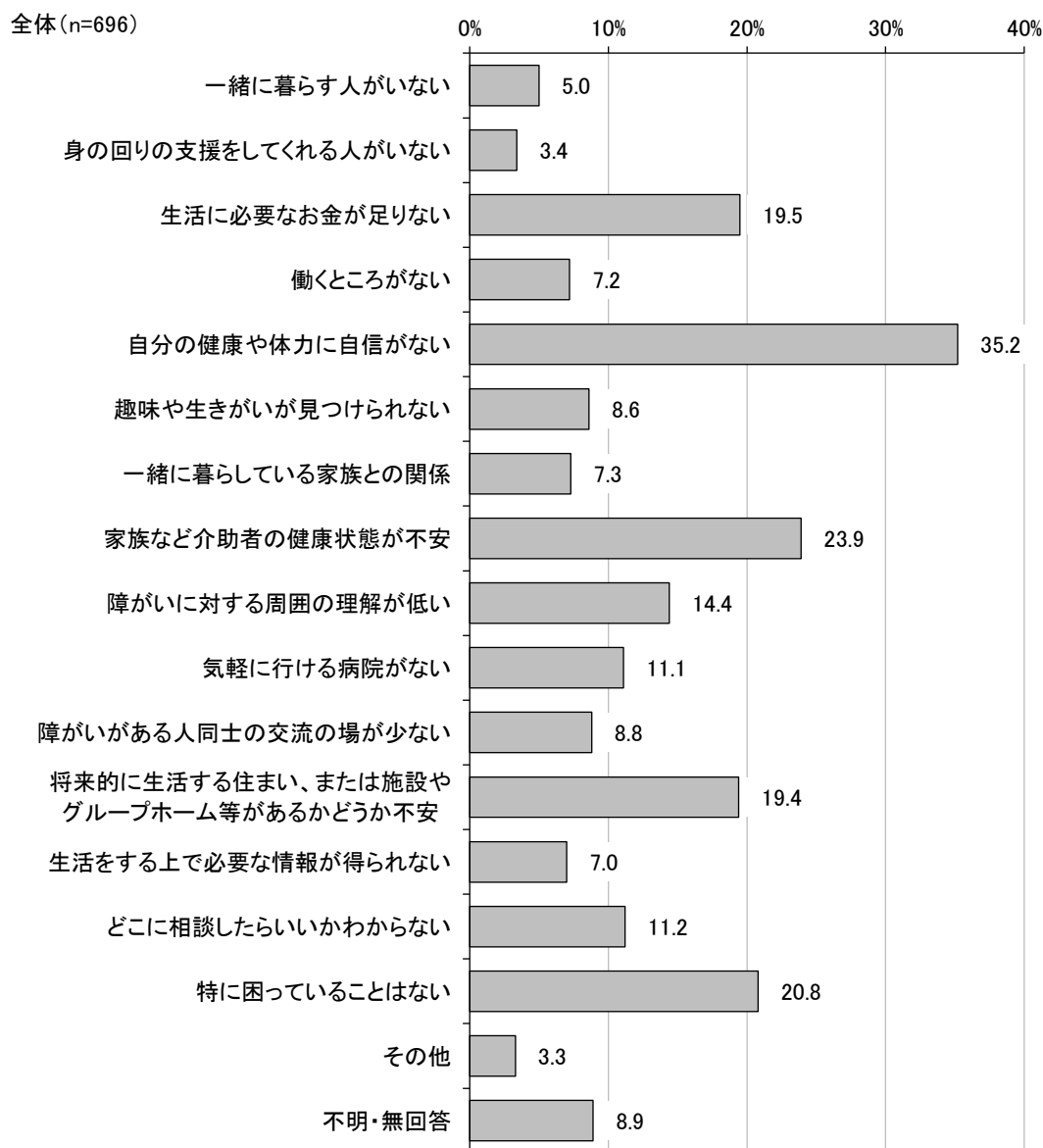


単位: %		とても暮らしやすい	どちらかという暮らしやすい	どちらかという暮らしにくい	暮らしにくい	どちらともいえない	わからない	不明・無回答
全体 (n=696)		5.5	19.8	10.8	8.9	26.9	22.4	5.7
所持手帳	身体 (n=420)	4.5	20.5	8.8	7.6	27.6	24.5	6.4
	療育 (n=170)	9.4	20.0	17.1	10.6	24.1	15.9	2.9
	精神 (n=156)	7.7	19.9	11.5	11.5	26.3	17.3	5.8

4 相談・情報提供

問 21 あなたは、現在の生活で困っていることや不安に思っていることがありますか。
(複数回答)

現在の生活で困っていることや不安に思っていることについてみると、「自分の健康や体力に自信がない」が35.2%と最も高く、次いで「家族など介助者の健康状態が不安」が23.9%、「特に困っていることはない」が20.8%となっています。



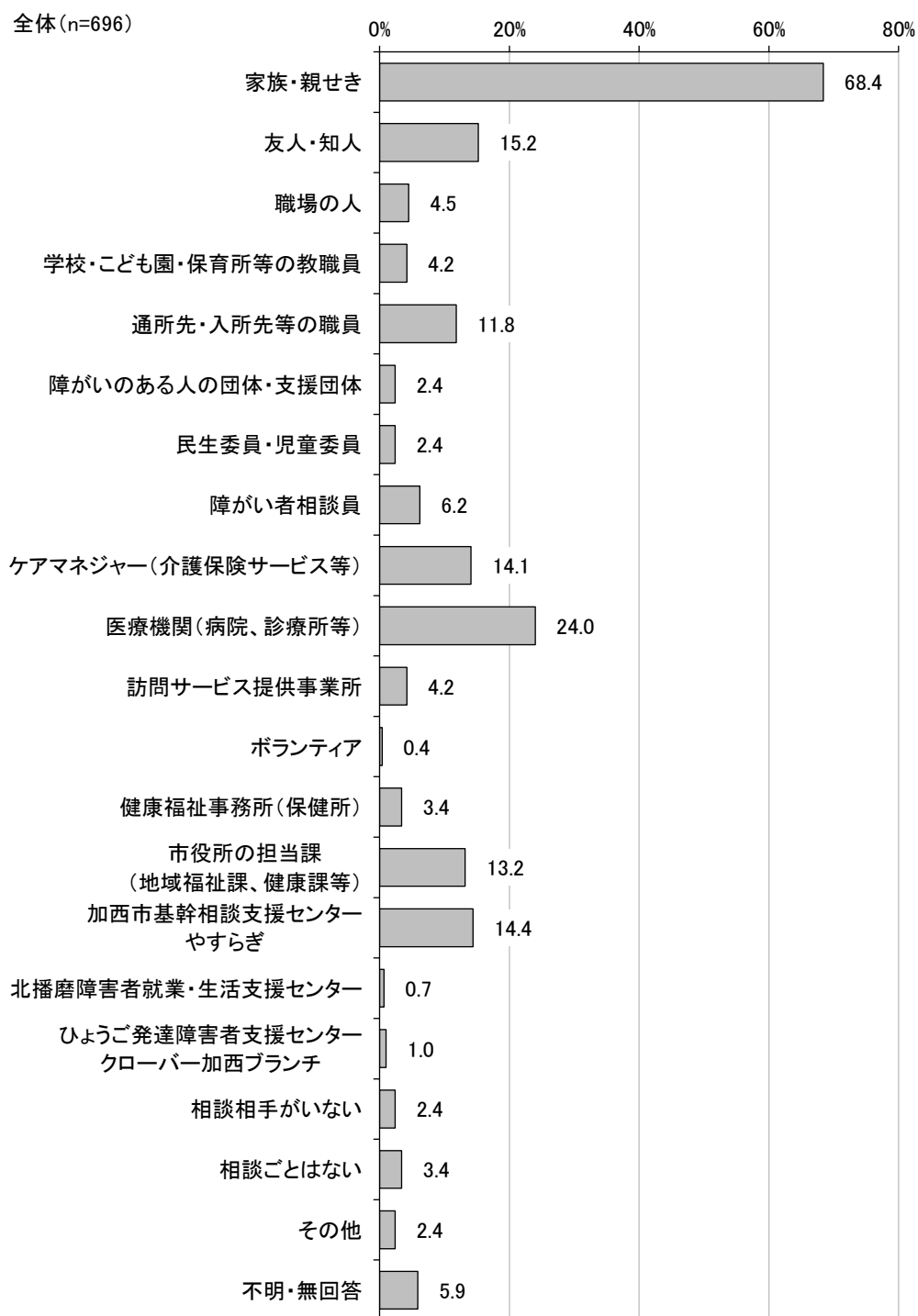
所持手帳でみると、[身体][精神]では「自分の健康や体力に自信がない」、[療育]では「将来的に生活する住まい、または施設やグループホーム等があるかどうか不安」が高くなっています。

単位：%		一緒に暮らす人がいない	身の回りの支援をしてくれる人がいない	生活に必要なお金が足りない	働くところがない	自分の健康や体力に自信がない	趣味や生きがいが見つからない	一緒に暮らしている家族との関係	家族など介助者の健康状態が不安	障がいに対する周囲の理解が低い	気軽に行ける病院がない
全体(n=696)		5.0	3.4	19.5	7.2	35.2	8.6	7.3	23.9	14.4	11.1
所持手帳	身体(n=420)	5.0	2.9	15.2	3.3	35.7	6.0	5.2	23.3	8.3	8.3
	療育(n=170)	2.4	2.4	17.6	8.8	18.2	5.3	7.1	22.9	21.2	14.7
	精神(n=156)	9.6	5.1	32.7	17.3	49.4	18.6	12.8	27.6	23.1	15.4

単位：%		障がいがある人同士の交流の場が少ない	将来的に生活する住まい、または施設やグループホーム等があるかどうか不安	生活をする上で必要な情報が得られない	どこに相談したらいいかわからない	特に困っていることはない	その他	不明・無回答
全体(n=696)		8.8	19.4	7.0	11.2	20.8	3.3	8.9
所持手帳	身体(n=420)	7.1	14.3	6.2	8.3	25.2	2.6	10.0
	療育(n=170)	11.8	33.5	5.9	10.6	20.0	2.9	5.3
	精神(n=156)	12.2	19.9	9.6	18.6	9.6	5.8	7.1

問 22 あなたが主に相談する人（機関）は、どなた（どちら）ですか。（複数回答）

主に相談する人や機関についてみると、「家族・親せき」が68.4%と最も高く、次いで「医療機関（病院、診療所等）」が24.0%、「友人・知人」が15.2%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「家族・親せき」が高くなっていますが、[療育]では「通所先・入所先等の職員」、[精神]では「医療機関（病院、診療所等）」が他と比べて高くなっています。

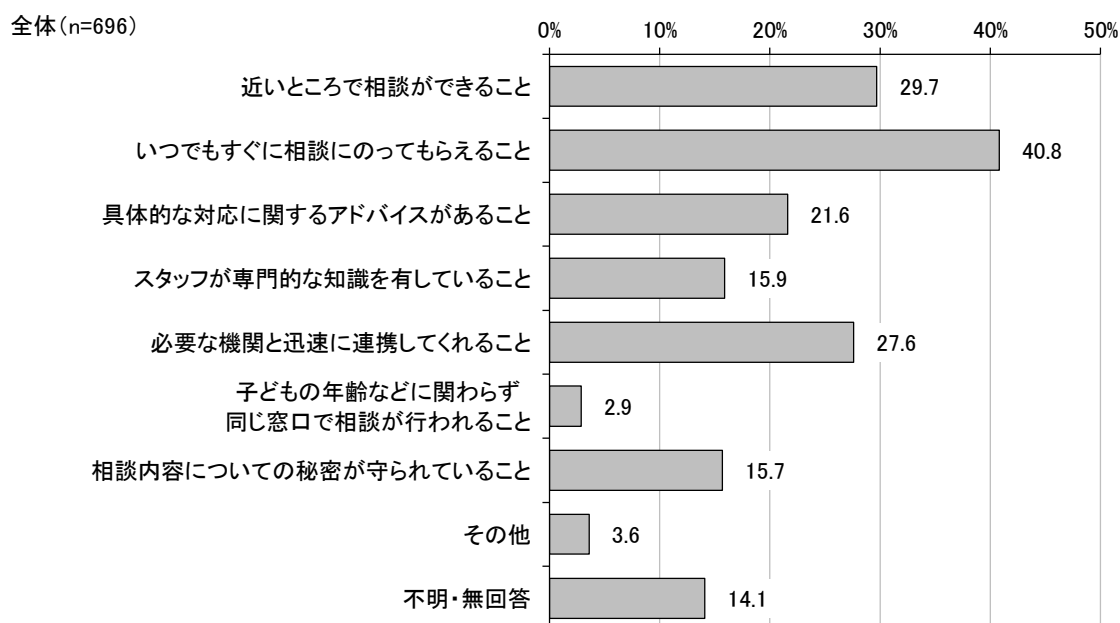
単位：%		家族・親せき	友人・知人	職場の人	学校・こども園・保育所の教職員	通所先・入所先等の職員	障がいのある人の団体・支援団体	民生委員・児童委員	障がい者相談員	ケアマネジャー（介護保険サービス等）	医療機関（病院、診療所等）	訪問サービス提供事業
全体(n=696)		68.4	15.2	4.5	4.2	11.8	2.4	2.4	6.2	14.1	24.0	4.2
所持手帳	身体(n=420)	68.8	17.4	2.1	0.2	7.6	1.2	3.1	2.9	18.6	22.9	3.8
	療育(n=170)	65.9	10.0	7.1	16.5	27.6	7.1	0.0	10.0	3.5	18.2	4.1
	精神(n=156)	65.4	17.3	8.3	0.6	10.9	3.8	1.3	11.5	7.7	34.6	6.4

単位：%		ボランティア	健康福祉事務所（保健所）	福祉課、健康課等（地域福祉課の担当課）	加西市基幹相談支援センターやすらぎ	北播磨障害者就業・生活支援センター	ひょうご発達障害者支援センター	相談相手がいない	相談ごとはない	その他	不明・無回答
全体(n=696)		0.4	3.4	13.2	14.4	0.7	1.0	2.4	3.4	2.4	5.9
所持手帳	身体(n=420)	0.5	3.6	11.7	5.5	0.5	0.0	1.7	5.0	1.9	6.9
	療育(n=170)	0.0	1.8	12.9	32.9	1.8	4.1	3.5	2.4	3.5	4.1
	精神(n=156)	0.6	3.8	19.9	25.0	0.6	0.0	3.8	1.3	3.2	3.8

問 23 相談する人（相談機関）に期待することは何ですか。（2つ回答）

相談する人や機関に期待することについてみると、「いつでもすぐに相談にのってもらえること」が40.8%と最も高く、次いで「近いところで相談ができること」が29.7%、「必要な機関と迅速に連携してくれること」が27.6%となっています。

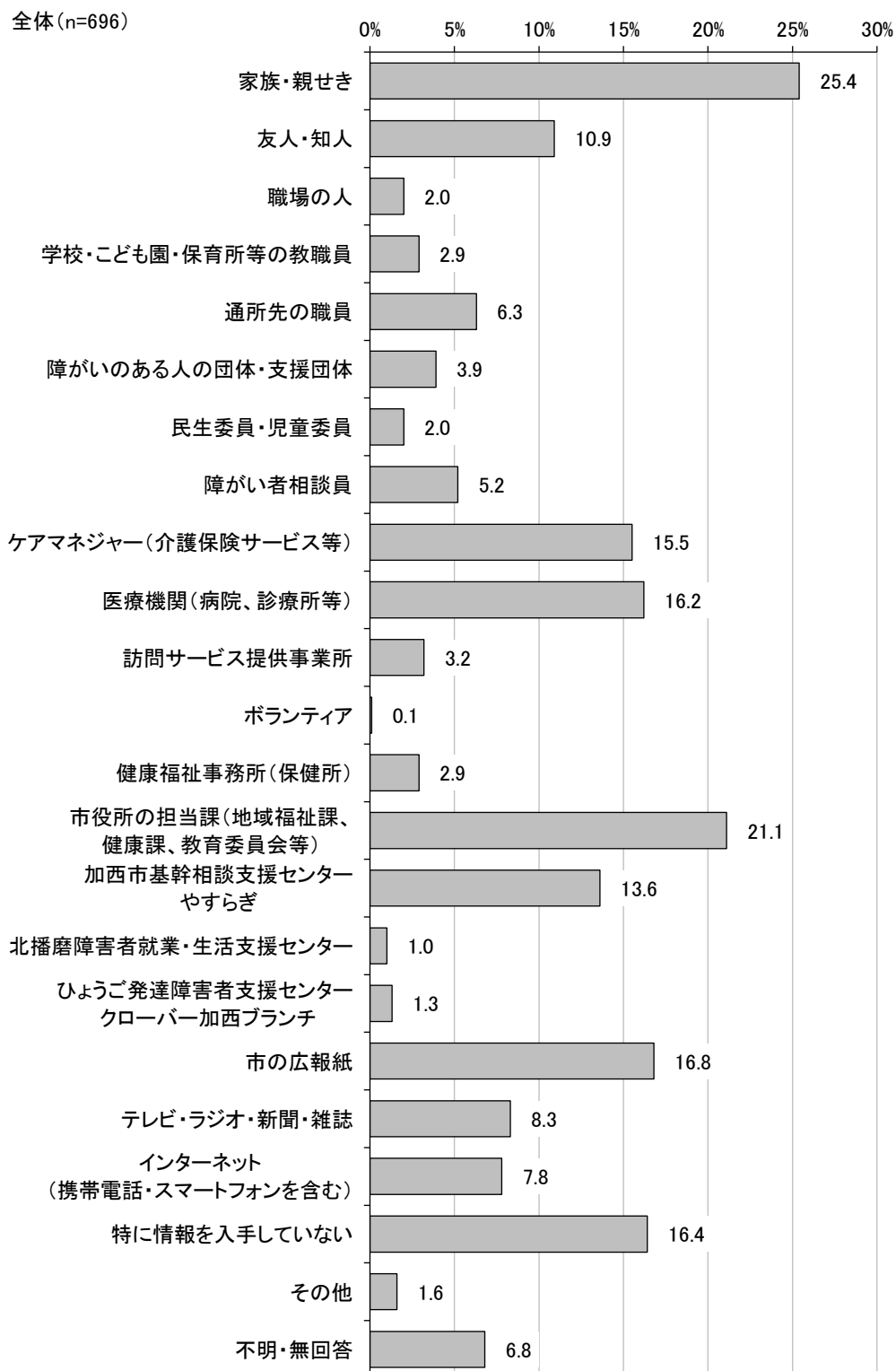
所持手帳でみると、すべての場合において「いつでもすぐに相談にのってもらえること」が高くなっています。



単位: %		近いところ で相談が できること	いつでも ももら えらる こと	具体的 な対応 がある こと	知識を 有して いるこ と	必要な 機関と 迅速に 連携し ること	子ども の年齢 など に関 するこ と	相談 内容に ついて は秘密 が守ら れてい ること	その他	不明・ 無回答
全体 (n=696)		29.7	40.8	21.6	15.9	27.6	2.9	15.7	3.6	14.1
所持 手帳	身体 (n=420)	29.0	41.0	17.4	15.0	26.0	1.9	16.0	3.3	17.9
	療育 (n=170)	36.5	45.9	27.1	17.6	29.4	7.1	10.6	2.4	6.5
	精神 (n=156)	32.1	39.1	29.5	17.9	30.1	1.3	20.5	5.1	7.7

問 24 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手されていますか。(複数回答)

福祉サービスに関する情報をどこから入手しているかについてみると、「家族・親せき」が 25.4%と最も高く、次いで「市役所の担当課（地域福祉課、健康課、教育委員会等）」が 21.1%、「市の広報紙」が 16.8%となっています。



所持手帳でみると、[身体][療育]では「家族・親せき」、[精神]では「市役所の担当課（地域福祉課、健康課、教育委員会等）」が高くなっています。

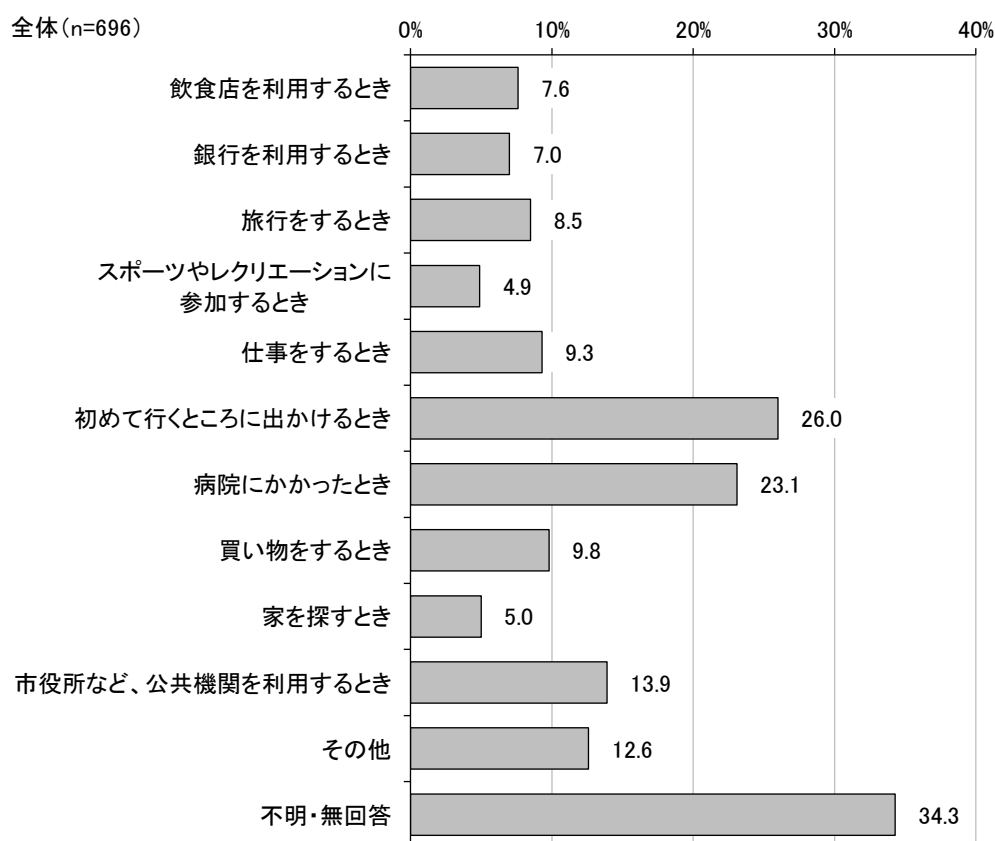
単位：%		家族・親せき	友人・知人	職場の人	学校の教職員 等 の 教 職 員	通 所 先 の 職 員	障 が い の あ る 人 の 団 体 ・ 支 援 団 体	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	障 が い 者 相 談 員	ケ ア マ ネ ジ ャ ー （ 介 護 保 険 サ ー ビ ス 等 ）	医 療 機 関 （ 病 院 、 診 療 所 等 ）	訪 問 サ ー ビ ス 提 供 事 業 所	ボ ラ ン テ ィ ア
全体(n=696)		25.4	10.9	2.0	2.9	6.3	3.9	2.0	5.2	15.5	16.2	3.2	0.1
所持手帳	身体(n=420)	24.3	12.4	1.0	0.5	4.0	2.9	2.9	3.1	21.2	15.5	3.1	0.2
	療育(n=170)	30.0	8.2	1.8	11.2	12.9	8.2	0.0	10.0	4.1	10.0	4.1	0.0
	精神(n=156)	21.8	10.3	4.5	0.0	8.3	3.2	1.3	9.0	10.9	24.4	3.8	0.0

単位：%		所 健 康 福 祉 事 務 所 （ 保 健 等 ）	社 会 等 ）	市 役 所 の 担 当 課 （ 地 域 福 祉 課 、 健 康 課 、 教 育 委 員 会 ）	加 西 市 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー や す ら ぎ	北 播 磨 障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	西 播 磨 障 害 者 支 援 セ ン タ ー ク ロ ー バ ー 加	ひ よ う ご 発 達 障 害 者 支 援 セ ン タ ー	市 の 広 報 紙	雑 誌 ・ テ レ ビ ・ ラ ジ オ ・ 新 聞	電 話 ・ ス マ ー ト フ ォ ン を 含 む	イ ン タ ー ネ ッ ト （ 携 帯 電 子 ）	特 に 情 報 を 入 手 し て い な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=696)		2.9	21.1	13.6	1.0	1.3	16.8	8.3	7.8	16.4	1.6	6.8			
所持手帳	身体(n=420)	3.6	20.2	4.8	0.7	0.2	17.1	10.2	6.2	19.3	1.2	7.1			
	療育(n=170)	1.2	17.1	29.4	1.2	4.7	11.8	4.1	10.6	10.6	1.8	5.3			
	精神(n=156)	3.2	25.6	24.4	1.3	0.0	18.6	5.8	7.1	13.5	1.9	6.4			

問 25 あなたは、相手とコミュニケーションをとるときや必要な情報を入手する際、特に困難を感じるのはどのようなときですか。(複数回答)

相手とコミュニケーションをとるときや必要な情報を入手する際、特に困難を感じるのはどのようなときかについてみると、「初めて行くところに出かけるとき」が 26.0%と最も高く、次いで「病院にかかったとき」が 23.1%、「市役所など、公共機関を利用するとき」が 13.9%となっています。

所持手帳でみると、[身体] では「病院にかかったとき」、[療育][精神] では「初めて行くところに出かけるとき」が高くなっています。

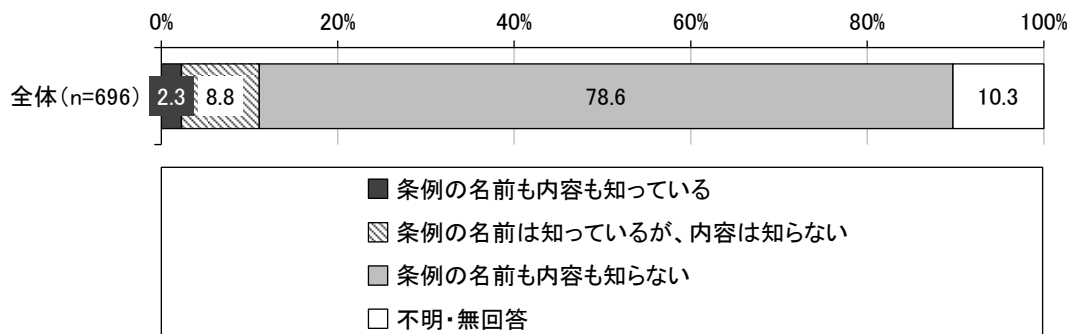


単位: %		飲食店を利用するとき	銀行を利用するとき	旅行をするとき	スポーツやレクリエーションに参加するとき	仕事をするとき	初めて行くところに出かけるとき	病院にかかったとき	買い物をするとき	家を探すとき	市役所など、公共機関を利用するとき	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		7.6	7.0	8.5	4.9	9.3	26.0	23.1	9.8	5.0	13.9	12.6	34.3
所持手帳	身体 (n=420)	5.5	6.2	5.5	3.3	4.3	18.3	22.9	6.9	3.1	11.4	13.8	41.4
	療育 (n=170)	15.3	10.0	15.3	8.8	15.3	40.0	27.6	18.2	7.1	13.5	11.2	21.8
	精神 (n=156)	7.7	8.3	9.6	5.8	21.2	31.4	24.4	9.0	12.2	23.7	9.0	24.4

問 26 平成 28 年 10 月に「加西市手話言語条例」が施行されたことを知っていますか。(単数回答)

「加西市手話言語条例」が施行されたことを知っているかについてみると、「条例の名前も内容も知らない」が 78.6%と最も高く、次いで「条例の名前は知っているが、内容は知らない」が 8.8%、「条例の名前も内容も知っている」が 2.3%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「条例の名前も内容も知らない」が高くなっています。



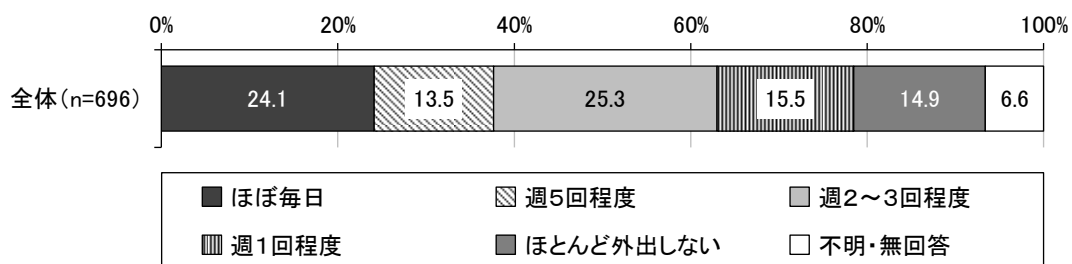
単位: %		知 条 つ 例 て の い 名 る 前 も 内 容 も	る 条 が 例 、 の 内 名 容 前 は は 知 知 ら っ な て い い	ら 条 な 例 い の の 名 前 前 も 内 容 容 も 知	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		2.3	8.8	78.6	10.3
所持手帳	身体 (n=420)	2.4	9.0	77.6	11.0
	療育 (n=170)	2.4	7.1	80.6	10.0
	精神 (n=156)	1.9	10.9	78.8	8.3

5 外出・生活環境

問 27 あなたは、通勤や通学、施設や病院への通院、買い物など、1週間にどの程度外出しますか。
(単数回答)

通勤や通学、施設や病院への通院、買い物など、1週間にどの程度外出するかについてみると、「週2～3回程度」が25.3%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」が24.1%、「週1回程度」が15.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「週2～3回程度」、[精神][療育]では「ほぼ毎日」が高くなっています。

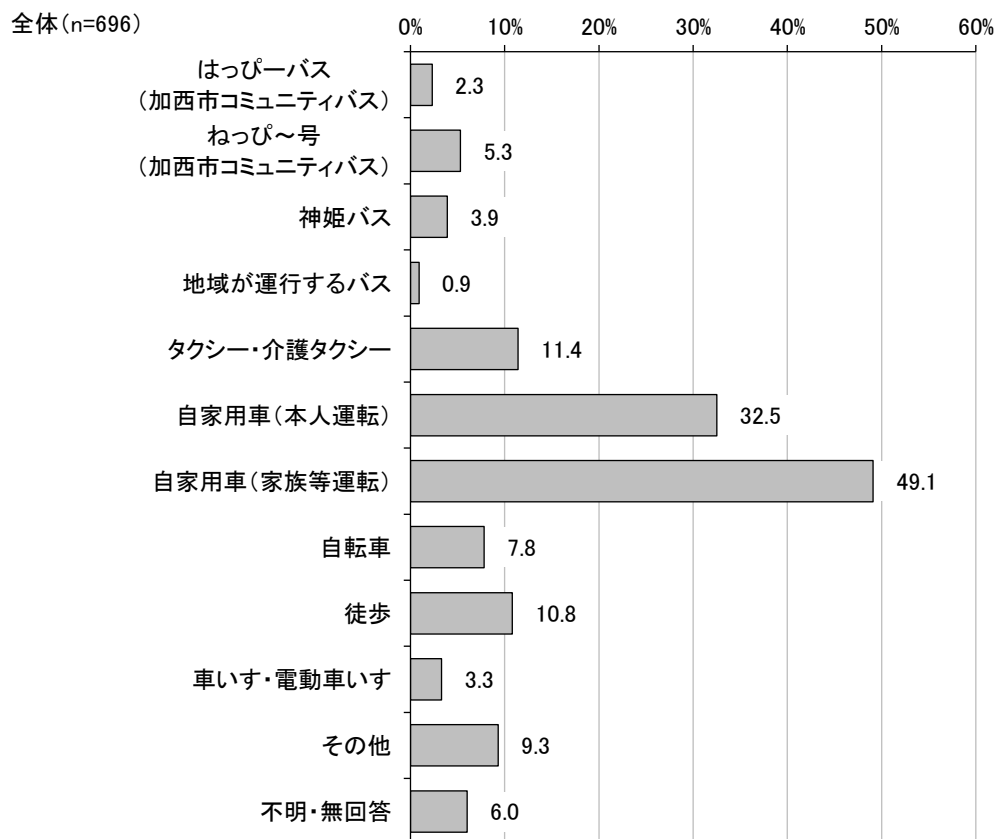


単位: %		ほぼ毎日	週5回程度	週2～3回程度	週1回程度	ほとんど外出しない	不明・無回答
全体 (n=696)		24.1	13.5	25.3	15.5	14.9	6.6
所持手帳	身体 (n=420)	17.1	10.5	32.4	16.7	15.2	8.1
	療育 (n=170)	45.9	22.4	11.2	7.1	10.0	3.5
	精神 (n=156)	26.3	13.5	19.9	19.2	17.3	3.8

問 28 通勤や通学、施設や病院への通院、買い物など、外出する際の交通手段は何ですか。

(複数回答)

通勤や通学、施設や病院への通院、買い物など、外出する際の交通手段は何かについてみると、「自家用車(家族等運転)」が49.1%と最も高く、次いで「自家用車(本人運転)」が32.5%、「タクシー・介護タクシー」が11.4%となっています。



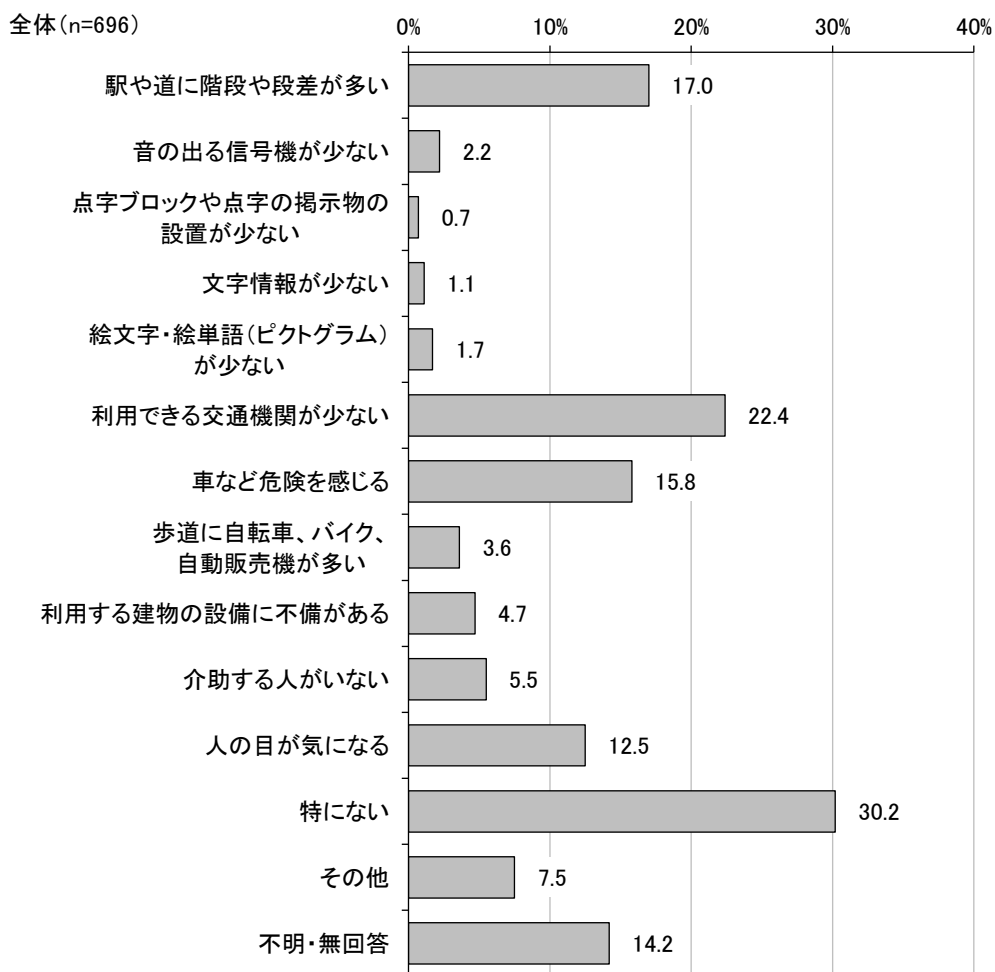
所持手帳で見ると、[療育] では「自家用車（家族等運転）」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%		コミュニティバス（加西市）	はっぴーバス（加西市）	ねっぴー号（加西市）	コミュニティバス（加西市）	神姫バス	地域が運行するバス	タクシー・介護タクシー	自家用車（本人運転）	自家用車（家族等運転）	自転車	徒歩	車いす・電動車いす
全体 (n=696)		2.3	5.3	3.9	0.9	11.4	32.5	49.1	7.8	10.8	3.3		
所持手帳	身体 (n=420)	1.9	3.1	2.4	0.5	13.1	37.4	46.4	4.3	6.9	4.8		
	療育 (n=170)	2.9	8.2	5.3	1.2	6.5	11.8	60.6	16.5	18.2	1.8		
	精神 (n=156)	3.8	7.7	6.4	1.9	14.7	30.8	46.2	13.5	16.0	1.9		

単位：%		その他	不明・無回答
全体 (n=696)		9.3	6.0
所持手帳	身体 (n=420)	8.3	7.4
	療育 (n=170)	14.7	4.1
	精神 (n=156)	10.3	4.5

問 29 あなたが外出したときに、困ることは何ですか。(3つまで回答)

外出したときに困ることについてみると、「特にない」が 30.2%と最も高く、次いで「利用できる交通機関が少ない」が 22.4%、「駅や道に階段や段差が多い」が 17.0%となっています。



所持手帳でみると、[身体][療育]では「特にない」、[精神]では「利用できる交通機関が少ない」が高くなっています。

単位：%		多 い	音 の 出 る 信 号 機 が 少 な い	点 字 ブ ロ ッ ク や 点 字 の 掲 示 物 の 設 置 が 少 な い	文 字 情 報 が 少 な い	絵 文 字 ・ 絵 単 語 （ ピ ク ト グ ラ ム ） が 少 な い	利 用 で き る 交 通 機 関 が 少 な い	車 な ど 危 険 を 感 じ る	ク 歩 道 に 自 転 車 、 バ イ ク 、 自 動 販 売 機 が 多 い	利 用 す る 建 物 の 設 備 に 不 備 が あ る	介 助 す る 人 が い な い
全体 (n=696)		17.0	2.2	0.7	1.1	1.7	22.4	15.8	3.6	4.7	5.5
所持手帳	身体 (n=420)	22.4	1.9	0.7	1.0	0.7	18.1	11.2	2.6	5.0	4.5
	療育 (n=170)	8.2	2.4	0.6	1.2	4.1	25.3	22.9	4.1	5.3	5.9
	精神 (n=156)	11.5	3.8	1.3	1.3	1.3	30.1	16.7	5.8	5.1	4.5

単位：%		人 の 目 が 気 に な る	特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		12.5	30.2	7.5	14.2
所持手帳	身体 (n=420)	6.9	33.8	7.1	16.9
	療育 (n=170)	18.8	29.4	4.7	8.8
	精神 (n=156)	24.4	21.2	10.9	13.5

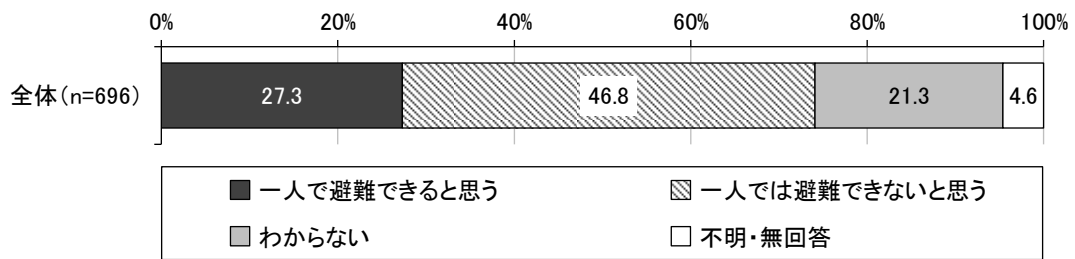
6 災害時の対応

問 30 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは一人で避難できると思いますか。

(単数回答)

災害などの緊急事態が発生した場合、一人で避難できると思うかについてみると、「一人では避難できないと思う」が46.8%と最も高く、次いで「一人で避難できると思う」が27.3%、「わからない」が21.3%となっています。

所持手帳で見ると、すべての場合において「一人では避難できないと思う」が高くなっていますが、[精神]では「わからない」が他と比べて高くなっています。

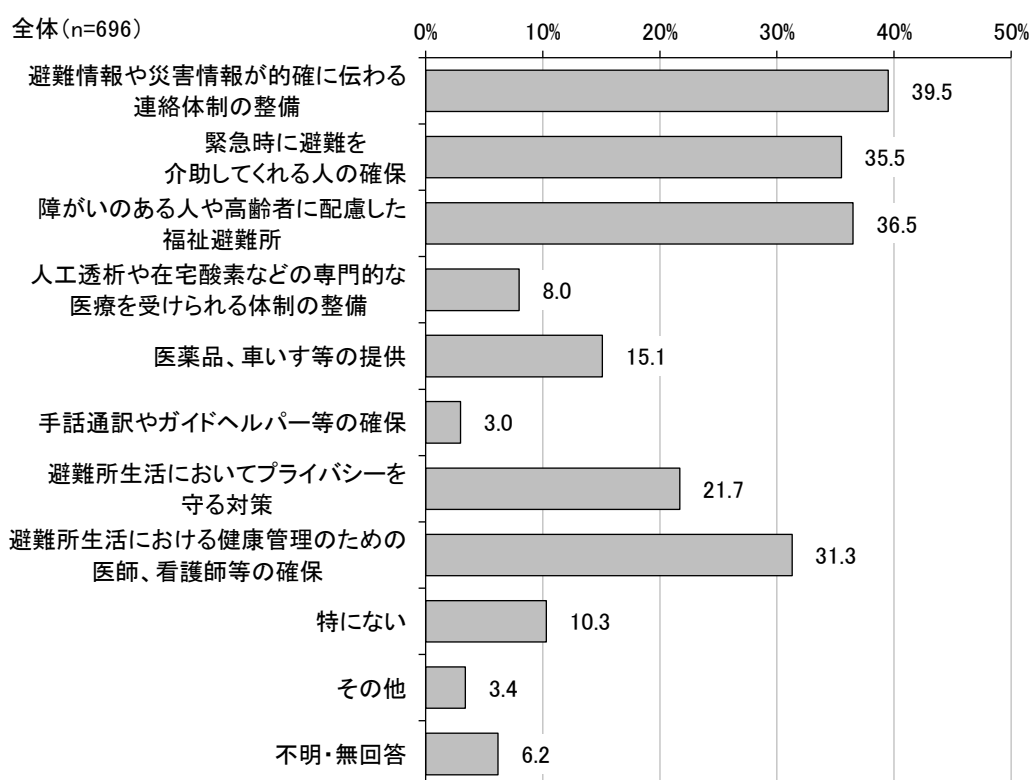


単位: %		一人で 思う 避難 でき	一人 では 避難 でき	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=696)		27.3	46.8	21.3	4.6
所持 手 帳	身体 (n=420)	29.8	48.6	16.9	4.8
	療育 (n=170)	18.2	55.3	21.2	5.3
	精神 (n=156)	28.2	35.3	34.0	2.6

問 31 地震や台風などの災害が発生し、避難する状況となったときに、特に何が必要だと思いますか。(3つまで回答)

地震や台風などの災害が発生し、避難する状況となったときに、特に何が必要だと思うかについてみると、「避難情報や災害情報が的確に伝わる連絡体制の整備」が 39.5%と最も高く、次いで「障がいのある人や高齢者に配慮した福祉避難所」が 36.5%、「緊急時に避難を介助してくれる人の確保」が 35.5%となっています。

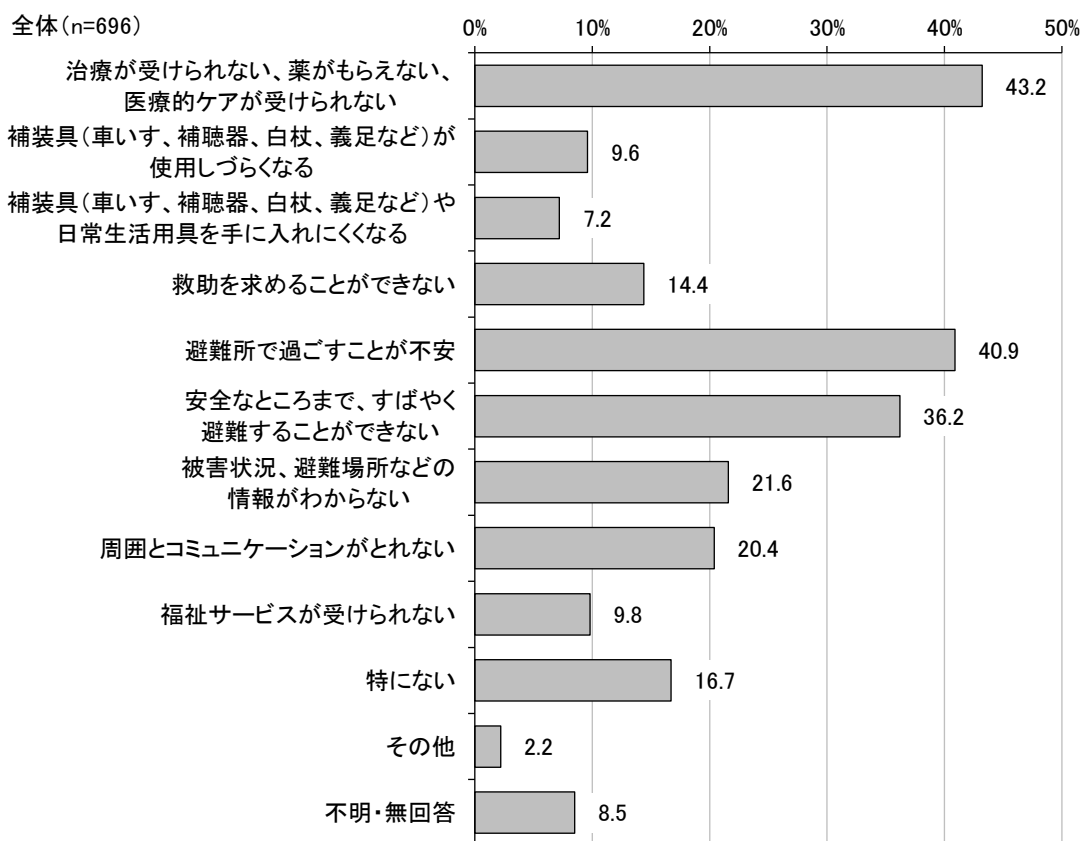
所持手帳でみると、[身体] では「避難所生活における健康管理のための医師、看護師等の確保」、[療育] では「緊急時に避難を介助してくれる人の確保」、[精神] では「避難情報や災害情報が的確に伝わる連絡体制の整備」が高くなっています。



単位: %		的確に情報伝わる災害連絡体制が整備されている	緊急時に避難を介助してくれる人の確保	障がいのある人や高齢者に配慮した福祉避難所	人工透析や在宅酸素などの専門的な医療を受けられる体制の整備	医薬品、車いす等の提供	手話通訳やガイドヘルパー等の確保	プライバシー生活において対策	避難所生活における健康管理のための医師、看護師等の確保	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		39.5	35.5	36.5	8.0	15.1	3.0	21.7	31.3	10.3	3.4	6.2
所持手帳	身体 (n=420)	35.5	35.5	35.2	11.7	16.2	3.3	16.4	35.7	10.0	3.3	7.4
	療育 (n=170)	35.9	44.7	44.1	2.4	13.5	2.4	29.4	19.4	12.9	2.4	3.5
	精神 (n=156)	45.5	32.7	42.3	4.5	17.9	1.9	25.6	30.8	7.1	4.5	3.8

問 32 火事、台風や地震などが起こったとき、障がいがあることで困ること、心配なことはありますか。(複数回答)

火事、台風や地震などが起こったとき、障がいがあることで困ることや心配なことについてみると、「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」が43.2%と最も高く、次いで「避難所で過ごすことが不安」が40.9%、「安全なところまで、すばやく避難することができない」が36.2%となっています。



所持手帳でみると、[身体][精神]では「治療が受けられない、薬がもらえない、医療的ケアが受けられない」、[療育]では「避難所で過ごすことが不安」が高くなっています。

単位：%		治療が受けられない、医療的ケアが受けられない	杖、義足など、補装具（車いす、補聴器、杖、義足など）が使用しづらくなる	補装具（車いす、補聴器、杖、義足など）や日常生活用具を手入れしにくくなる	補装具（車いす、補聴器、杖、義足など）が日常生活用具を手入れしにくくなる	救助を求めることができない	避難所で過ごすことが不安	安全なところができにくい	避難場所などの情報がわからない	被害状況、避難場所などの情報がわからない	周囲とコミュニケーションがとれない	福祉サービスが受けられない	特になし
全体 (n=696)		43.2	9.6	7.2	14.4	40.9	36.2	21.6	20.4	9.8	16.7		
所持手帳	身体 (n=420)	42.1	14.0	10.0	12.9	36.9	37.9	17.6	11.9	7.6	16.4		
	療育 (n=170)	31.2	4.1	2.9	23.5	48.8	44.7	28.8	37.6	11.2	17.6		
	精神 (n=156)	59.0	2.6	1.9	12.8	49.4	30.1	26.9	30.8	16.0	12.2		

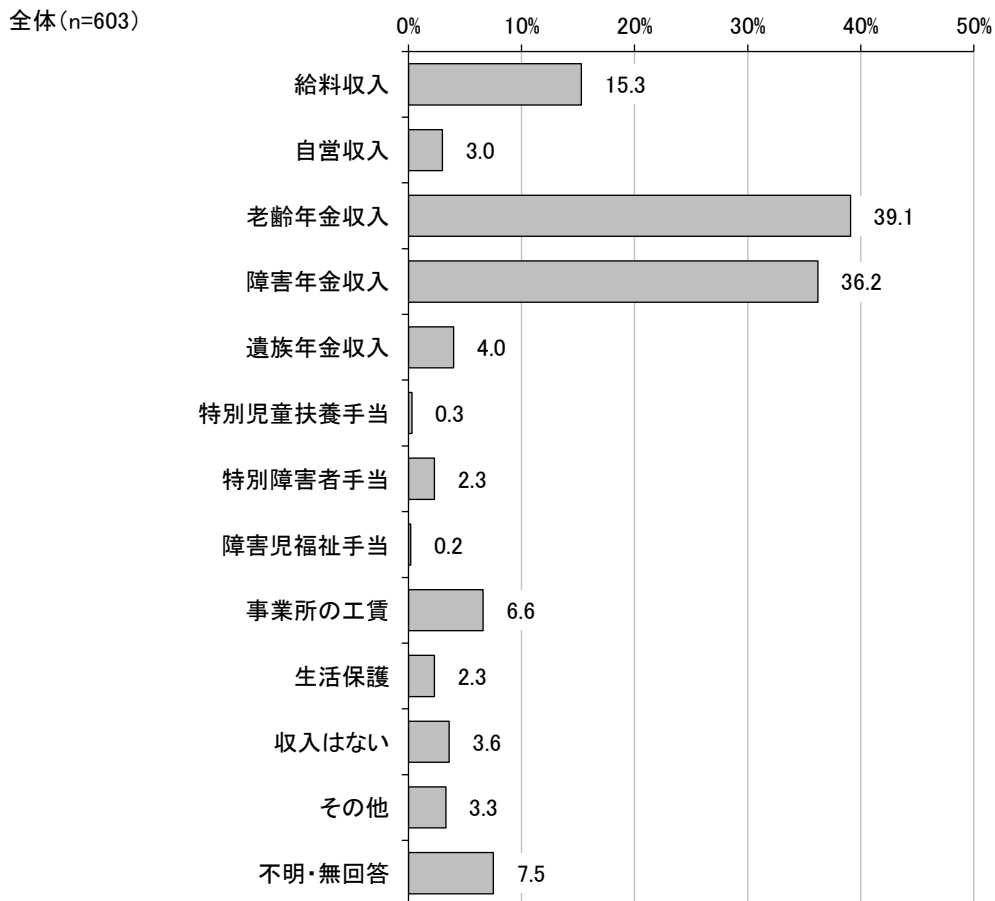
単位：%		その他	不明・無回答
全体 (n=696)		2.2	8.5
所持手帳	身体 (n=420)	1.7	11.2
	療育 (n=170)	1.8	2.9
	精神 (n=156)	3.2	5.8

7 日中生活・収入について

※ 問 33 から問 40 までは、18 歳以上の方がお答えください。(18 歳未満の方は回答しないでください)
18 歳以上の方にお聞きします。

問 33 あなたの現在の収入は何ですか。(複数回答)

現在の収入についてみると、「老齢年金収入」が 39.1%と最も高く、次いで「障害年金収入」が 36.2%、「給料収入」が 15.3%となっています。



所持手帳でみると、[身体]では「老齢年金収入」、[精神][療育]では「障害年金収入」が高くなっています。また、[療育]では「給料収入」の割合が他と比べて高くなっています。

単位：%		給料収入	自営収入	老齢年金収入	障害年金収入	遺族年金収入	当特別児童扶養手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	事業所の工賃	生活保護
全体(n=603)		15.3	3.0	39.1	36.2	4.0	0.3	2.3	0.2	6.6	2.3
所持手帳	身体(n=405)	10.4	3.7	54.8	22.7	5.2	0.2	2.7	0.0	1.2	1.2
	療育(n=118)	33.9	1.7	3.4	64.4	0.8	1.7	4.2	0.0	16.1	1.7
	精神(n=150)	16.0	1.3	13.3	61.3	2.0	0.7	3.3	0.7	17.3	4.7

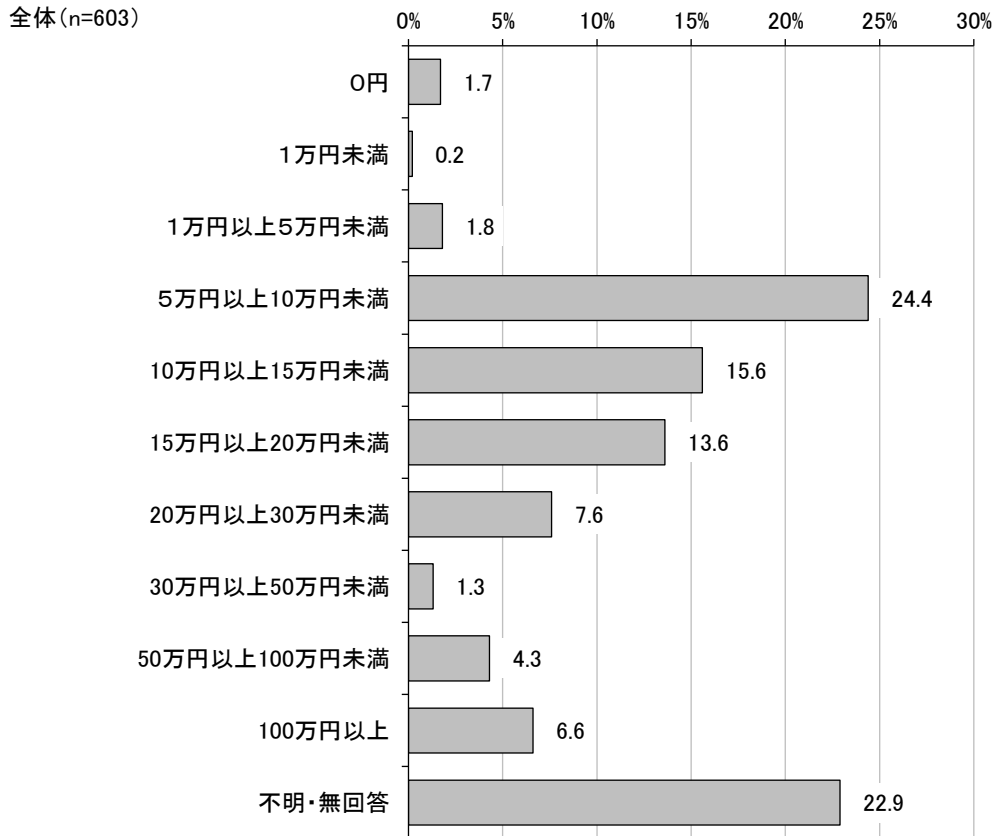
単位：%		収入はない	その他	不明・無回答
全体(n=603)		3.6	3.3	7.5
所持手帳	身体(n=405)	2.7	3.7	9.4
	療育(n=118)	1.7	0.0	6.8
	精神(n=150)	6.0	3.3	3.3

18歳以上の方にお聞きします。

問 34 あなたの月収の総額はいくらですか。(年金や手当を含む) (数量回答)

月収の総額についてみると、「5万円以上10万円未満」が24.4%と最も高く、次いで「10万円以上15万円未満」が15.6%、「15万円以上20万円未満」が13.6%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「5万円以上10万円未満」が高くなっていますが、[身体]では「15万円以上20万円未満」が他と比べて高くなっています。

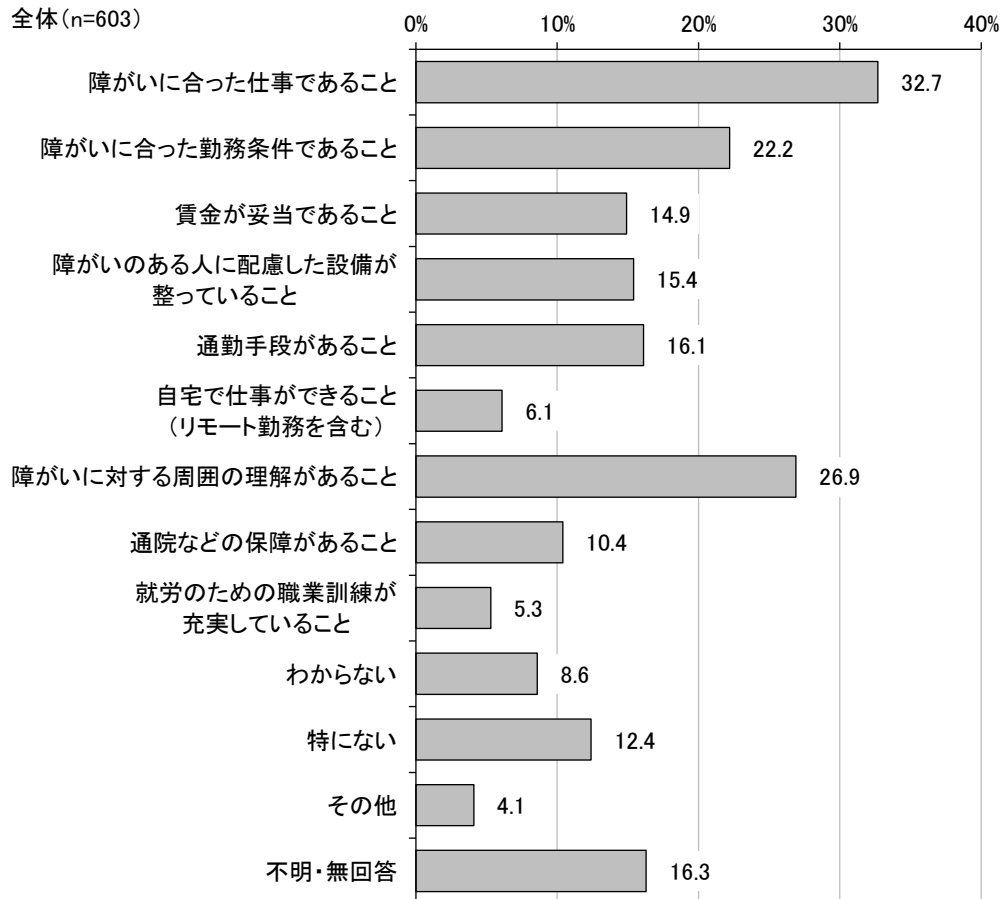


単位: %	0円	1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上30万円未満	30万円以上50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上	不明・無回答	
	全体 (n=603)	1.7	0.2	1.8	24.4	15.6	13.6	7.6	1.3	4.3	6.6	22.9
所持手帳	身体 (n=405)	0.7	0.0	1.2	19.8	14.3	15.8	8.9	1.5	3.7	8.4	25.7
	療育 (n=118)	0.0	0.0	1.7	39.8	13.6	7.6	5.9	0.8	5.9	4.2	20.3
	精神 (n=150)	3.3	0.7	3.3	35.3	18.7	8.7	3.3	1.3	4.7	4.0	16.7

18歳以上の方にお聞きします。

問 35 あなたは、働く上で、どのような条件が必要だと思われますか。現在、働いている方も働いていない方もお答えください。（3つまで回答）

働く上で、どのような条件が必要だと思うかについてみると、「障がいに合った仕事であること」が32.7%と最も高く、次いで「障がいに対する周囲の理解があること」が26.9%、「障がいに合った勤務条件であること」が22.2%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「障がいにあった仕事であること」が高くなっています。

単位：%		障がい にあった 仕事で あること	障がい にあった 勤務条 件であること	賃金 が妥当 である こと	障がい のある 人に配 慮した 設備が 整って いるこ と	通勤 手段が あるこ と	自宅 で仕事 ができる こと（リ モート 勤務を 含む）	障がい に対する 周囲の 理解が あるこ と	通院 などの 保障が あるこ と	就労の ための 職業訓 練が充 実して いるこ と	わか らない
全体(n=603)		32.7	22.2	14.9	15.4	16.1	6.1	26.9	10.4	5.3	8.6
所持 手帳	身体(n=405)	24.7	17.8	10.4	17.3	13.3	5.4	20.7	11.4	4.0	9.9
	療育(n=118)	45.8	28.0	22.9	15.3	24.6	0.8	34.7	9.3	8.5	3.4
	精神(n=150)	44.0	36.7	23.3	12.7	19.3	10.7	37.3	12.7	8.7	8.7

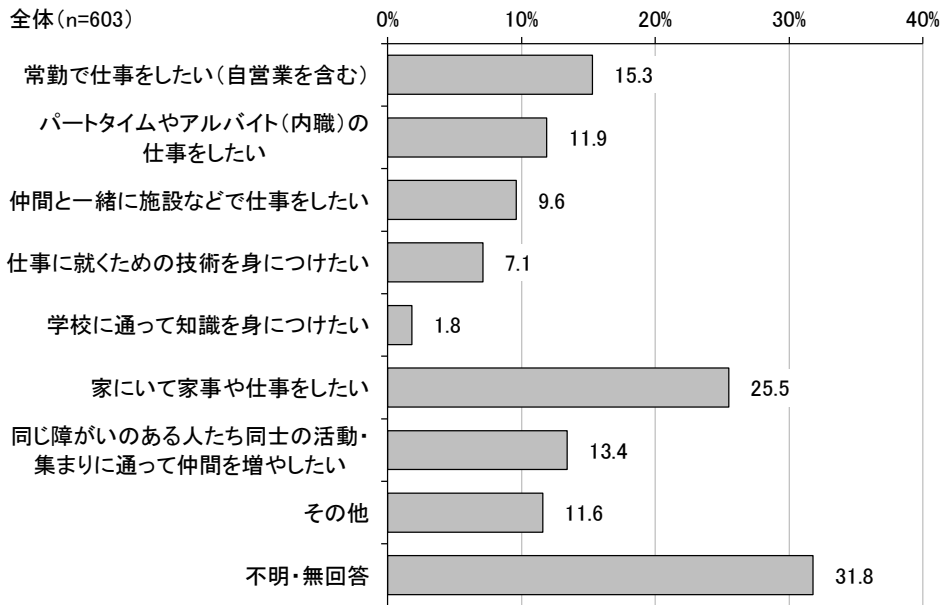
単位：%		特 に な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=603)		12.4	4.1	16.3
所持 手帳	身体(n=405)	15.1	5.2	21.2
	療育(n=118)	9.3	2.5	9.3
	精神(n=150)	9.3	2.7	6.7

18歳以上の方にお聞きします。

問 36 あなたは今後、日中の生活をどのように過ごしていきたいですか。(3つまで回答)

今後、日中の生活をどのように過ごしていきたいかについてみると、「家にいて家事や仕事をしたい」が25.5%と最も高く、次いで「常勤で仕事をしたい(自営業を含む)」が15.3%、「同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通って仲間を増やしたい」が13.4%となっています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「家にいて家事や仕事をしたい」、[療育]では「仲間と一緒に施設などで仕事をしたい」が高くなっています。



単位: %		常勤で仕事をしたい(自営業を含む)	パートタイム(内職)の仕事をしたい	仲間と一緒に施設などで仕事をしたい	仕事に就くための技術を身につけたい	学校に通って知識を身につけたい	家にいて家事や仕事をしたい	同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通って仲間を増やしたい	その他	不明・無回答
全体(n=603)		15.3	11.9	9.6	7.1	1.8	25.5	13.4	11.6	31.8
所持手帳	身体(n=405)	11.4	7.4	4.0	3.0	1.2	24.9	11.1	14.3	40.2
	療育(n=118)	24.6	12.7	28.0	11.0	1.7	17.8	21.2	5.1	16.1
	精神(n=150)	18.7	22.7	14.7	18.0	4.0	29.3	19.3	7.3	18.0

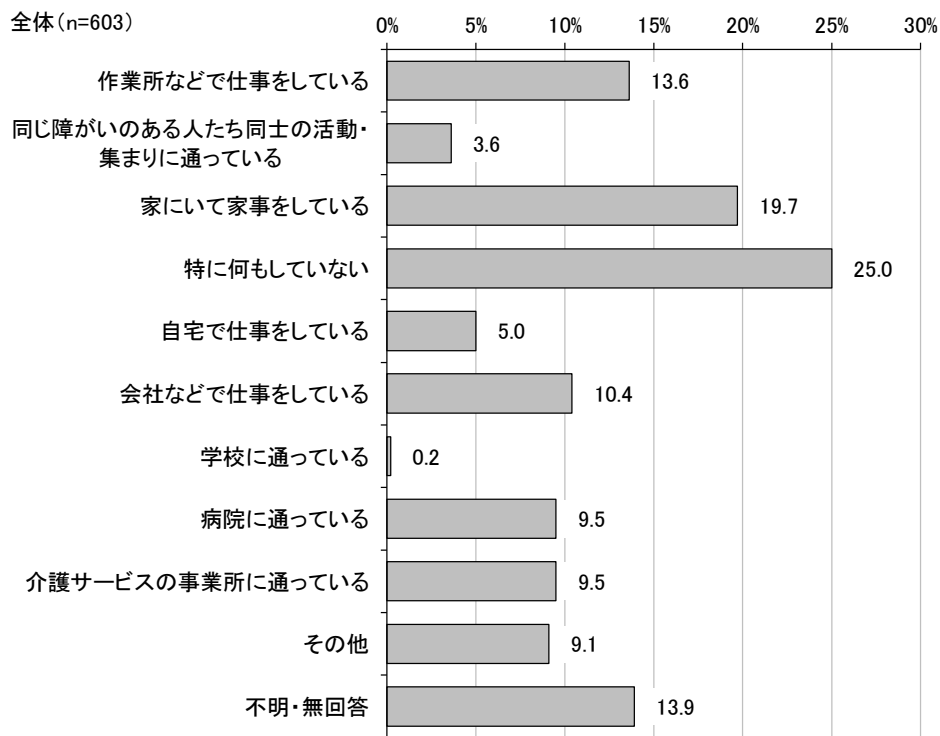
18歳以上の方にお聞きします。

問 37 あなたは、日中の生活をどのように過ごされていますか。また、それは週に何日程度かもお書きください。

日中の生活の過ごし方（複数回答）

日中の生活の過ごし方についてみると、「特に何もしていない」が 25.0%と最も高く、次いで「家にいて家事をしている」が 19.7%、「作業所などで仕事をしている」が 13.6%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「特に何もしていない」、[療育][精神]では「作業所などで仕事をしている」が高くなっています。また、[療育]では「会社などで仕事をしている」の割合が他と比べて高くなっています。

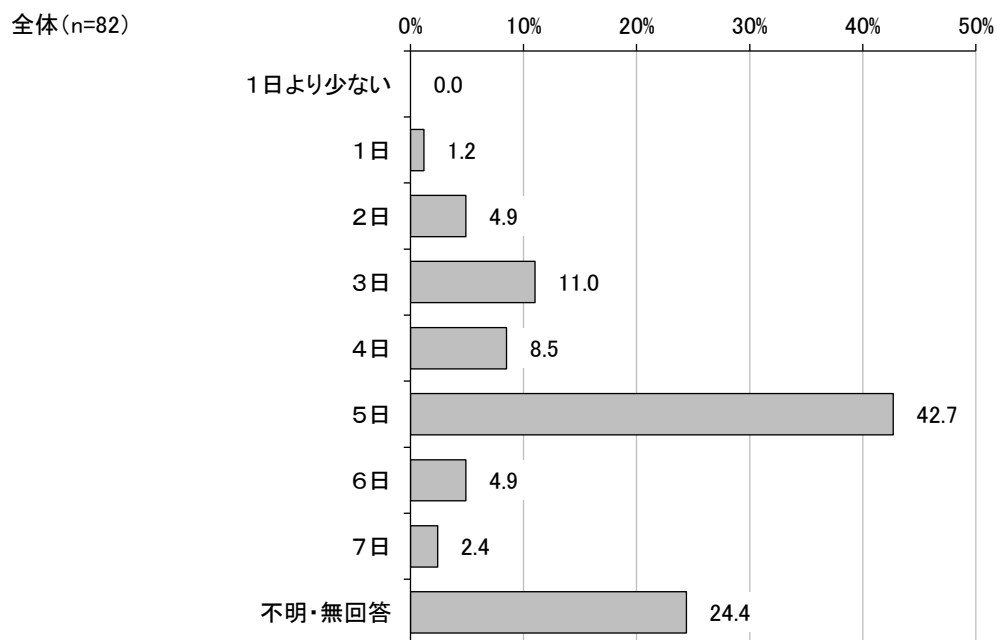


単位: %		作業所などで仕事をしている	同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通っている	家にいて家事をしている	特に何もしていない	自宅で仕事をしている	会社などで仕事をしている	学校に通っている	病院に通っている	介護サービスの事業所に通っている	その他	不明・無回答
全体(n=603)		13.6	3.6	19.7	25.0	5.0	10.4	0.2	9.5	9.5	9.1	13.9
所持手帳	身体(n=405)	4.9	1.7	20.0	29.1	6.4	7.9	0.0	9.4	10.1	11.4	17.3
	療育(n=118)	31.4	7.6	8.5	14.4	0.8	19.5	0.8	4.2	14.4	5.1	9.3
	精神(n=150)	30.7	9.3	26.7	19.3	2.0	8.0	0.0	14.7	7.3	6.0	5.3

① 「作業所などで仕事をしている」週当たりの日数（数量回答）

作業所などで仕事をしている週当たりの日数についてみると、「5日」が42.7%と最も高く、次いで「3日」が11.0%、「4日」が8.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「2日」「5日」、[療育][精神]では「5日」が高くなっています。

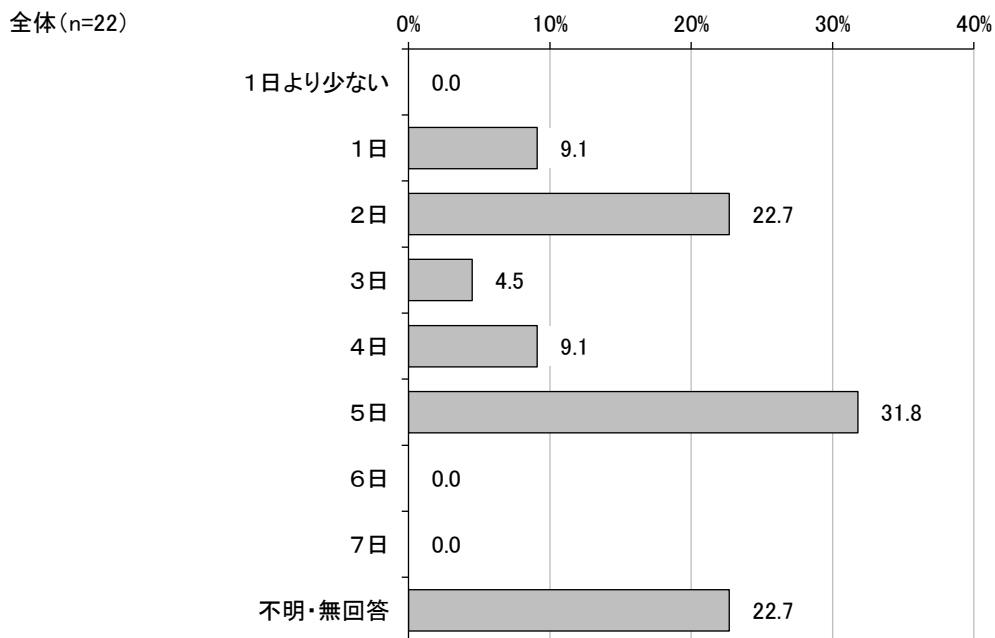


単位：%		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=82)		0.0	1.2	4.9	11.0	8.5	42.7	4.9	2.4	24.4
所持手帳	身体 (n=20)	0.0	0.0	15.0	5.0	5.0	15.0	10.0	5.0	45.0
	療育 (n=37)	0.0	0.0	0.0	8.1	13.5	54.1	8.1	0.0	16.2
	精神 (n=46)	0.0	2.2	6.5	17.4	6.5	37.0	6.5	2.2	21.7

② 「同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通っている」週当たりの日数（数量回答）

同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通っている週当たりの日数についてみると、「5日」が31.8%と最も高く、次いで「2日」が22.7%、「1日」「4日」が9.1%となっています。

所持手帳でみると、[精神]では「2日」が高くなっています。

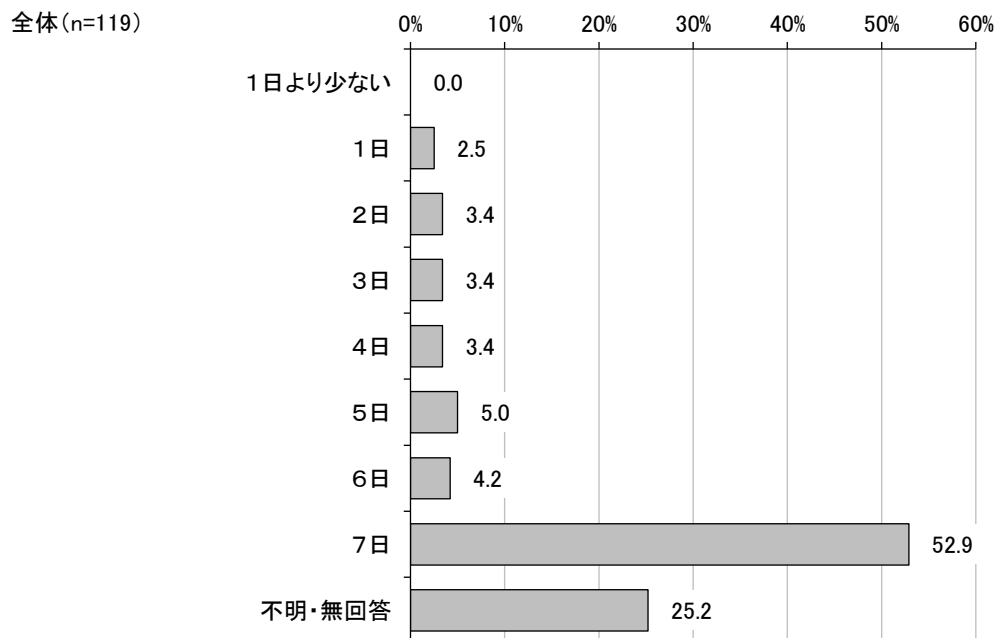


単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=22)		0.0	9.1	22.7	4.5	9.1	31.8	0.0	0.0	22.7
所持手帳	身体 (n=7)	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6
	療育 (n=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	55.6	0.0	0.0	11.1
	精神 (n=14)	0.0	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	35.7

③ 「家において家事をしている」週当たりの日数（数量回答）

家において家事をしている週当たりの日数についてみると、「7日」が52.9%と最も高く、次いで「5日」が5.0%、「6日」が4.2%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「7日」が高くなっています。

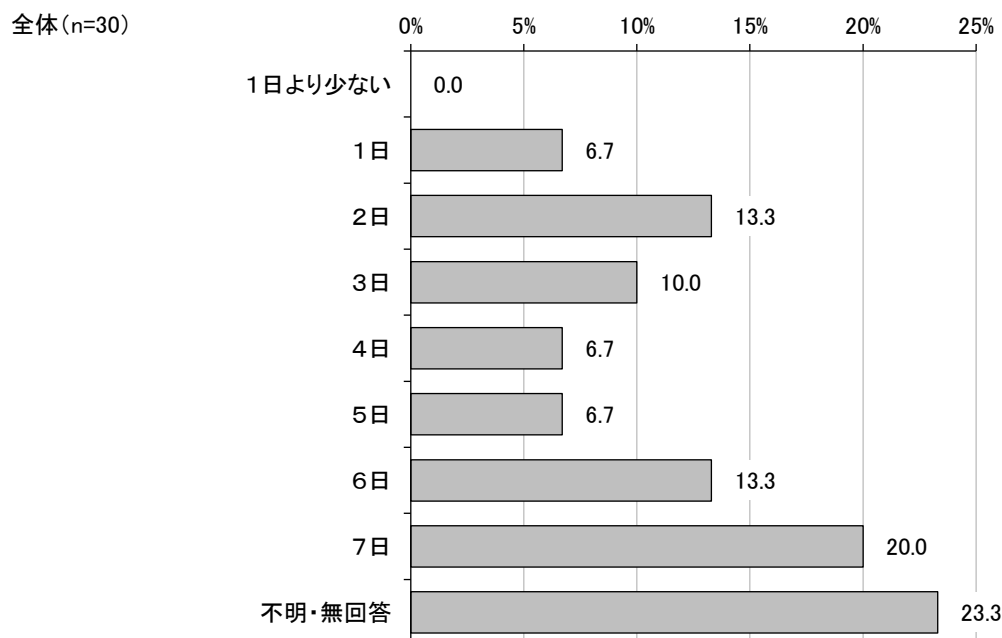


単位: %		1日 より 少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・ 無 回答
全体 (n=119)		0.0	2.5	3.4	3.4	3.4	5.0	4.2	52.9	25.2
所持 手帳	身体 (n=81)	0.0	1.2	2.5	1.2	1.2	4.9	4.9	54.3	29.6
	療育 (n=10)	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	20.0
	精神 (n=40)	0.0	2.5	2.5	10.0	7.5	5.0	2.5	50.0	20.0

④ 「自宅で仕事をしている」週当たりの日数（数量回答）

自宅で仕事をしている週当たりの日数についてみると、「7日」が20.0%と最も高く、次いで「2日」「6日」が13.3%、「3日」が10.0%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「7日」が高くなっています。

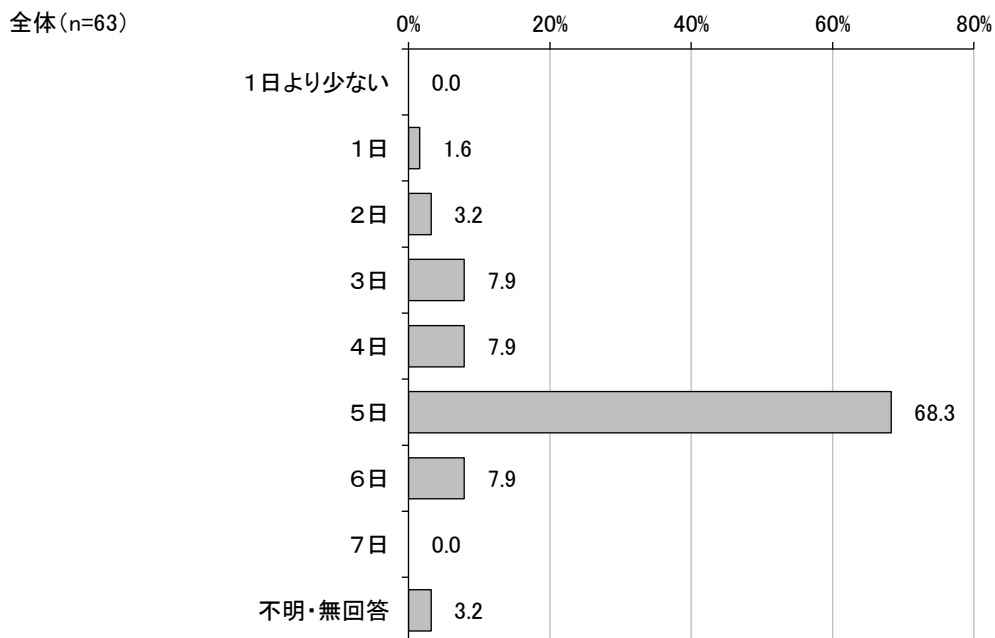


単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=30)		0.0	6.7	13.3	10.0	6.7	6.7	13.3	20.0	23.3
所持手帳	身体 (n=26)	0.0	7.7	11.5	11.5	7.7	3.8	11.5	19.2	26.9
	療育 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	精神 (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

⑤ 「会社などで仕事をしている」週当たりの日数（数量回答）

会社などで仕事をしている週当たりの日数についてみると、「5日」が68.3%と最も高く、次いで「3日」「4日」「6日」が7.9%、「2日」が3.2%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「5日」が高くなっています。



単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=63)		0.0	1.6	3.2	7.9	7.9	68.3	7.9	0.0	3.2
所持手帳	身体 (n=32)	0.0	0.0	6.3	12.5	6.3	59.4	12.5	0.0	3.1
	療育 (n=23)	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	78.3	4.3	0.0	4.3
	精神 (n=12)	0.0	8.3	0.0	16.7	16.7	58.3	0.0	0.0	0.0

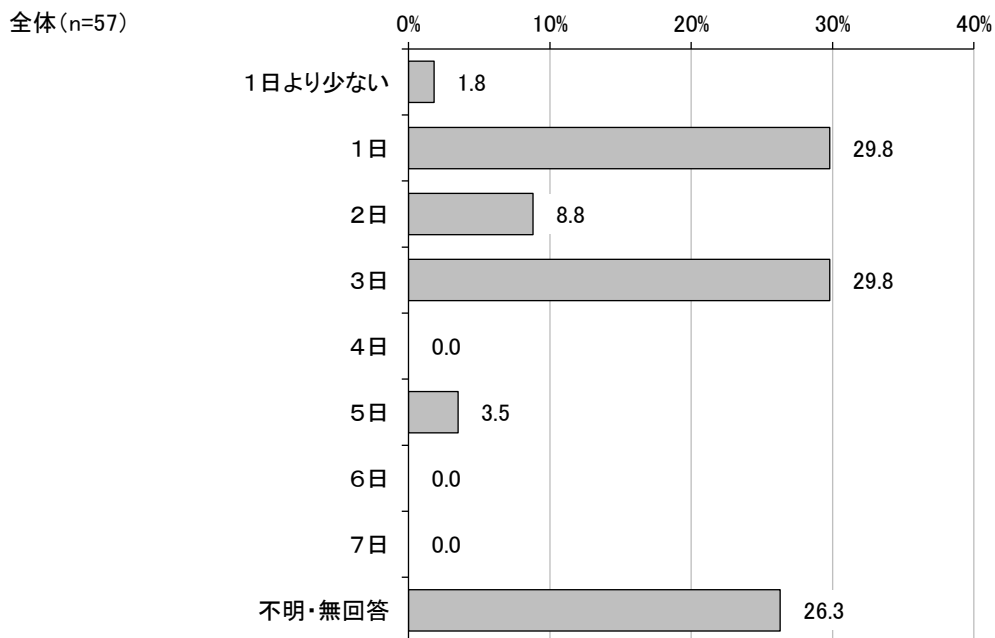
⑥ 「学校に通っている」週当たりの日数（数量回答）

「学校に通っている」週当たりの日数についてみると、「不明・無回答」が1件でした。

⑦ 「病院に通っている」週当たりの日数（数量回答）

病院に通っている週当たりの日数についてみると、「1日」「3日」が29.8%と最も高く、次いで「2日」が8.8%、「5日」が3.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「3日」、[精神]では「1日」が高くなっています。

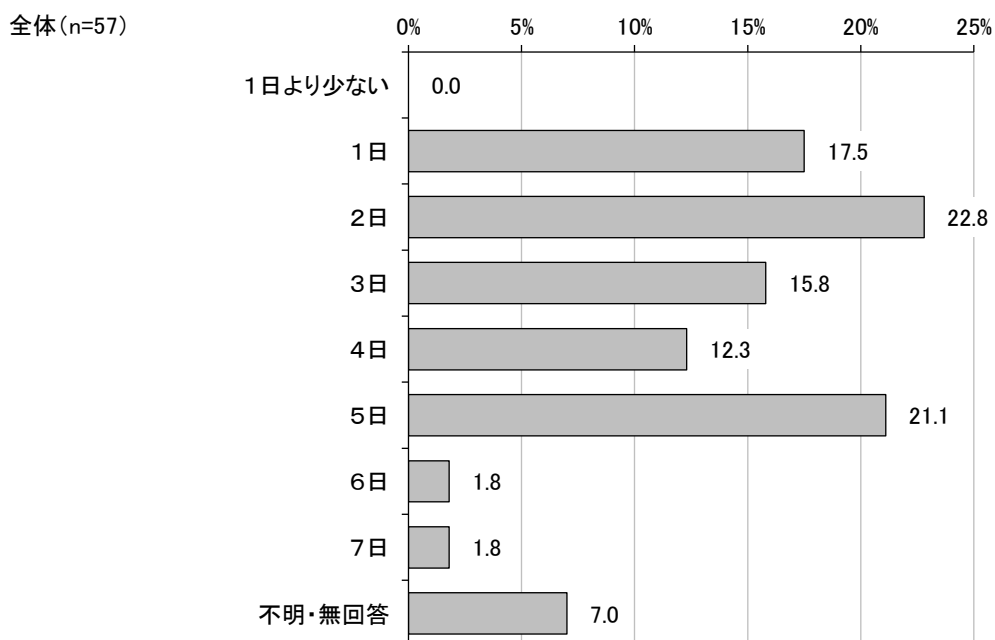


単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=57)		1.8	29.8	8.8	29.8	0.0	3.5	0.0	0.0	26.3
所持手帳	身体 (n=38)	0.0	18.4	7.9	39.5	0.0	2.6	0.0	0.0	31.6
	療育 (n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	精神 (n=22)	4.5	45.5	4.5	18.2	0.0	4.5	0.0	0.0	22.7

⑧ 「介護サービスの事業所に通っている」週当たりの日数（数量回答）

介護サービスの事業所に通っている週当たりの日数についてみると、「2日」が22.8%と最も高く、次いで「5日」が21.1%、「1日」が17.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「2日」、[療育]では「5日」、[精神]では「2日」「3日」が高くなっています。

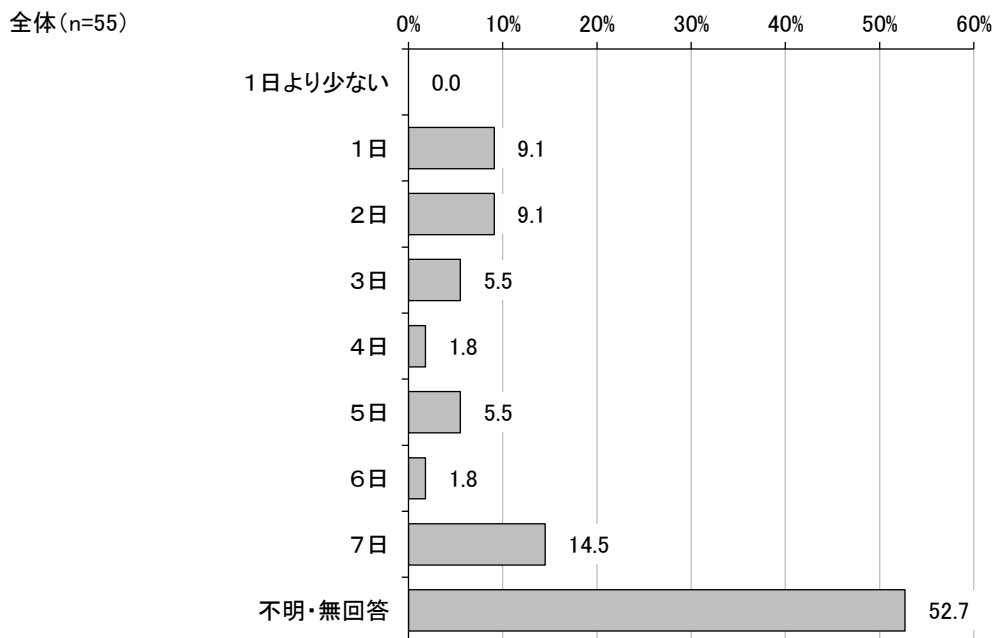


単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体(n=57)		0.0	17.5	22.8	15.8	12.3	21.1	1.8	1.8	7.0
所持手帳	身体(n=41)	0.0	19.5	26.8	12.2	17.1	9.8	2.4	2.4	9.8
	療育(n=17)	0.0	5.9	11.8	5.9	0.0	64.7	5.9	0.0	5.9
	精神(n=11)	0.0	18.2	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1

⑨ 「その他」週当たりの日数（数量回答）

その他の週当たりの日数についてみると、「7日」が 14.5%と最も高く、次いで「1日」「2日」が 9.1%、「3日」「5日」が 5.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「7日」が高くなっています。



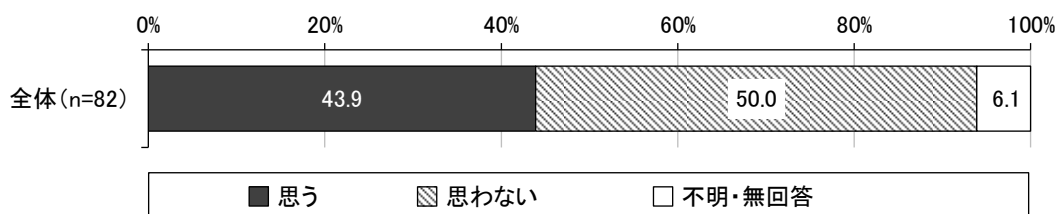
単位: %		1日より少ない	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明・無回答
全体 (n=55)		0.0	9.1	9.1	5.5	1.8	5.5	1.8	14.5	52.7
所持手帳	身体 (n=46)	0.0	8.7	6.5	6.5	2.2	4.3	2.2	10.9	58.7
	療育 (n=6)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	精神 (n=9)	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	33.3

問 37 で「作業所などで仕事をしている」と回答された方にお伺いします。

問 38 あなたは一般就労（一般企業などに雇用されて仕事をする事）をしたいと思いませんか。
 （単数回答）

一般就労をしたいと思うかについてみると、「思わない」が 50.0%と、「思う」の 43.9%を上回っています。

所持手帳でみると、[療育] では「思わない」、[精神] では「思う」が高く、[身体] では「思う」「思わない」が同率となっています。また、[療育] では「思わない」の割合が他と比べて高くなっています。



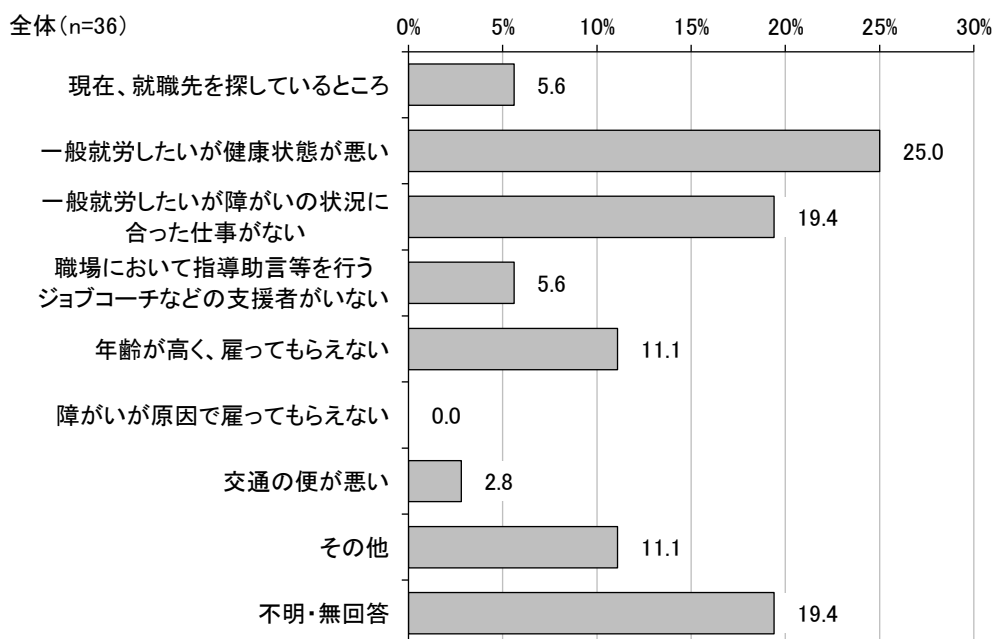
単位: %		思う	思わない	不明・無回答
全体 (n=82)		43.9	50.0	6.1
所持手帳	身体 (n=20)	45.0	45.0	10.0
	療育 (n=37)	29.7	62.2	8.1
	精神 (n=46)	54.3	43.5	2.2

問 38 で「思う」と回答された方にお伺いします。

問 39 一般就労をしていない理由について教えてください。(単数回答)

一般就労をしていない理由についてみると、「一般就労したいが健康状態が悪い」が 25.0%と最も高く、次いで「一般就労したいが障がいの状況に合った仕事がない」が 19.4%、「年齢が高く、雇ってもらえない」が 11.1%となっています。

所持手帳でみると、[療育] では「一般就労したいが健康状態が悪い」「一般就労したいが障がいの状況に合った仕事がない」、[精神] では「一般就労したいが健康状態が悪い」が高くなっています。



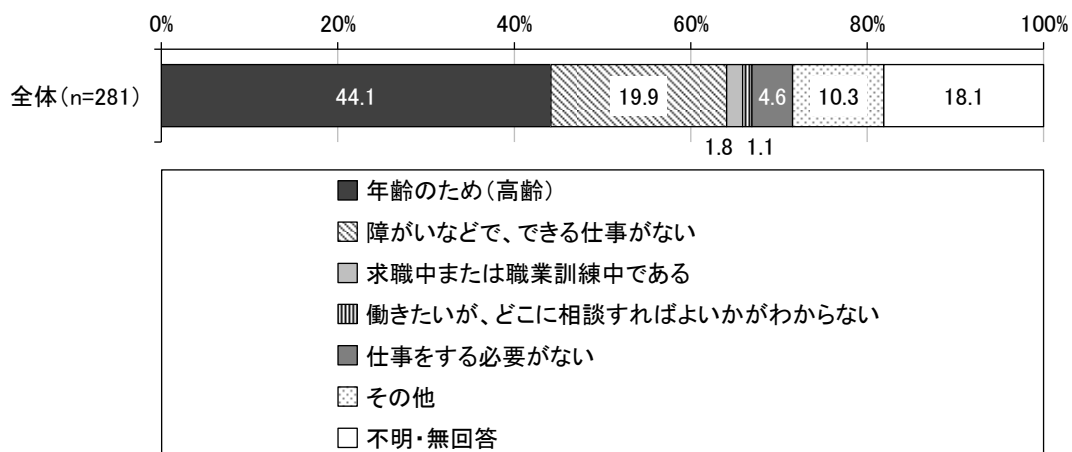
単位: %		現在、就職先を探しているところ	一般就労したいが健康状態が悪い	一般就労したいが障がいの状況に合った仕事がない	職場において指導助言等を行うジョブコーチなどの支援者がいない	年齢が高く、雇ってもらえない	障がいが原因で雇ってもらえない	交通の便が悪い	その他	不明・無回答
全体 (n=36)		5.6	25.0	19.4	5.6	11.1	0.0	2.8	11.1	19.4
所持手帳	身体 (n=9)	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	33.3	22.2
	療育 (n=11)	0.0	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	18.2	27.3
	精神 (n=25)	8.0	28.0	20.0	4.0	12.0	0.0	4.0	12.0	12.0

問 37 で「同じ障がいのある人たち同士の活動・集まりに通っている」「家にいて家事をしている」「特に何もしていない」のいずれかに回答された方にお伺いします。

問 40 働いておられないのは、主にどのような理由によりますか。(単数回答)

働いていない主な理由についてみると、「年齢のため(高齢)」が 44.1%と最も高く、次いで「障がいなどで、できる仕事がない」が 19.9%、「仕事をする必要がない」が 4.6%となっています。

所持手帳でみると、[身体]では「年齢のため(高齢)」、[療育][精神]では「障がいなどで、できる仕事がない」が高くなっています。

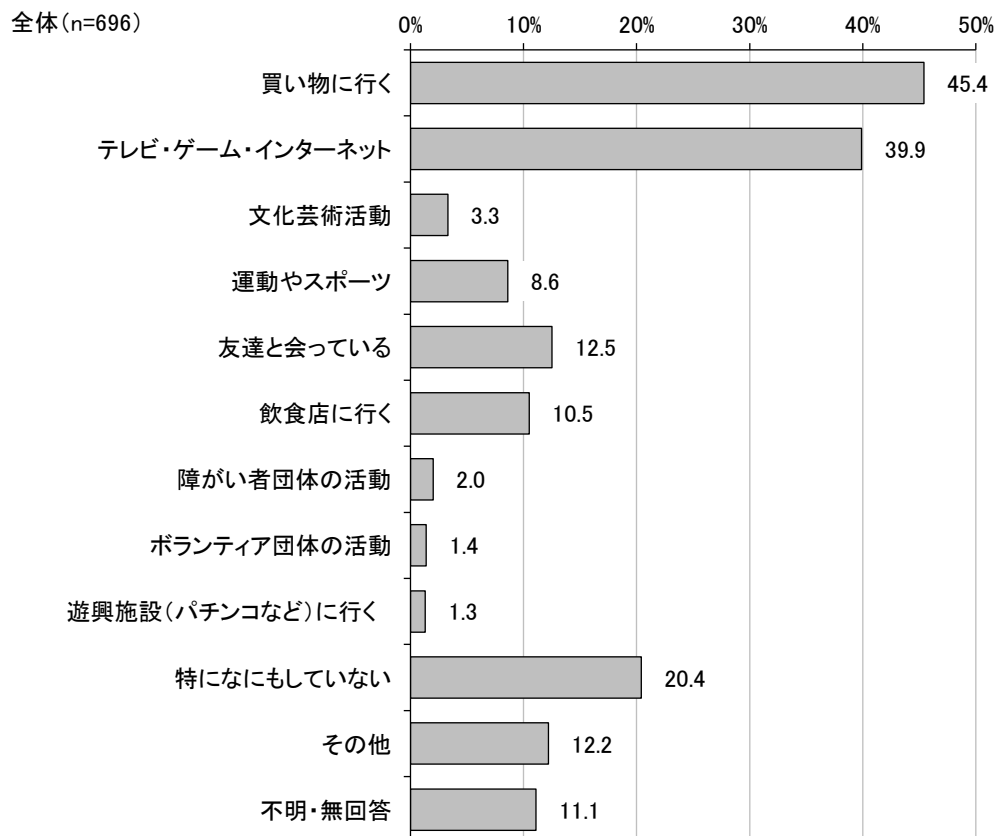


単位: %		年齢のため(高齢)	障がいなどで、できる仕事がない	求職中または職業訓練中である	働きたいが、どこに相談すればよいか分からない	仕事をする必要がない	その他	不明・無回答
全体(n=281)		44.1	19.9	1.8	1.1	4.6	10.3	18.1
所持手帳	身体(n=201)	56.7	14.4	0.0	0.5	5.0	5.5	17.9
	療育(n=34)	11.8	35.3	2.9	2.9	11.8	17.6	17.6
	精神(n=76)	14.5	30.3	5.3	2.6	3.9	21.1	22.4

8 余暇活動について

問 41 あなたは、就労・通所・学校以外の時間でどのようなことをして過ごしていることが多いですか。(複数回答)

就労・通所・学校以外の時間でどのようなことをして過ごしていることが多いかについてみると、「買い物に行く」が45.4%と最も高く、次いで「テレビ・ゲーム・インターネット」が39.9%、「特になにもしていない」が20.4%となっています。



所持手帳でみると、[身体] [精神] では「買い物に行く」、[療育] では「テレビ・ゲーム・インターネット」が高くなっています。

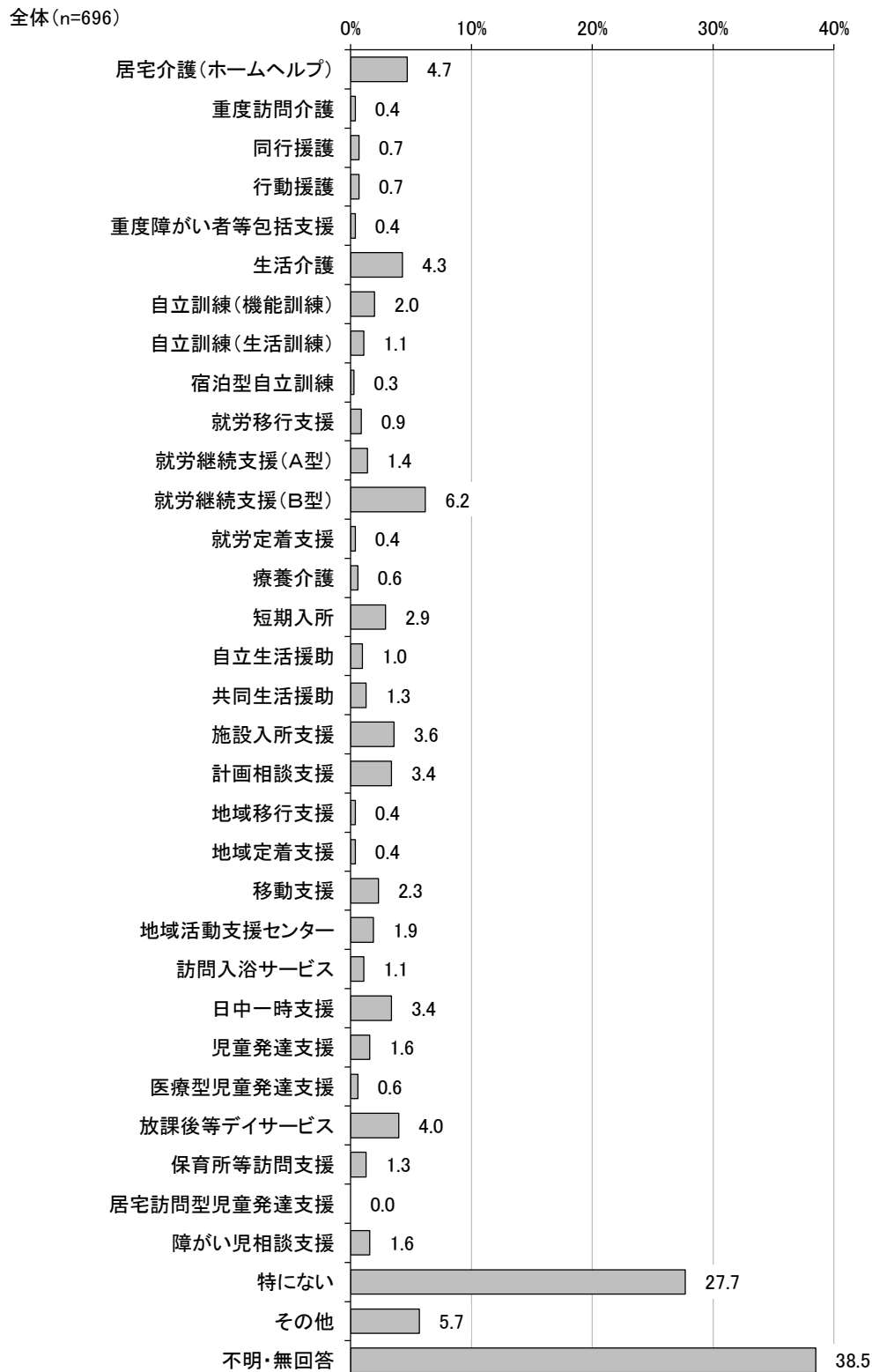
単位：%		買い物に行く	テレビ・ゲーム・インターネット	文化芸術活動	運動やスポーツ	友達と会っている	飲食店に行く	障がい者団体の活動	ボランティア団体	遊興施設（パチンコなど）に行く	特になにもしていない
全体 (n=696)		45.4	39.9	3.3	8.6	12.5	10.5	2.0	1.4	1.3	20.4
所持手帳	身体 (n=420)	40.7	33.3	3.8	10.0	15.5	9.8	1.0	1.9	1.4	23.8
	療育 (n=170)	48.8	60.6	2.9	5.9	11.2	11.2	5.3	0.6	0.6	10.0
	精神 (n=156)	56.4	34.6	3.2	9.0	12.2	13.5	2.6	0.6	2.6	17.9

単位：%		その他	不明・無回答
全体 (n=696)		12.2	11.1
所持手帳	身体 (n=420)	11.4	13.1
	療育 (n=170)	12.9	7.1
	精神 (n=156)	14.7	9.0

9 サービスの利用状況

問 42 (1) 現在、利用しているサービスは何ですか。(複数回答)

現在、利用しているサービスについてみると、「特にない」が 27.7%と最も高く、次いで「就労継続支援 (B型)」が 6.2%、「居宅介護 (ホームヘルプ)」が 4.7%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「特にない」が高くなっています。

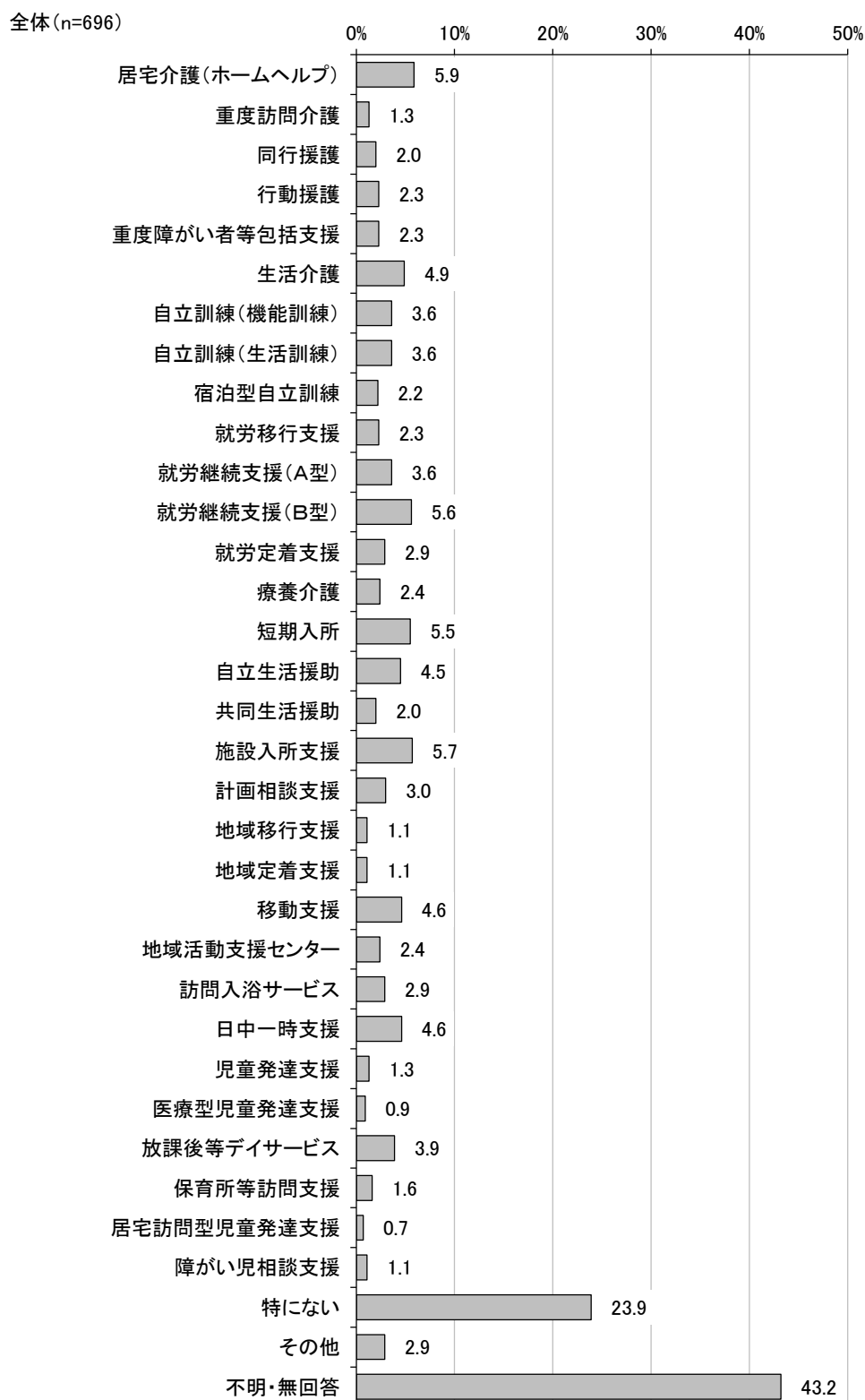
単位：%		居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）
全体 (n=696)		4.7	0.4	0.7	0.7	0.4	4.3	2.0	1.1	0.3	0.9	1.4	6.2
所持手帳	身体 (n=420)	6.7	0.2	0.5	0.7	0.5	3.8	2.1	0.5	0.2	0.5	0.0	1.2
	療育 (n=170)	3.5	0.0	1.8	1.8	0.6	12.9	2.4	1.2	0.6	1.8	1.8	11.8
	精神 (n=156)	3.2	1.3	1.3	0.0	0.6	3.2	3.2	2.6	0.6	1.9	5.1	17.9

単位：%		就労定着支援	療養介護	短期入所	自立生活援助	共同生活援助	施設入所支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	地域活動支援センター	訪問入浴サービス
全体 (n=696)		0.4	0.6	2.9	1.0	1.3	3.6	3.4	0.4	0.4	2.3	1.9	1.1
所持手帳	身体 (n=420)	0.0	0.7	1.9	0.5	0.7	3.8	0.2	0.0	0.2	1.7	1.4	1.2
	療育 (n=170)	0.6	0.0	5.3	1.2	4.1	4.7	7.6	1.2	1.2	6.5	2.9	2.9
	精神 (n=156)	1.3	1.3	3.8	1.9	2.6	3.2	7.1	0.6	1.3	1.9	1.3	1.3

単位：%		日中一時支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障がい児相談支援	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		3.4	1.6	0.6	4.0	1.3	0.0	1.6	27.7	5.7	38.5
所持手帳	身体 (n=420)	1.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	29.8	5.5	46.2
	療育 (n=170)	11.8	5.9	1.8	12.9	5.3	0.0	5.9	15.9	2.9	24.7
	精神 (n=156)	3.8	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	28.8	8.3	26.3

問 42 (2) 今後、利用したい (利用を継続したい) サービスは何ですか。(複数回答)

今後、利用したいサービスについてみると、「特にない」が 23.9%と最も高く、次いで「居宅介護 (ホームヘルプ)」が 5.9%、「施設入所支援」が 5.7%となっています。



所持手帳でみると、すべての場合において「特にない」が高くなっていますが、[療育]では「放課後等デイサービス」が他と比べて高くなっています。

単位：%		居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障がい者等包括支援	生活介護	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	宿泊型自立訓練	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）
全体 (n=696)		5.9	1.3	2.0	2.3	2.3	4.9	3.6	3.6	2.2	2.3	3.6	5.6
所持手帳	身体 (n=420)	7.4	1.0	1.2	1.9	2.1	4.3	3.1	1.9	0.5	0.5	0.7	1.0
	療育 (n=170)	4.7	1.8	3.5	4.1	2.9	9.4	5.3	5.9	5.9	5.3	6.5	13.5
	精神 (n=156)	3.2	1.3	2.6	1.9	4.5	4.5	3.8	4.5	2.6	3.8	9.0	12.2

単位：%		就労定着支援	療養介護	短期入所	自立生活援助	共同生活援助	施設入所支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	移動支援	地域活動支援センター	訪問入浴サービス
全体 (n=696)		2.9	2.4	5.5	4.5	2.0	5.7	3.0	1.1	1.1	4.6	2.4	2.9
所持手帳	身体 (n=420)	1.0	2.6	4.3	1.9	0.2	4.8	1.0	0.2	0.5	2.9	1.7	3.6
	療育 (n=170)	5.9	1.8	11.8	9.4	6.5	8.8	6.5	2.9	1.8	10.6	3.5	2.9
	精神 (n=156)	5.8	1.9	4.5	5.8	1.9	5.1	3.8	1.3	1.9	3.8	3.8	1.3

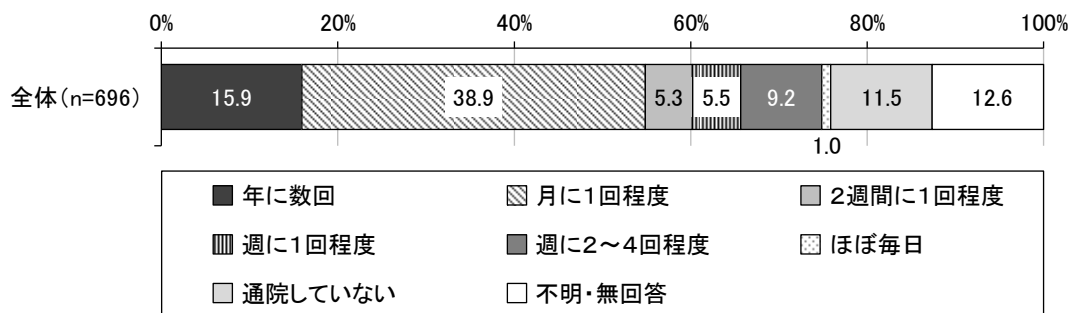
単位：%		日中一時支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅訪問型児童発達支援	障がい児相談支援	特にない	その他	不明・無回答
全体 (n=696)		4.6	1.3	0.9	3.9	1.6	0.7	1.1	23.9	2.9	43.2
所持手帳	身体 (n=420)	2.9	0.2	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	26.2	2.1	49.3
	療育 (n=170)	10.0	4.1	2.4	11.2	4.7	1.2	3.5	15.3	1.2	32.9
	精神 (n=156)	4.5	1.3	1.3	1.3	1.9	1.9	1.3	23.7	5.1	35.9

10 保健・医療

問 43 あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（単数回答）

現在の通院状況についてみると、「月に1回程度」が38.9%と最も高く、次いで「年に数回」が15.9%、「通院していない」が11.5%となっています。

所持手帳で見ると、すべての場合において「月に1回程度」が高くなっていますが、[療育]では「通院していない」が他と比べて高くなっています。

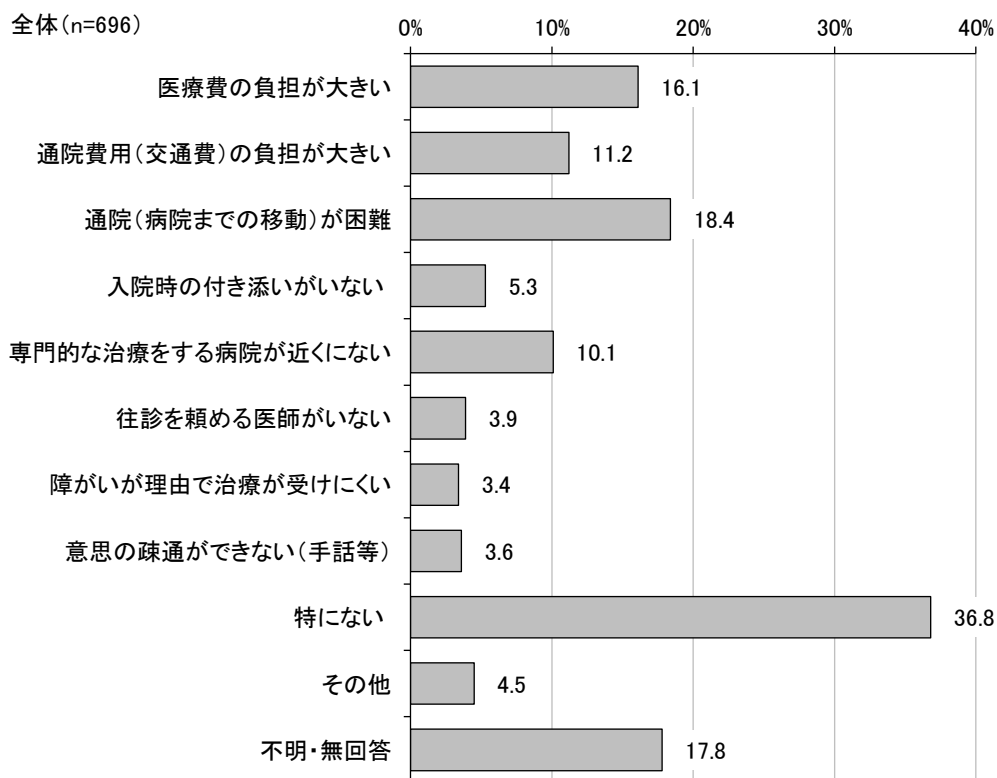


単位: %		年に数回	月に1回程度	2週間に1回程度	週に1回程度	週に2~4回程度	ほぼ毎日	通院していない	不明・無回答
全体 (n=696)		15.9	38.9	5.3	5.5	9.2	1.0	11.5	12.6
所持手帳	身体 (n=420)	16.9	37.1	5.2	6.4	12.4	0.7	7.9	13.3
	療育 (n=170)	21.2	31.2	4.1	5.9	2.4	0.0	24.7	10.6
	精神 (n=156)	8.3	50.0	5.8	3.8	10.9	2.6	7.1	11.5

問 44 医療を受ける上で困っていることはありますか。(3つまで回答)

医療を受ける上で困っていることについてみると、「特にない」が 36.8%と最も高く、次いで「通院（病院までの移動）が困難」が 18.4%、「医療費の負担が大きい」が 16.1%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「特にない」が高くなっていますが、[精神]では「通院費用（交通費）の負担が大きい」が他と比べて高くなっています。



単位: %		医療費の負担が大きい	通院費用(交通費)の負担が大きい	通院(病院までの移動)が困難	入院時の付き添いがいない	専門的な治療をする病院が近くにない	往診を頼める医師がいない	障がいが理由で治療が受けにくい	意思の疎通ができない(手話等)	特にない	その他	不明・無回答
全体(n=696)		16.1	11.2	18.4	5.3	10.1	3.9	3.4	3.6	36.8	4.5	17.8
所持手帳	身体(n=420)	14.5	7.9	17.6	5.2	8.8	4.0	1.7	3.1	39.5	3.6	20.0
	療育(n=170)	14.7	10.6	12.9	7.1	10.6	2.9	8.8	7.1	39.4	2.9	13.5
	精神(n=156)	20.5	19.9	19.9	4.5	13.5	5.1	1.9	1.3	25.0	9.0	17.9

II 療育・教育

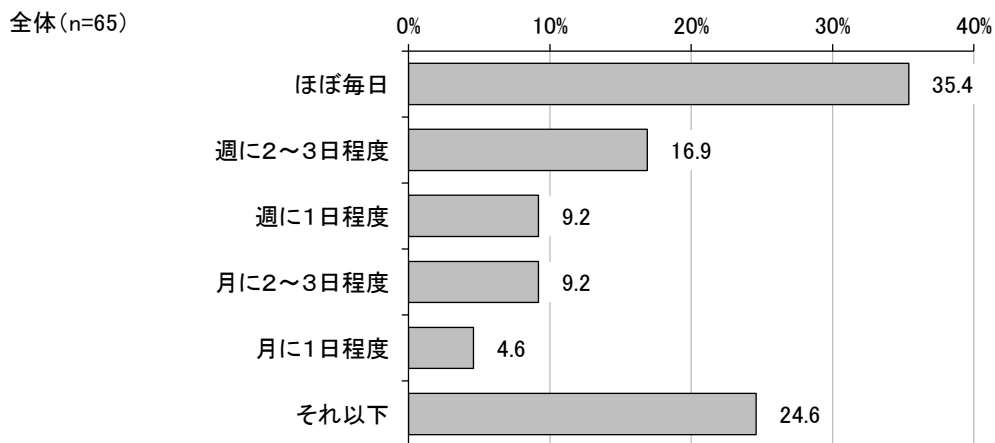
※ 問 45 から問 48 までは、障がい児通所施設等（療育）や学校に通所・通学している方（通所・通学していた方）がお答えください。

障がい児通所施設等に通所している方（通所していた方）にお聞きします。

問 45 障がい児通所施設等の通所頻度（通所していた頻度）を教えてください。（単数回答）

障がい児通所施設等の通所頻度についてみると、「ほぼ毎日」が 35.4%と最も高く、次いで「それ以下」が 24.6%、「週に2～3日程度」が 16.9%となっています。

所持手帳でみると、[療育]では「ほぼ毎日」の割合が他と比べて高くなっています。



単位: %		ほぼ毎日	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下
全体(n=65)		35.4	16.9	9.2	9.2	4.6	24.6
所持手帳	身体(n=14)	28.6	28.6	0.0	0.0	7.1	35.7
	療育(n=54)	42.6	16.7	9.3	9.3	1.9	20.4
	精神(n=11)	0.0	27.3	9.1	9.1	9.1	45.5

※「不明・無回答」を除いています。

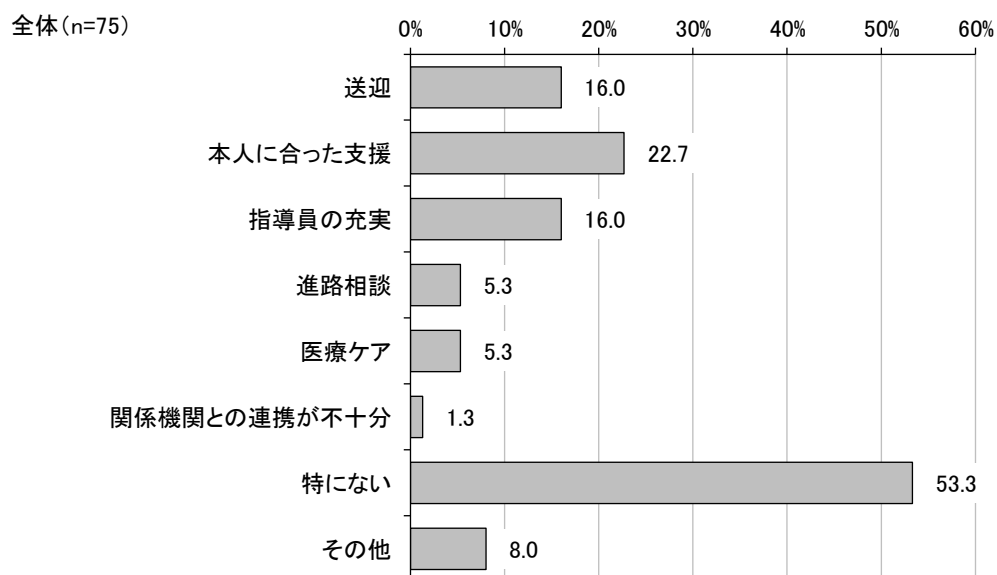
障がい児通所施設等に通所している方（通所していた方）にお聞きします。

問 46 障がい児通所施設等で困っていることはありますか（困ったことはありませんか）。

（複数回答）

障がい児通所施設等で困っていることについてみると、「特にない」が 53.3%と最も高く、次いで「本人に合った支援」が 22.7%、「送迎」「指導員の充実」が 16.0%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「特にない」が高くなっています。



単位: %		送迎	本人に合った支援	指導員の充実	進路相談	医療ケア	関係機関との連携が不十分	特にない	その他
全体 (n=75)		16.0	22.7	16.0	5.3	5.3	1.3	53.3	8.0
所持手帳	身体 (n=25)	8.0	16.0	12.0	4.0	12.0	0.0	64.0	4.0
	療育 (n=56)	17.9	25.0	21.4	7.1	7.1	1.8	48.2	8.9
	精神 (n=13)	15.4	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0	53.8	0.0

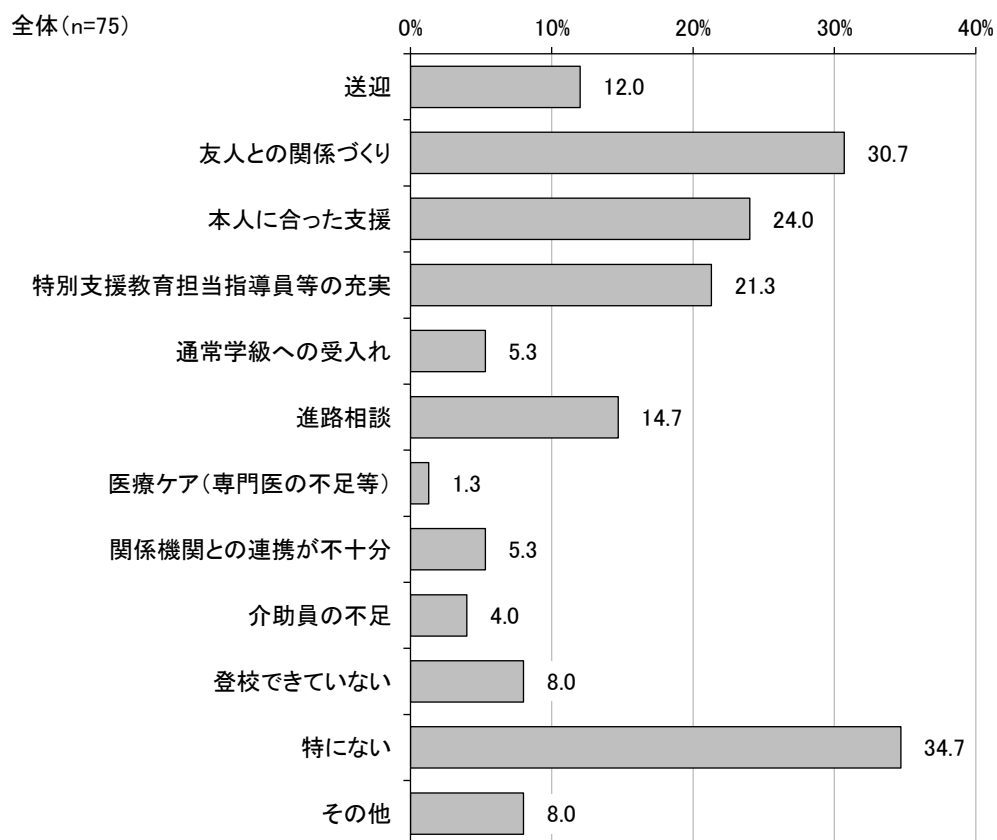
※「不明・無回答」を除いています。

学校に在籍している方（在籍していた方）にお聞きします。

問 47 学校教育（特別支援学級等）で困っていることはありますか（困ったことはありましたか）。

（複数回答）

学校教育で困っていることについてみると、「特にない」が 34.7%と最も高く、次いで「友人との関係づくり」が 30.7%、「本人に合った支援」が 24.0%となっています。



※「不明・無回答」を除いています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「特にない」、[療育]では「友人との関係づくり」が高くなっています。

単位：%		送迎	友人との関係づくり	本人に合った支援	特別支援教育担当 指導員等の充実	通常学級への受入れ	進路相談	医療ケア（専門医の不足等）	関係機関との連携が不十分	介助員の不足	登校できていない
全体 (n=75)		12.0	30.7	24.0	21.3	5.3	14.7	1.3	5.3	4.0	8.0
所持手帳	身体 (n=20)	5.0	15.0	20.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	療育 (n=65)	12.3	35.4	26.2	24.6	4.6	16.9	1.5	6.2	4.6	9.2
	精神 (n=9)	0.0	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0

単位：%		特にない	その他
全体 (n=75)		34.7	8.0
所持手帳	身体 (n=20)	45.0	10.0
	療育 (n=65)	29.2	7.7
	精神 (n=9)	44.4	11.1

※「不明・無回答」を除いています。

問 47 で「登校できていない」と答えた方にお聞きします。

問 48 登校できていない理由について、さしつかえなければご記入ください。

登校できていない理由について、7 件の回答がありました。

内 容
小学5年生の時に、教科限定で特別学級の別教室で学習していたが、そのことが原因で教科書や体育館シューズを隠されたり、机にチョークのかすで汚されて、いじめられたりしたことがあり学校側にも相談できなかった
給食や行事への不安。周囲に合わせることへの疲れ
具体的な理由は明確ではないが、決まった空間で決められたとおりに動くのが苦痛。空気が読めない反面、考えすぎるところがあるので、孤立感が深い
朝になるとパニックをおこす
学校教育自体のシステムに適應できない ※ただ現在は学校以外で自分に合った所に通うことができているし、先生方も直接ではないも間接的に支援して下さり、深く理解もして下さっており現状に大変満足しています
学校では支援学校に行く事ばかりすすめられる。支援指導員が少ないという理由で、しっかりみてもらえていないと感じられ、子どもも心をひらかない

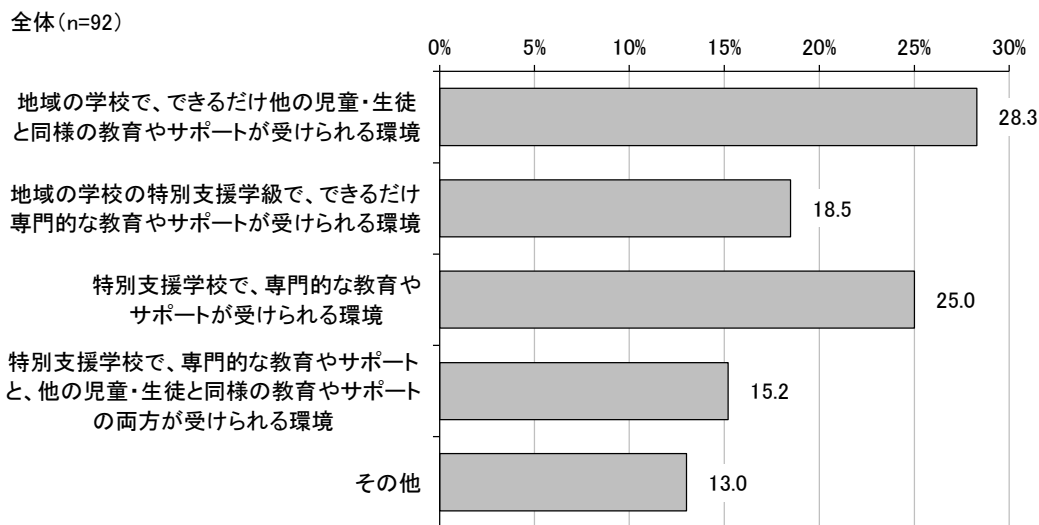
学校に通学している方（通学していた方）にお聞きします。

問 49 あなたにとって、望ましい就学環境とはどのような環境ですか(どのような環境でしたか)。

(単数回答)

望ましい就学環境についてみると、「地域の学校で、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが受けられる環境」が28.3%と最も高く、次いで「特別支援学校で、専門的な教育やサポートが受けられる環境」が25.0%、「地域の学校の特別支援学級で、できるだけ専門的な教育やサポートが受けられる環境」が18.5%となっています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「地域の学校で、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが受けられる環境」、[療育]では「特別支援学校で、専門的な教育やサポートが受けられる環境」が高くなっています



		地域の学校で、できるだけ他の児童・生徒と同様の教育やサポートが受けられる環境	地域の学校の特別支援学級で、できるだけ専門的な教育やサポートが受けられる環境	特別支援学校で、専門的な教育やサポートが受けられる環境	特別支援学校で、専門的な教育やサポートと、他の児童・生徒と同様の教育やサポートの両方が受けられる環境	その他
単位: %						
全体 (n=92)		28.3	18.5	25.0	15.2	13.0
所持手帳	身体 (n=23)	39.1	4.3	17.4	8.7	30.4
	療育 (n=72)	19.4	22.2	30.6	18.1	9.7
	精神 (n=12)	25.0	8.3	16.7	16.7	33.3

※「不明・無回答」を除いています。

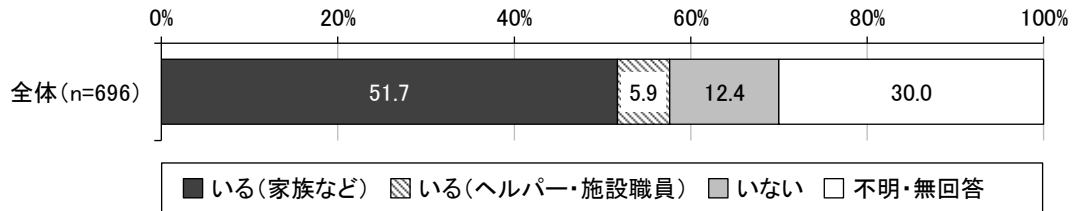
12 手助けをしている方の状況

※問 50・問 51 は、主に手助けをしている方がお答えください。

問 50 主に手助けをしている方はいますか。(単数回答)

主に手助けをしている方はいるかについてみると、「いる(家族など)」が51.7%と最も高く、次いで「いない」が12.4%、「いる(ヘルパー・施設職員)」が5.9%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「いる(家族など)」が高くなっていますが、[療育]では「いる(ヘルパー・施設職員)」が他と比べて高くなっています。



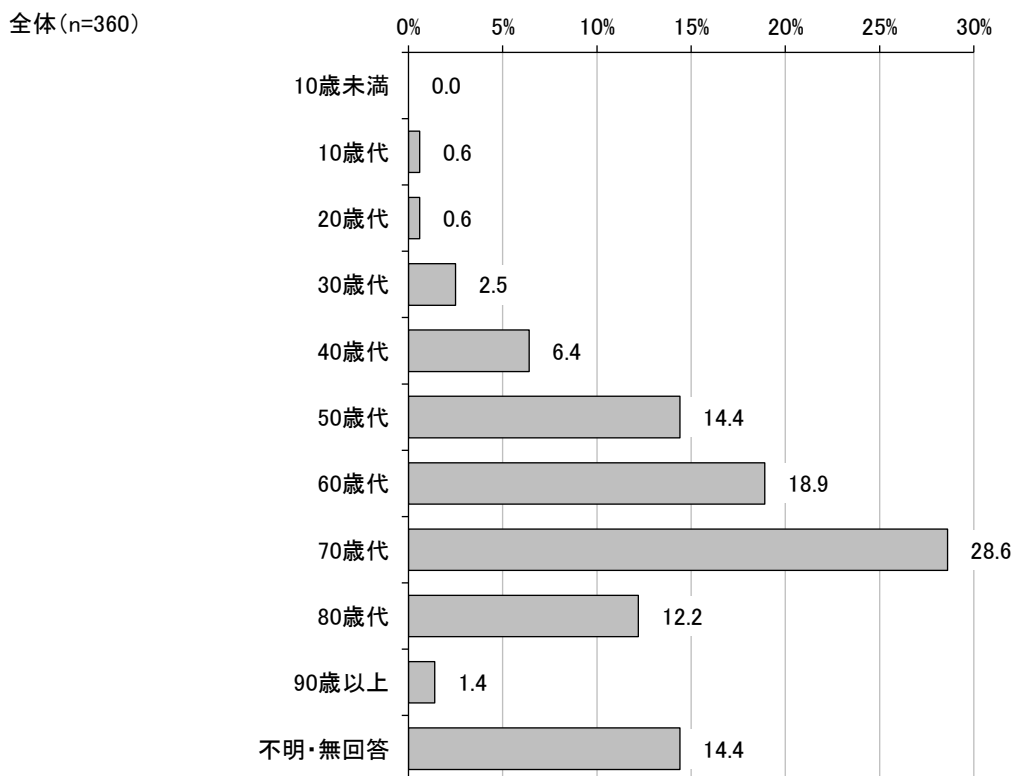
単位: %		いる(家族など)	いる(ヘルパー・施設職員)	いない	不明・無回答
全体 (n=696)		51.7	5.9	12.4	30.0
所持手帳	身体 (n=420)	51.9	5.0	11.9	31.2
	療育 (n=170)	57.6	12.4	12.4	17.6
	精神 (n=156)	46.2	4.5	12.8	36.5

問 50 で「いる（家族など）」と答えた方にお聞きします。

その方の年齢は、何歳ですか。（令和 5 年 8 月 1 日現在）（数量回答）

手助けをする方（家族など）の年齢についてみると、「70 歳代」が 28.6%と最も高く、次いで「60 歳代」が 18.9%、「50 歳代」が 14.4%となっています。

所持手帳でみると、[身体][精神]では「70 歳代」、[療育]では「50 歳代」が高くなっています。また、[療育]では「40 歳代」が他と比べて高くなっています。



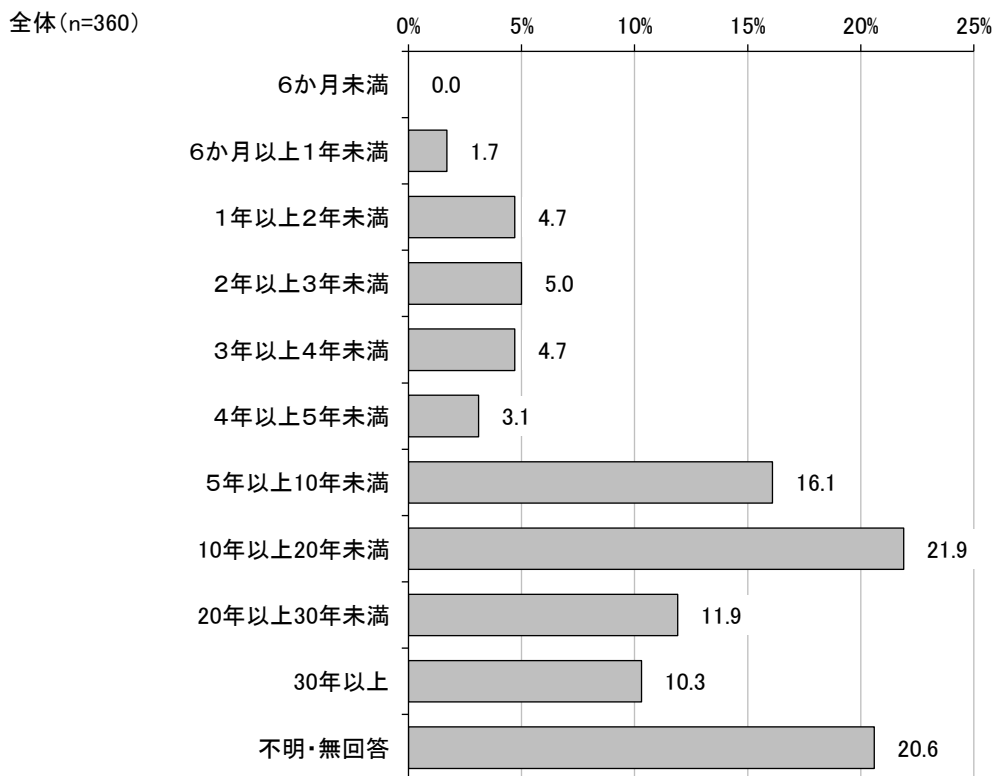
単位: %		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答
全体 (n=360)		0.0	0.6	0.6	2.5	6.4	14.4	18.9	28.6	12.2	1.4	14.4
所持手帳	身体 (n=218)	0.0	0.0	0.9	0.5	1.4	12.8	20.2	33.5	14.7	1.8	14.2
	療育 (n=98)	0.0	2.0	0.0	7.1	19.4	21.4	15.3	13.3	6.1	0.0	15.3
	精神 (n=72)	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	12.5	16.7	34.7	13.9	1.4	18.1

問 50 で「いる」と答えた方にお聞きします。

問 51 手助けを始めてどれくらいですか。(数量回答)

手助けを始めてどれくらいかについてみると、「10 年以上 20 年未満」が 21.9%と最も高く、次いで「5 年以上 10 年未満」が 16.1%、「20 年以上 30 年未満」が 11.9%となっています。

所持手帳でみると、すべての場合において「10 年以上 20 年未満」が高くなっています。



単位: %		6か月未満	満6か月以上1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	満5年以上10年未満	未10年以上20年未満	未20年以上30年未満	30年以上	不明・無回答
全体 (n=360)		0.0	1.7	4.7	5.0	4.7	3.1	16.1	21.9	11.9	10.3	20.6
所持手帳	身体 (n=218)	0.0	2.8	6.0	6.4	6.0	4.6	18.8	19.3	6.9	9.2	20.2
	療育 (n=98)	0.0	0.0	1.0	2.0	0.0	0.0	11.2	27.6	18.4	21.4	18.4
	精神 (n=72)	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	2.8	8.3	25.0	20.8	8.3	26.4

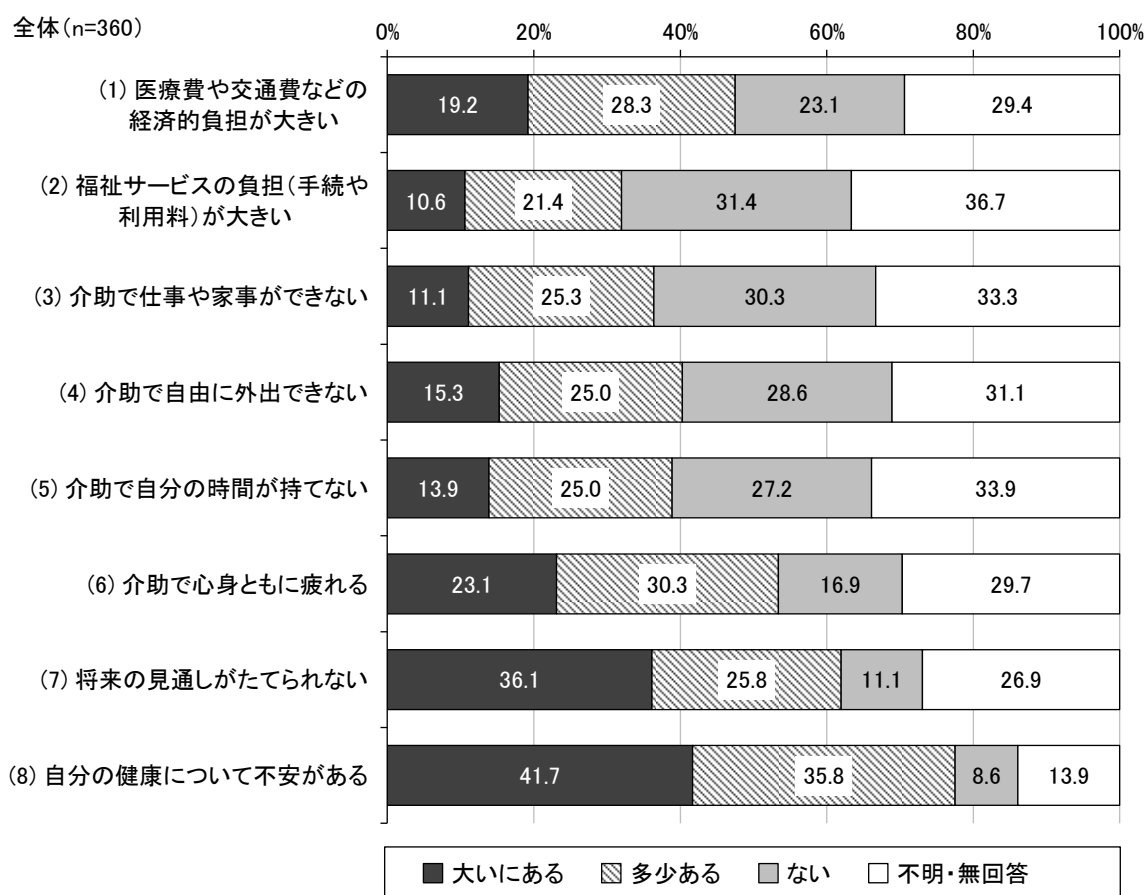
問 50 で「いる」と答えた方にお聞きします。

問 52 手助けをしている方として、次のうちあてはまるものは何ですか。(単数回答)

①全体

手助けをしている方として、あてはまるものについてみると、『ある（「大いにある」と「多少ある」の合計）』では【(8) 自分の健康について不安がある】が 77.5%と最も高く、次いで【(7) 将来の見通しがたてられない】が 61.9%、【(6) 介助で心身ともに疲れる】が 53.4%となっています。

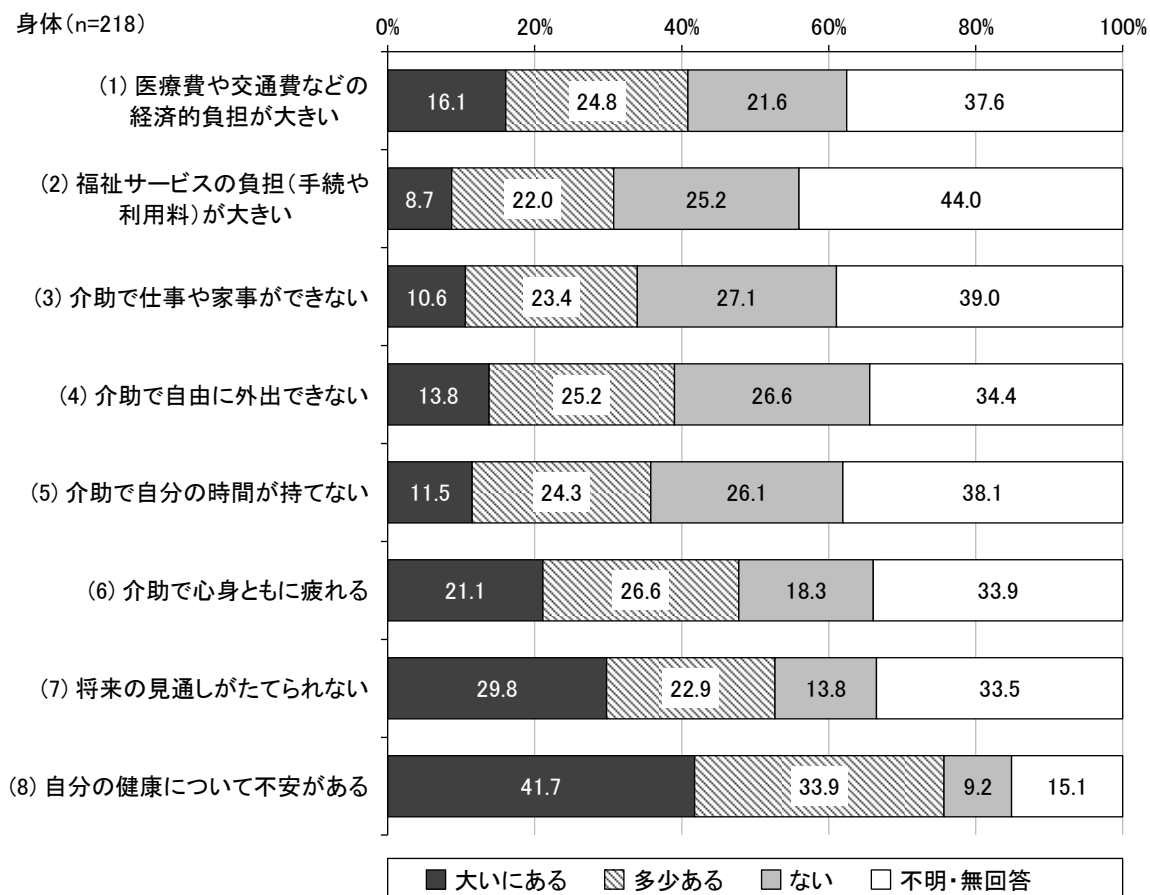
「ない」では【(2) 福祉サービスの負担（手続きや利用料）が大きい】が 31.4%と最も高く、次いで【(3) 介助で仕事や家事ができない】が 30.3%、【(4) 介助で自由に外出できない】が 28.6%となっています。



②身体障害者手帳所持者

身体障害者手帳所持者について、『ある』では【(8) 自分の健康について不安がある】が75.6%と最も高く、次いで【(7) 将来の見通しがたてられない】が52.7%、【(6) 介助で心身ともに疲れる】が47.7%となっています。

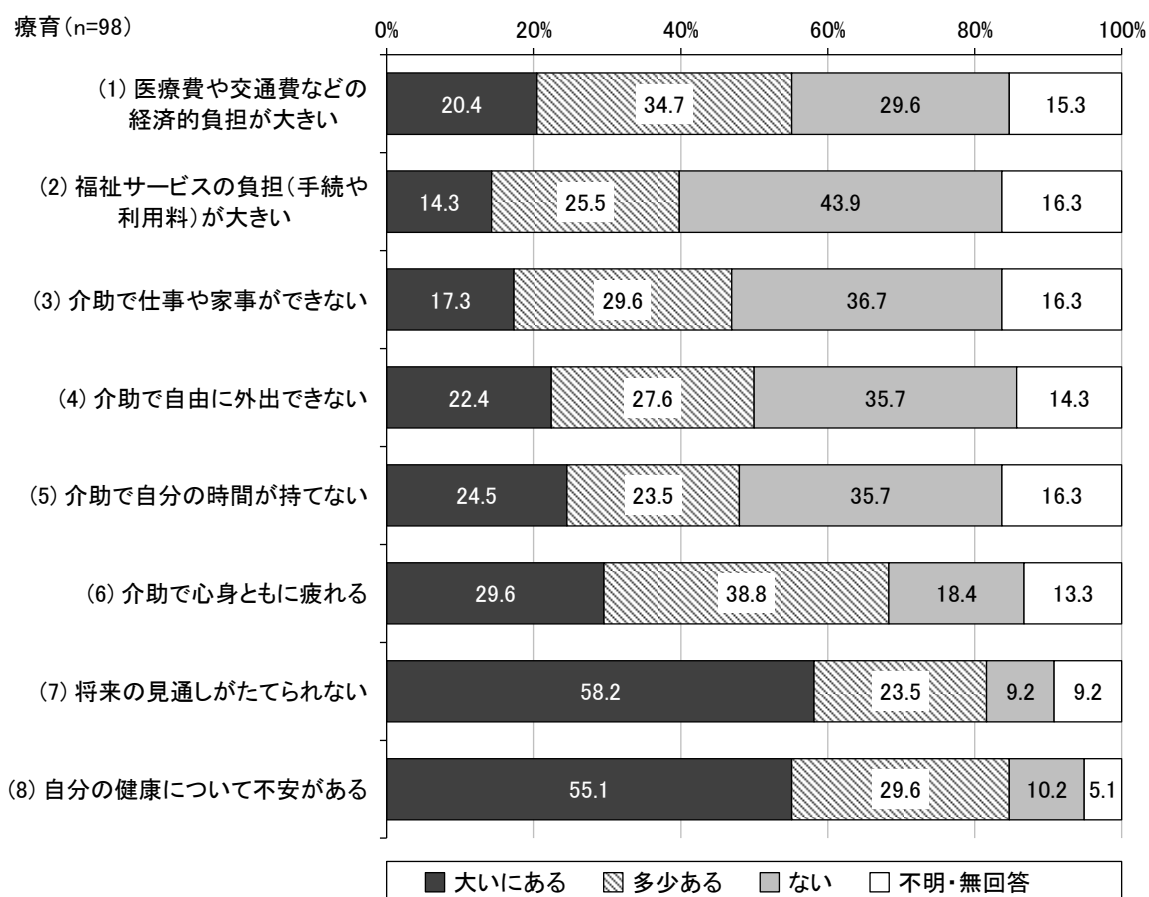
「ない」では【(3) 介助で仕事や家事ができない】が27.1%と最も高く、次いで【(4) 介助で自由に外出できない】が26.6%、【(5) 介助で自分の時間が持てない】が26.1%となっています。



③療育手帳所持者

療育手帳所持者について、『ある』では【(8) 自分の健康について不安がある】が84.7%と最も高く、次いで【(7) 将来の見通しがたてられない】が81.7%、【(6) 介助で心身ともに疲れる】が68.4%となっています。

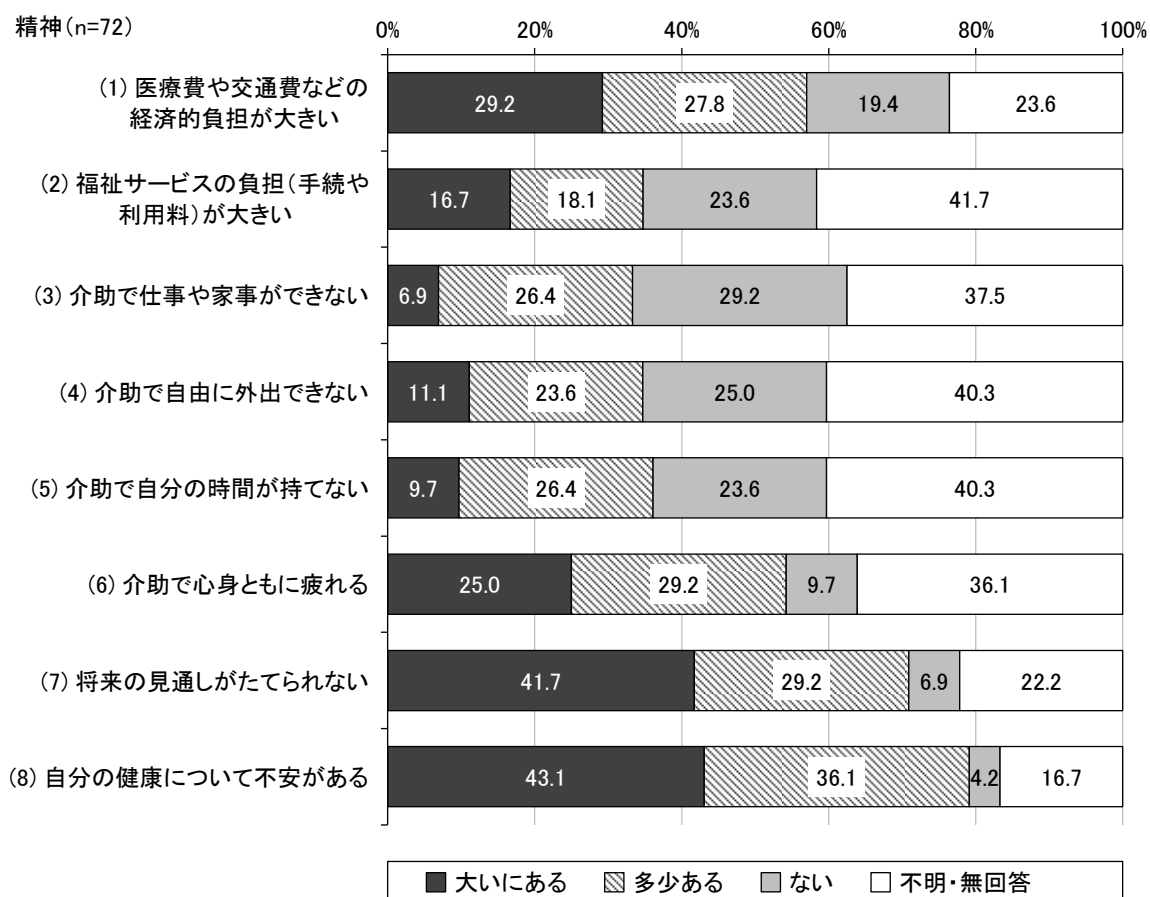
「ない」では【(2) 福祉サービスの負担(手続きや利用料)が大きい】が43.9%と最も高く、次いで【(3) 介助で仕事や家事ができない】が36.7%、【(4) 介助で自由に外出できない】【(5) 介助で自分の時間が持てない】が35.7%となっています。



④精神障害者保健福祉手帳所持者

精神障害者保健福祉手帳所持者について、『ある』では【(8)自分の健康について不安がある】が79.2%と最も高く、次いで【(7)将来の見通しがたてられない】が70.9%、【(1)医療費や交通費など経済的負担が大きい】が57.0%となっています。

「ない」では【(3)介助で仕事や家事ができない】が29.2%と最も高く、次いで【(4)介助で自由に外出できない】が25.0%、【(2)福祉サービスの負担(手続きや利用料)が大きい】【(5)介助で自分の時間が持てない】が23.6%となっています。

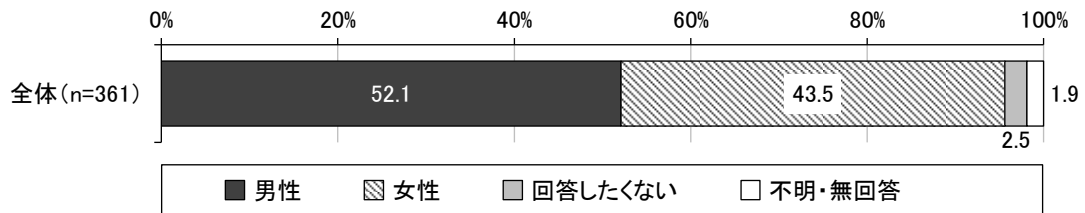


Ⅲ 一般市民アンケート調査結果

Ⅰ 基礎的事項

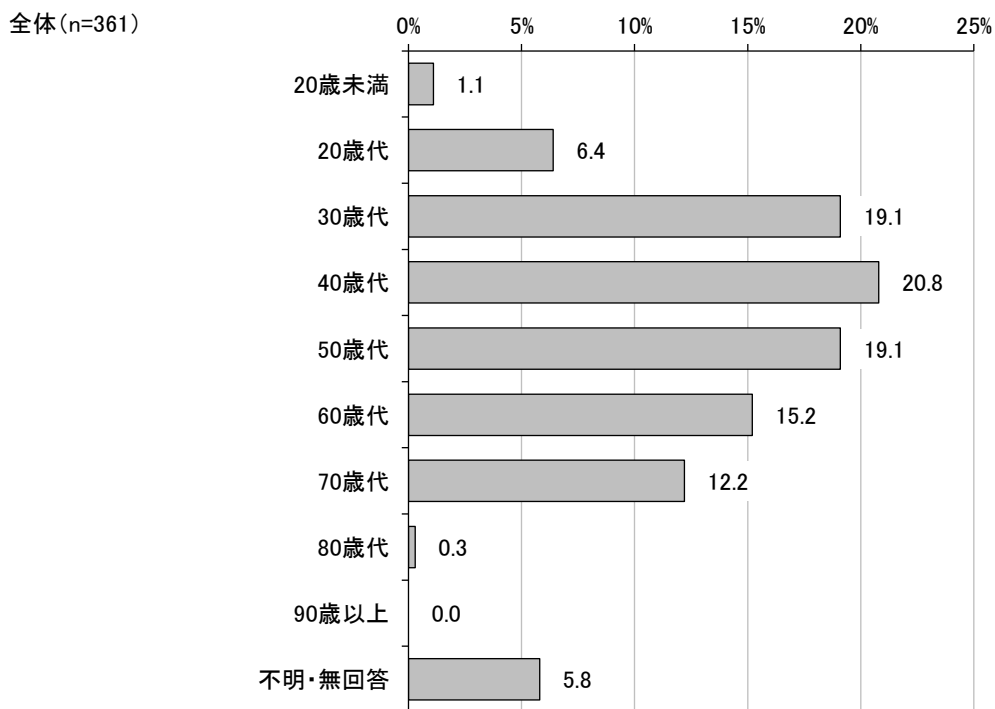
問1 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

性別についてみると、「男性」が52.1%、「女性」が43.5%、「回答したくない」が2.5%となっています。



問2 あなたの年齢は何歳ですか。(令和5年8月1日現在)(数量回答)

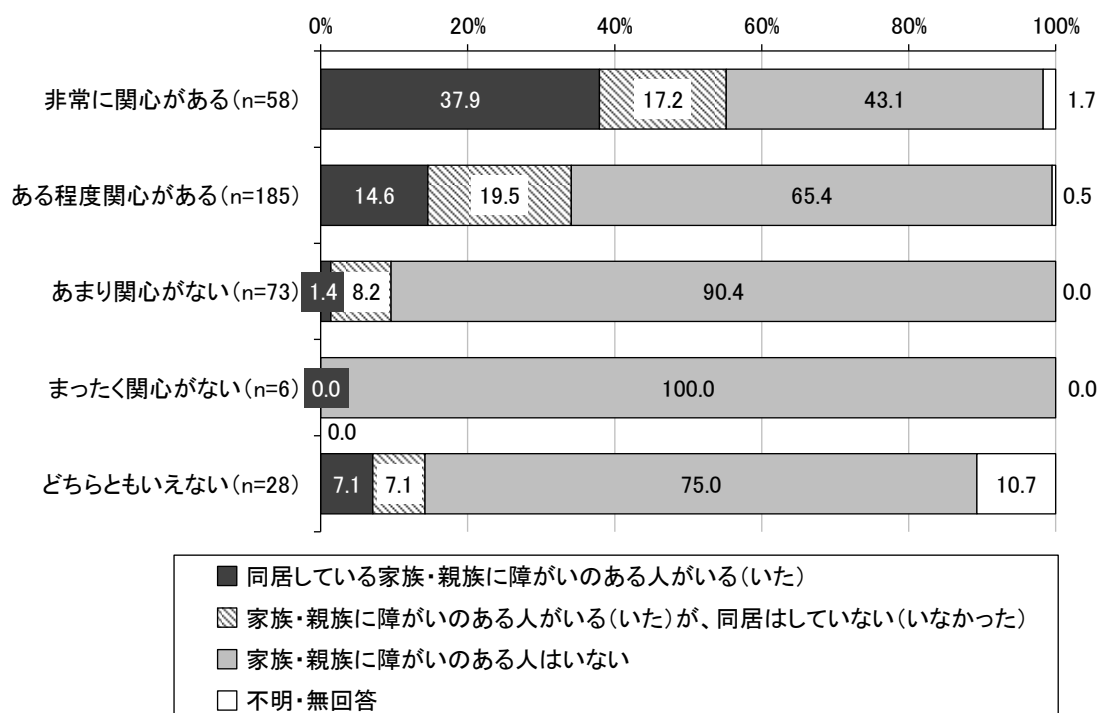
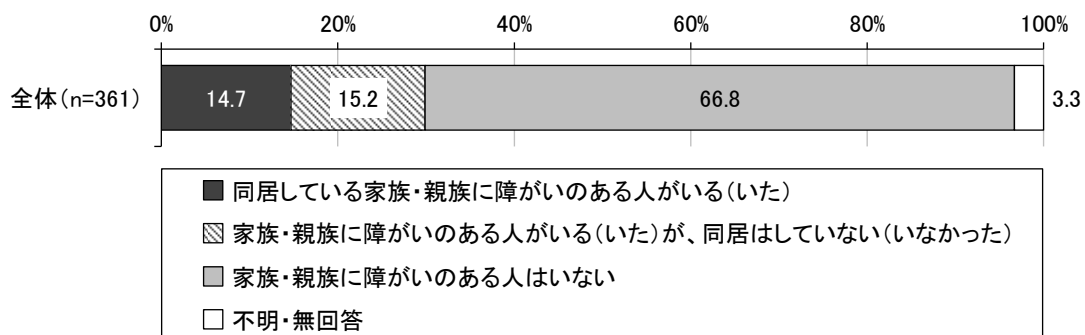
年齢についてみると、「40歳代」が20.8%、「30歳代」「50歳代」が19.1%、「60歳代」が15.2%となっています。



問3 あなたの家族・親族に、障がいのある人がいますか(いましたか)。(単数回答)

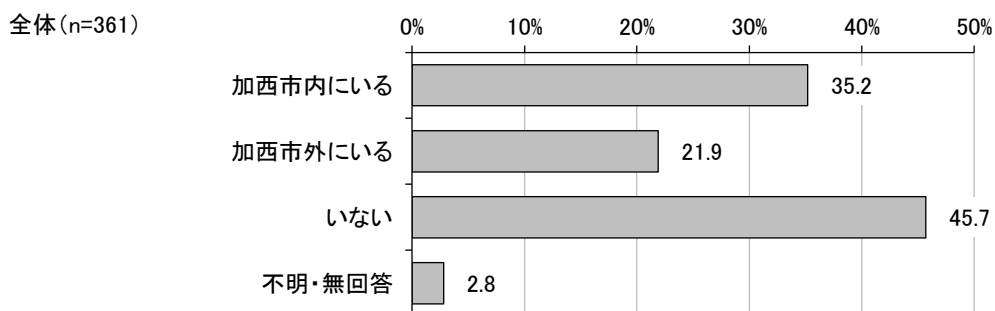
家族・親族に、障がいのある人がいるか(いたか)についてみると、「家族・親族に障がいのある人はいない」が66.8%、「家族・親族に障がいのある人がいる(いた)が、同居はしていない(いなかった)」が15.2%、「同居している家族・親族に障がいのある人がいる(いた)」が14.7%となっています。

障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、「非常に関心がある」では「同居している家族・親族に障がいのある人がいる(いた)」の割合が他と比べて高くなっています。



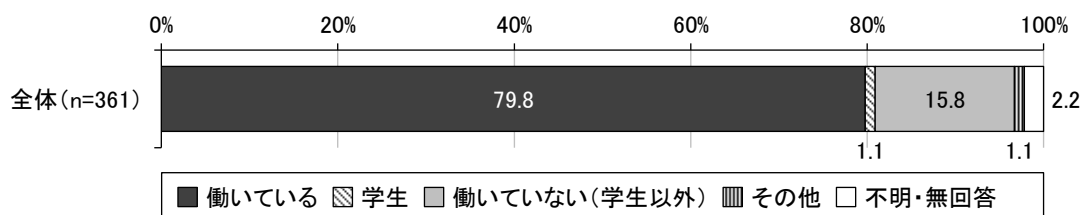
問4 あなたの知り合いに、障がいのある人がいますか。(複数回答)

知り合いに、障がいのある人がいるかについてみると、「いない」が45.7%、「加西市内にいる」が35.2%、「加西市外にいる」が21.9%となっています。



問5 あなたは働いていますか。(単数回答)

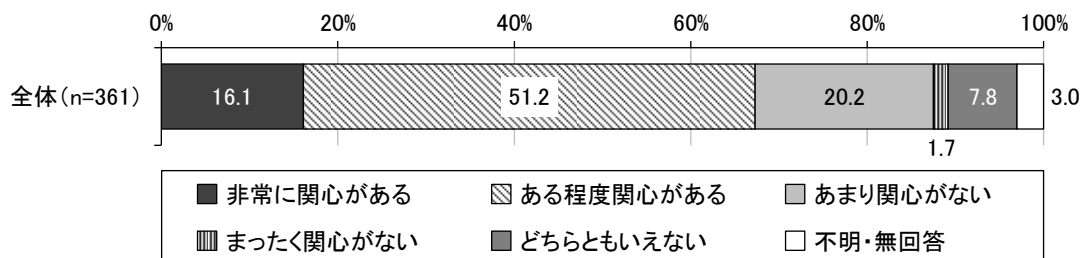
就労状況についてみると、「働いている」が79.8%、「働いていない(学生以外)」が15.8%、「学生」が1.1%となっています。



2 障がいのある人の福祉への関心

問6 あなたは、障がいのある人の福祉について関心がありますか。(単数回答)

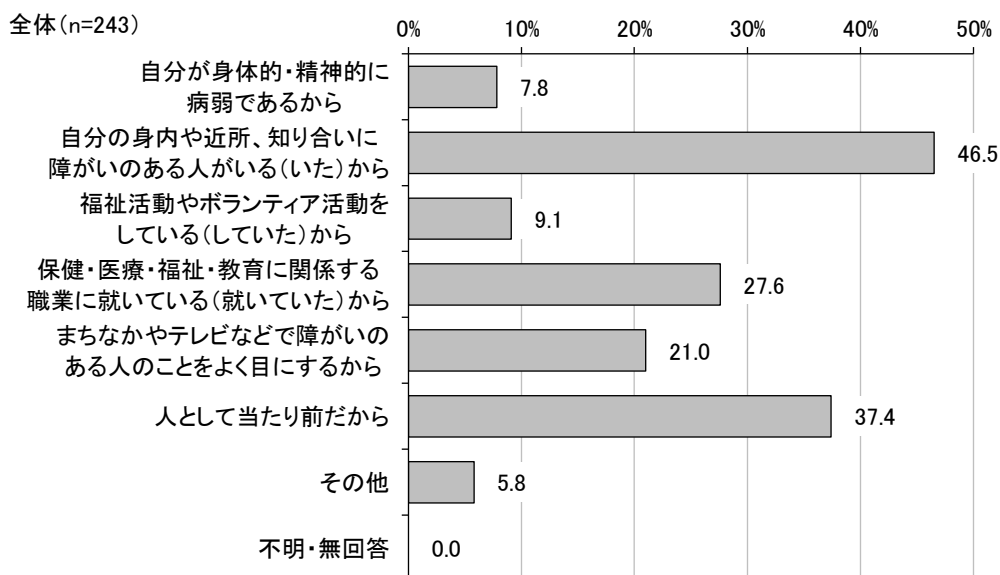
障がいのある人の福祉について関心があるかについてみると、「ある程度関心がある」が51.2%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が20.2%、「非常に関心がある」が16.1%となっています。



問6で「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と回答した方にお聞きします。

問7 それはどのような理由からですか。(複数回答)

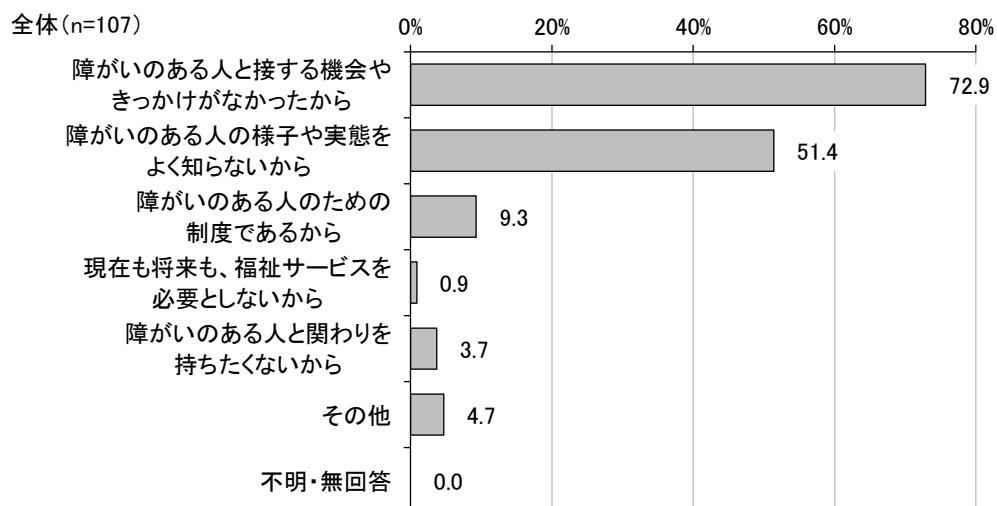
障がい福祉に関心がある理由についてみると、「自分の身内や近所、知り合いに障がいのある人がいる(いた)から」が46.5%と最も高く、次いで「人として当たり前だから」が37.4%、「保健・医療・福祉・教育に関係する職業に就いている(就いていた)から」が27.6%となっています。



問6で「あまり関心がない」「まったく関心がない」「どちらともいえない」と回答した方にお聞きします。

問8 それはどのような理由からですか。(複数回答)

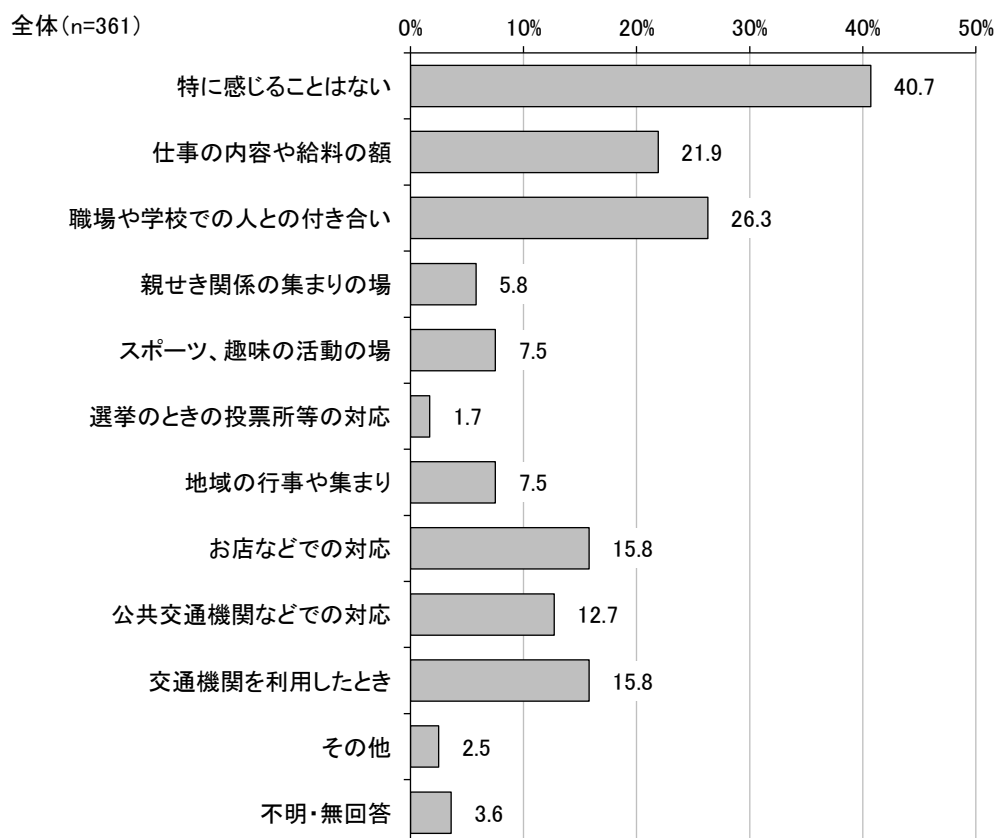
障がい福祉に関心がない理由についてみると、「障がいのある人と接する機会やきっかけがなかったから」が72.9%と最も高く、次いで「障がいのある人の様子や実態をよく知らないから」が51.4%、「障がいのある人のための制度であるから」が9.3%となっています。



3 障がいのある人に対する理解

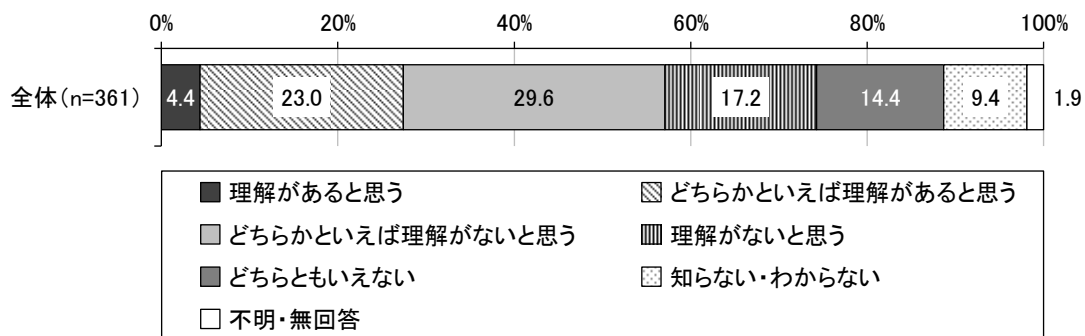
問9 あなたは日常生活において、障がいのある人が差別や偏見を受けたり、嫌がらせをされたり、仲間はずれにされていると感じることがありますか。また、どのようなときにそれを感じましたか。(複数回答)

障がいのある人が差別や偏見を受けていると感じた経験や、その具体的な場面についてみると、「特に感じることはない」が40.7%と最も高く、次いで「職場や学校での人との付き合い」が26.3%、「仕事の内容や給料の額」が21.9%となっています。



問 10 「発達障害者支援法」では、学習障がい（LD）や注意欠如・多動症（ADHD）、自閉スペクトラム症などの発達障がいを持つ本人やその家族に対する支援が求められています。そのためには、発達障がいについて周囲の理解が重要ですが、あなたは、発達障がいについて社会の理解があると思いますか。（単数回答）

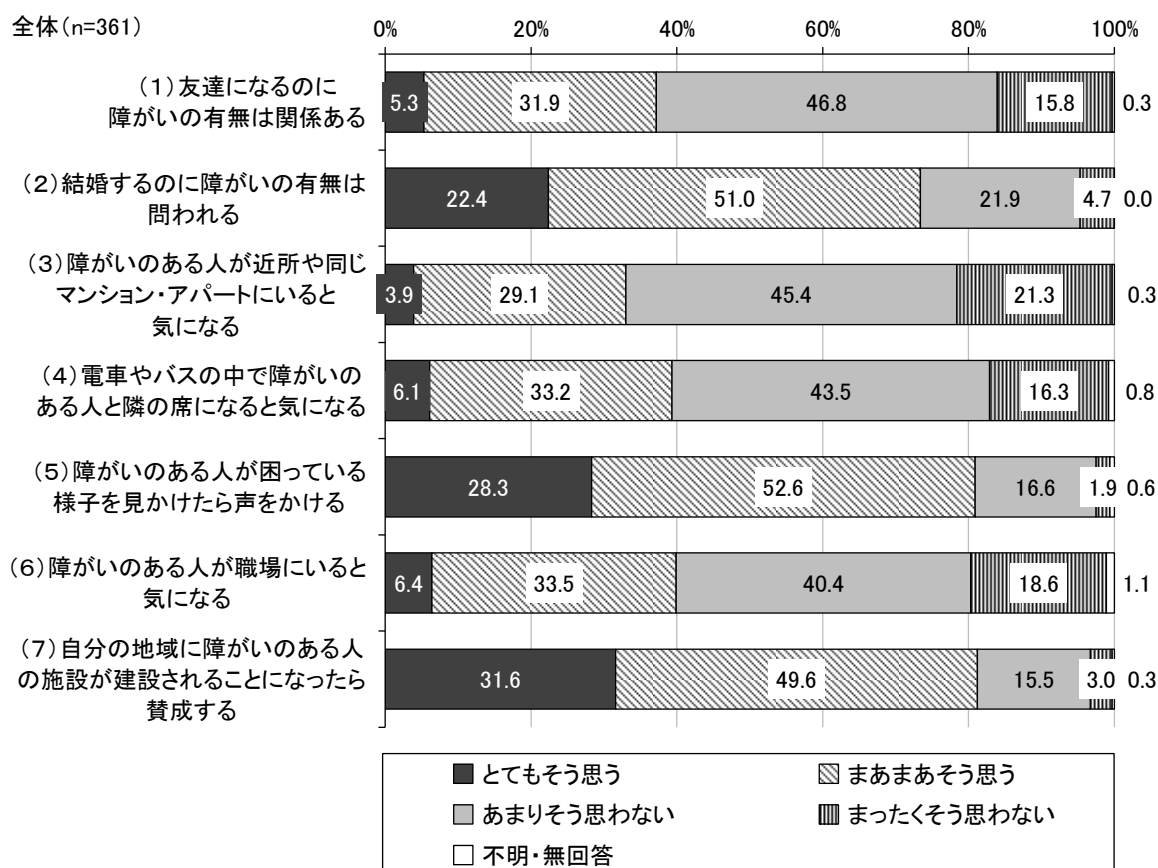
発達障がいについて社会の理解があると思うかについてみると、「どちらかといえば理解がないと思う」が29.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば理解があると思う」が23.0%、「理解がないと思う」が17.2%となっています。



問 11 障がいのある人の生活について、あなたの考えをお伺いします。(1)～(7)のそれぞれについてお答えください。(それぞれ単数回答)

障がいのある人との生活についての考え方をみると、『そう思う(「とてもそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』では、【(7) 自分の地域に障がいのある人の施設が建設されることになったら賛成する】が81.2%と最も高く、次いで【(5) 障がいのある人が困っている様子を見かけたら声をかける】が80.9%、【(2) 結婚するのに障がいの有無は問われる】が73.4%となっています。

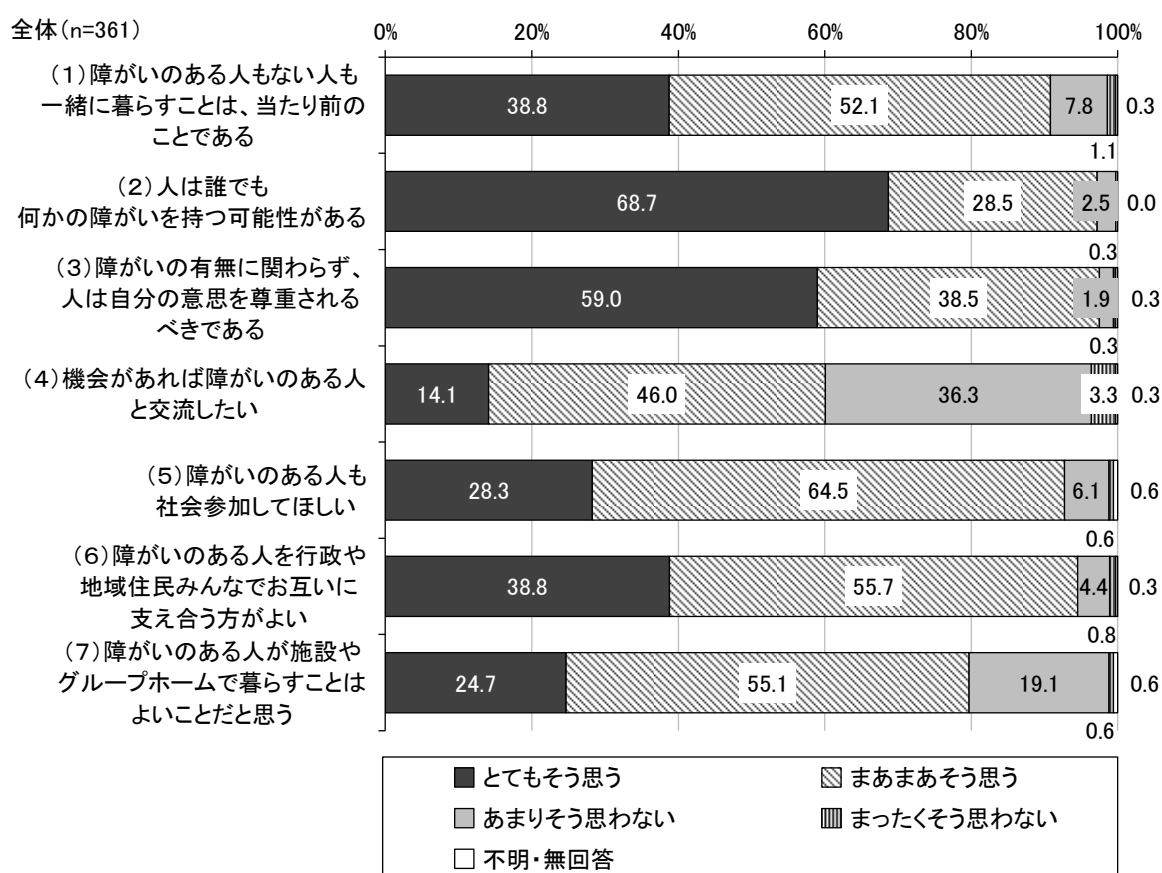
『そう思わない(「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計)』では、【(3) 障がいのある人が近所や同じマンション・アパートにいると気になる】が66.7%と最も高く、次いで【(1) 友達になるのに障がいの有無は関係ある】が62.6%、【(4) 電車やバスの中で障がいのある人と隣の席になると気になる】が59.8%となっています。



問 12 あなたが日頃、障がいのある人に対してどのように感じているかお伺いします。(1)～(7)のそれぞれについてお答えください。(それぞれ単数回答)

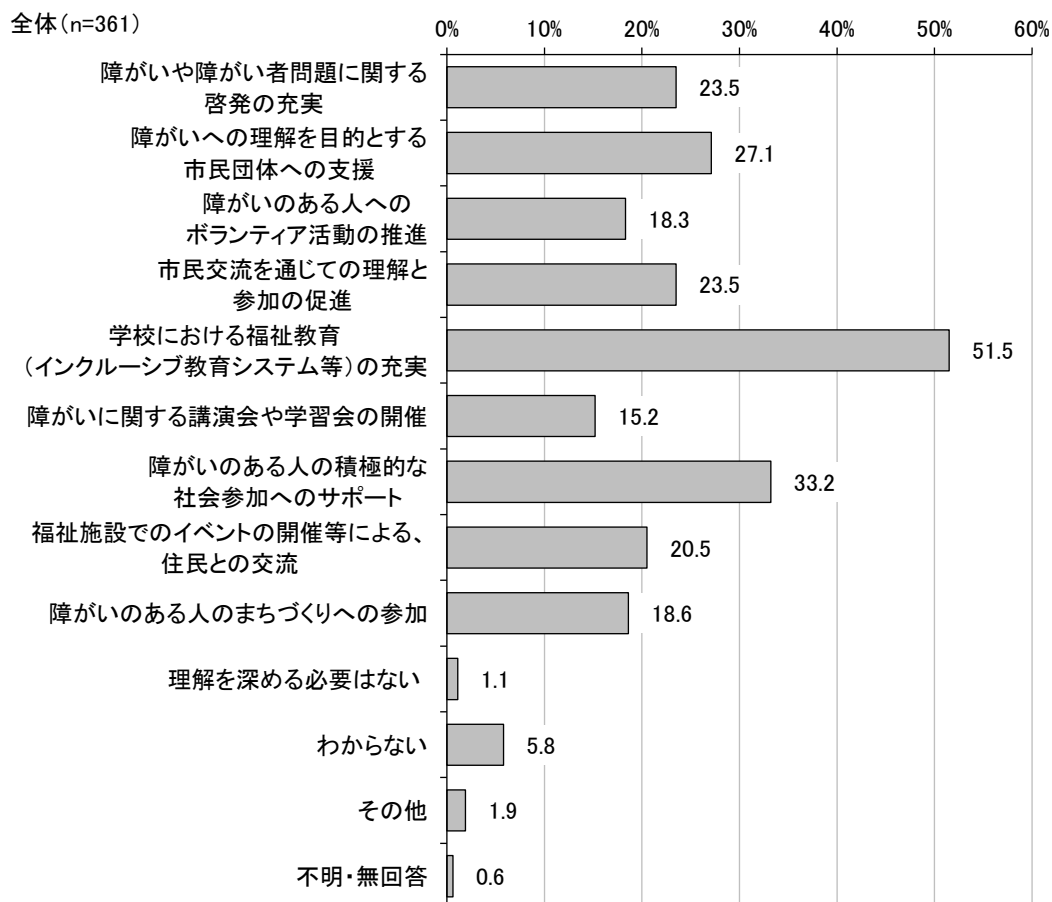
日頃、障がいのある人に対して感じていることについてみると、『そう思う(「とてもそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』では、【(3) 障がいの有無に関わらず、人は自分の意思を尊重されるべきである】が 97.5%と最も高く、次いで【(2) 人は誰でも何かの障がいを持つ可能性がある】が 97.2%、【(6) 障がいのある人を行政や地域住民みんなでお互いに支え合う方がよい】が 94.5%となっています。

『そう思わない(「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」の合計)』では、【(4) 機会があれば障がいのある人と交流したい】が 39.6%と最も高く、次いで【(7) 障がいのある人が施設やグループホームで暮らすことはよいことだと思う】が 19.7%、【(1) 障がいのある人もない人も一緒に暮らすことは、当たり前のことである】が 8.9%となっています。



問 13 あなたは、社会全体が障がいのある人への理解を深めるためには、特に何が必要であると思いますか。（3つまで回答）

社会全体が障がいのある人への理解を深めるために、特に必要であると思うことについてみると、「学校における福祉教育（インクルーシブ教育システム等）の充実」が51.5%と最も高く、次いで「障がいのある人の積極的な社会参加へのサポート」が33.2%、「障がいへの理解を目的とする市民団体への支援」が27.1%、「障がいへの理解を目的とする市民団体への支援」が27.1%、「障がいのある人へのボランティア活動の推進」が18.3%、「障がいのある人へのまちづくりへの参加」が18.6%、「障がいに関する講演会や学習会の開催」が15.2%、「市民交流を通じての理解と参加の促進」が23.5%、「福祉施設でのイベントの開催等による、住民との交流」が20.5%、「障がいや障がい者問題に関する啓発の充実」が23.5%、「理解を深める必要はない」が1.1%、「わからない」が5.8%、「その他」が1.9%、「不明・無回答」が0.6%となっています。

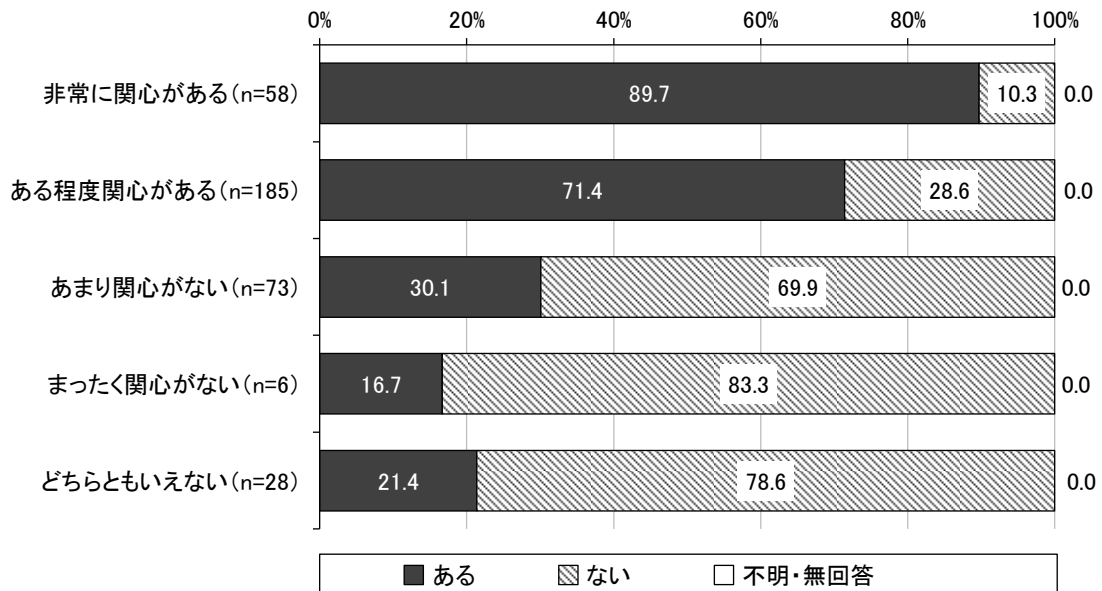
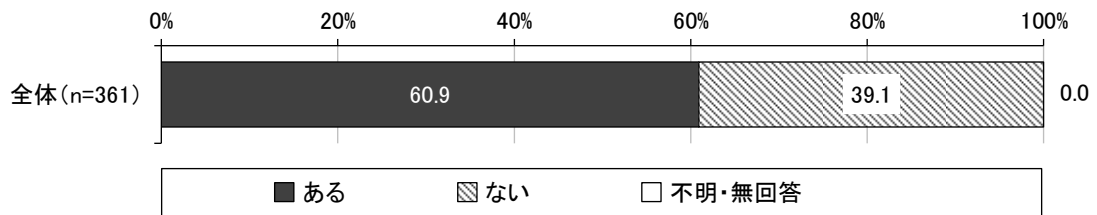


4 障がいのある人への支援

問 14 あなたは、障がいのある人と気軽に話したり、障がいのある人の手助けをしたことがありますか。(単数回答)

障がいのある人と気軽に話したり、手助けをしたことがあるかについてみると、全体では「ある」が60.9%と、「ない」の39.1%を上回っています。

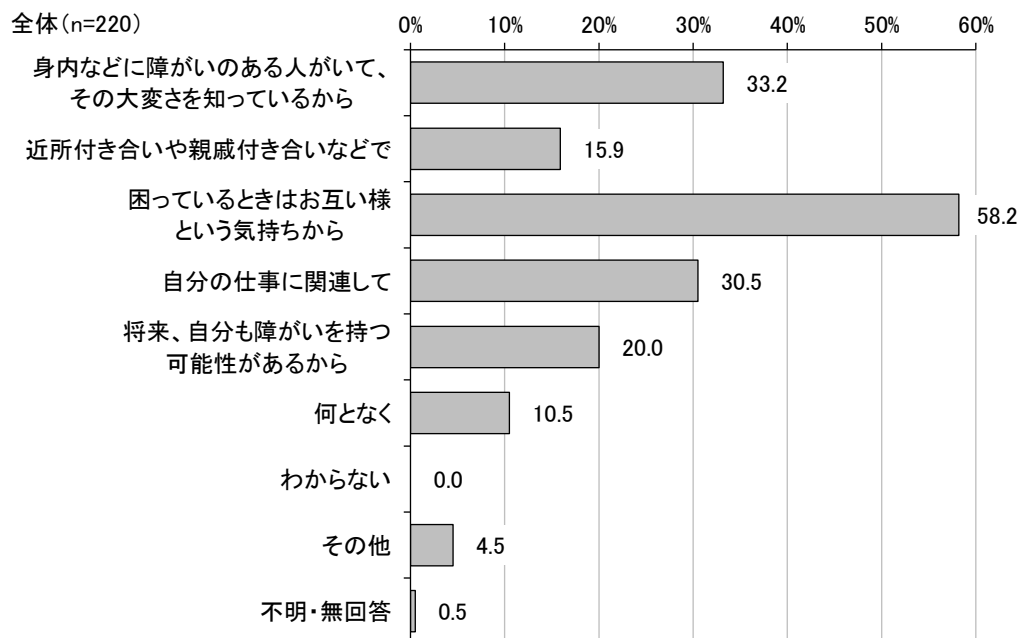
障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、[非常に関心がある][ある程度関心がある]では「ある」が高くなっています。



問 14 で「ある」と回答した方にお聞きします。

問 15 それほどのような気持ちからですか。(複数回答)

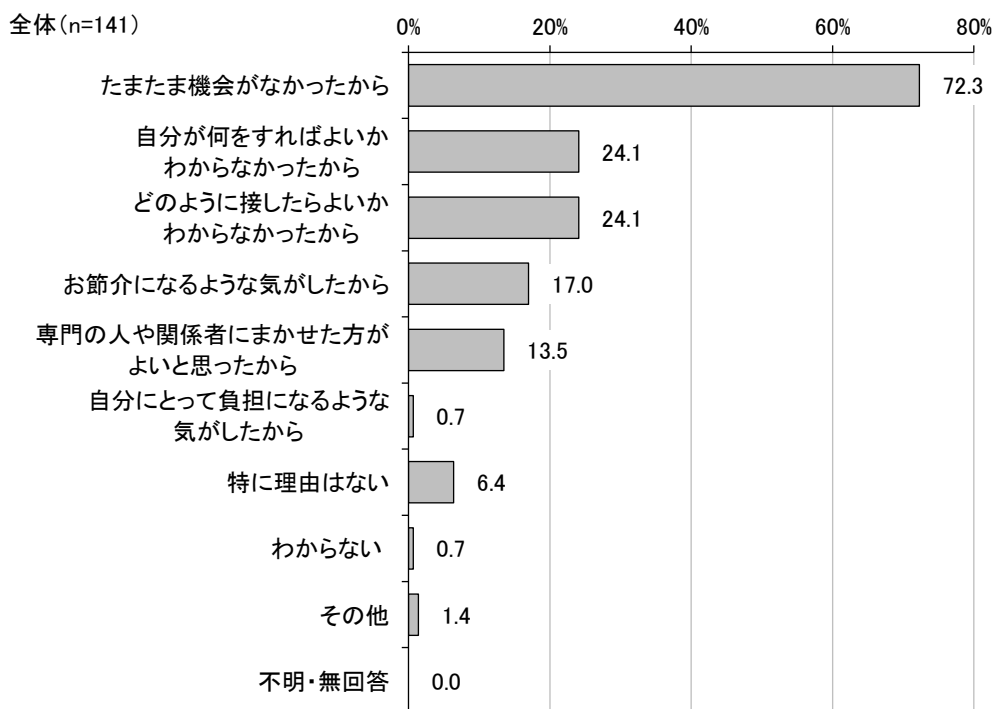
障がいのある人と気軽に話したり、手助けをした理由についてみると、「困っているときはお互い様という気持ちから」が 58.2%と最も高く、次いで「身内などに障がいのある人がいて、その大変さを知っているから」が 33.2%、「自分の仕事に関連して」が 30.5%となっています。



問 14 で「ない」と回答した方にお聞きします。

問 16 なかったのはどうしてですか。(複数回答)

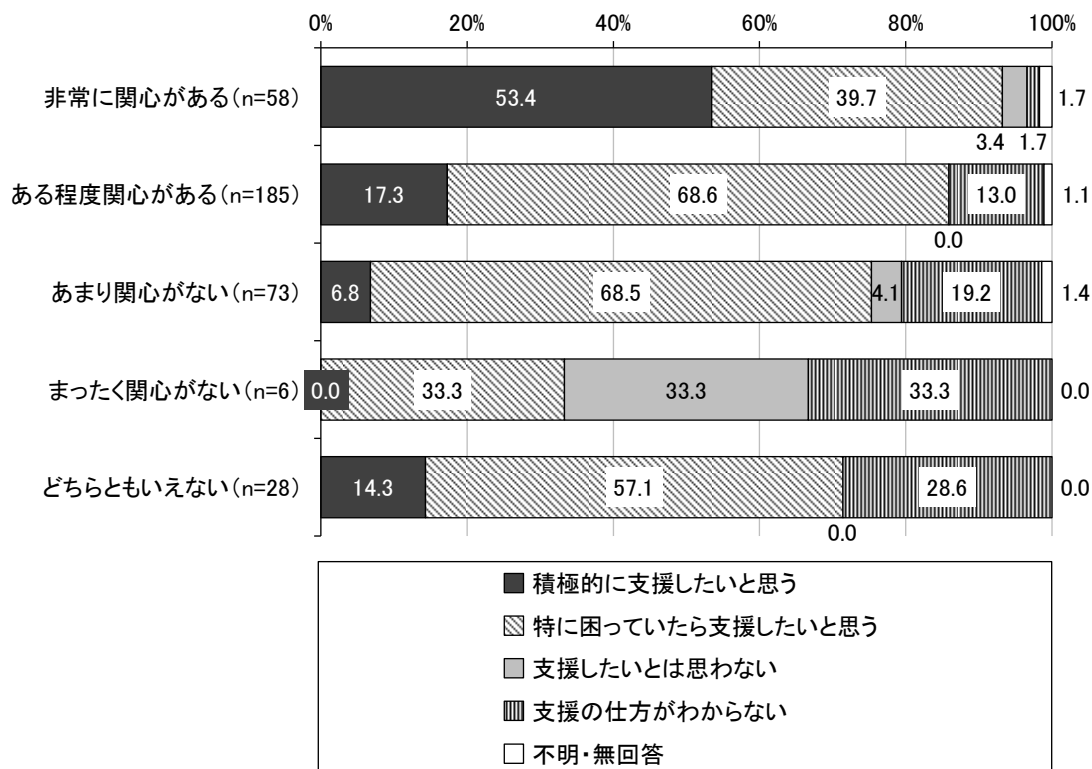
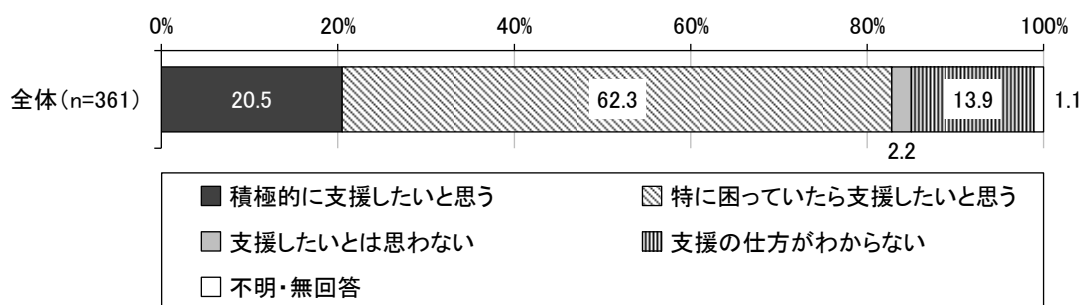
障がいのある人と気軽に話したり、手助けをしなかった理由についてみると、「たまたま機会がなかったから」が 72.3%と最も高く、次いで「自分が何をすればよいかわからなかったから」「どのように接したらよいかわからなかったから」が 24.1%、「お節介になるような気がしたから」が 17.0%となっています。



問 17 あなたは、障がいのある人が困っていたら支援しますか。(単数回答)

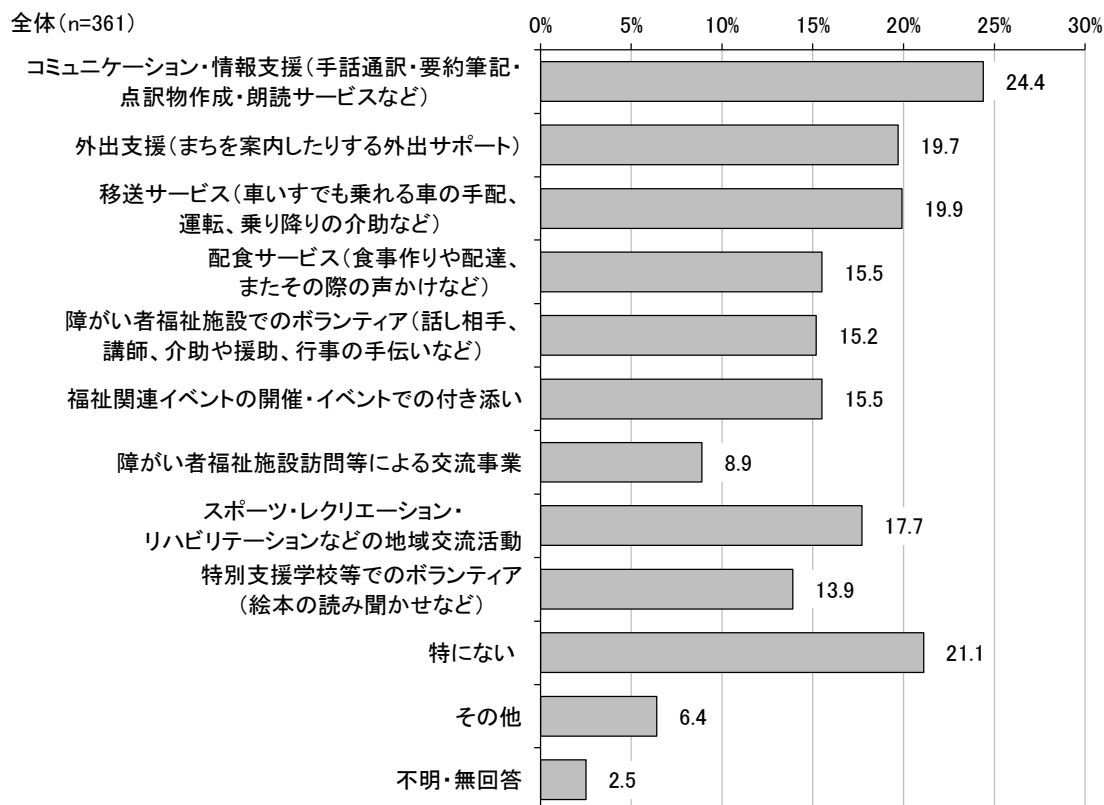
障がいのある人が困っていたら支援するかについてみると、全体では「特に困っていたら支援したいと思う」が62.3%と最も高く、次いで「積極的に支援したいと思う」が20.5%、「支援の仕方がわからない」が13.9%となっています。

障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、[非常に興味がある]では「積極的に支援したいと思う」の割合が他と比べて高くなっています。



問 18 あなたは、障がいのある人に対して特にどんな支援や活動をしたいですか。(3つまで回答)

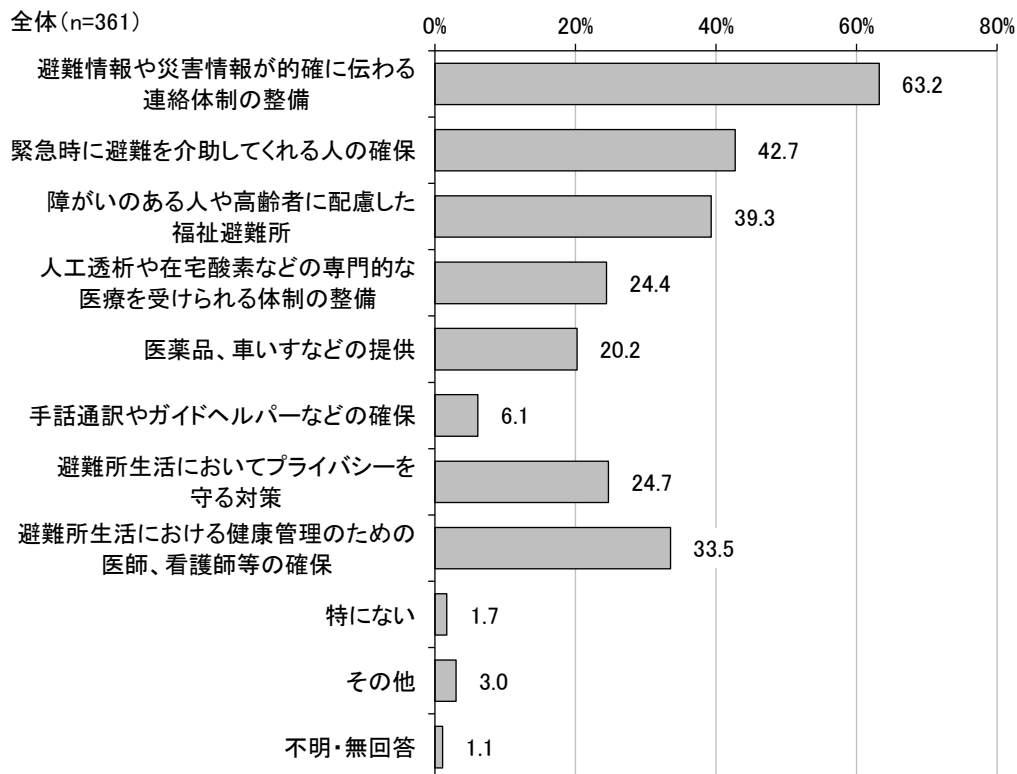
障がいのある人に対して特にどんな支援や活動をしたいかについてみると、「コミュニケーション・情報支援（手話通訳・要約筆記・点訳物作成・朗読サービスなど）」が 24.4%と最も高く、次いで「特にない」が 21.1%、「移送サービス（車いすでも乗れる車の手配、運転、乗り降りの介助など）」が 19.9%となっています。



5 災害時の対応

問 19 あなたは、地震や台風などの災害が発生し、避難する状況となったときに、特に何が重要だと思いますか。(3つまで回答)

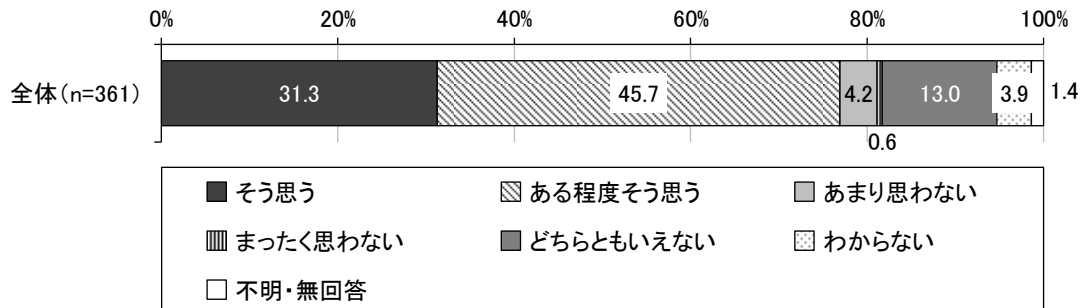
地震や台風などの災害が発生し、避難する状況となったときに、特に重要だと思うことについてみると、「避難情報や災害情報が的確に伝わる連絡体制の整備」が 63.2%と最も高く、次いで「緊急時に避難を介助してくれる人の確保」が 42.7%、「障がいのある人や高齢者に配慮した福祉避難所」が 39.3%となっています。



6 障がいのある人の就労

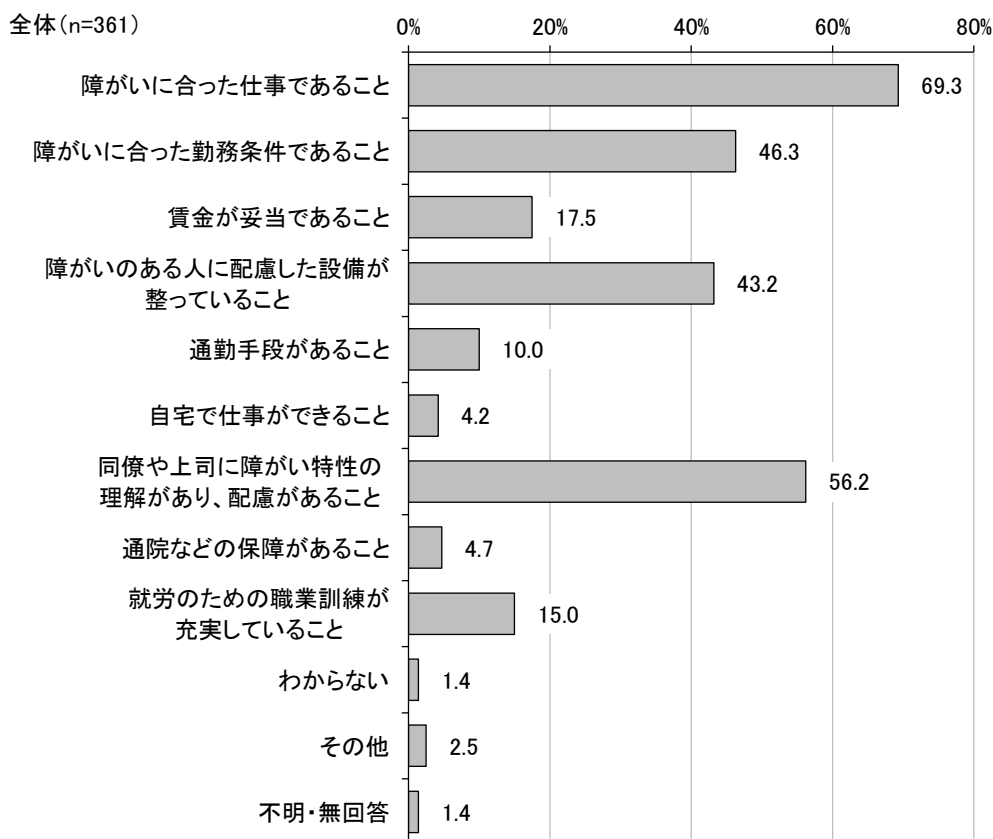
問 20 あなたは、障がいのある人がもっと雇用されるべきだと思いますか。(単数回答)

障がいのある人がもっと雇用されるべきだと思うかについてみると、「ある程度そう思う」が 45.7%と最も高く、次いで「そう思う」が 31.3%、「どちらともいえない」が 13.0%となっています。



問 21 あなたは、障がいのある人が働くために、特にどのような条件が必要だと思いますか。(3つまで回答)

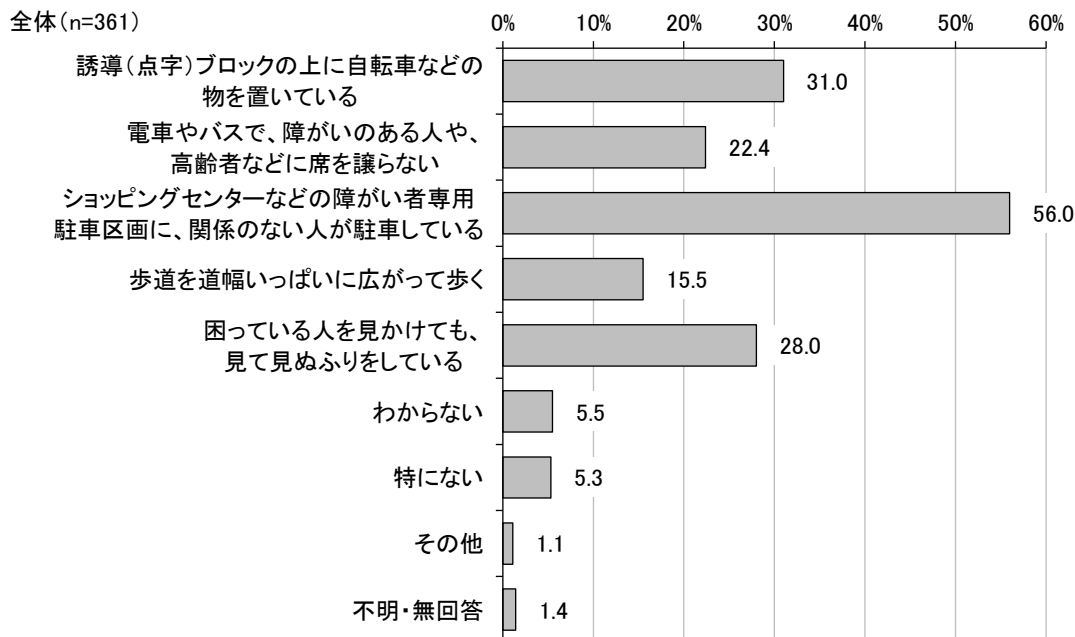
障がいのある人が働くために、特にどのような条件が必要だと思うかについてみると、「障がいに合った仕事であること」が 69.3%と最も高く、次いで「同僚や上司に障がい特性の理解があり、配慮があること」が 56.2%、「障がいに合った勤務条件であること」が 46.3%となっています。



7 福祉のまちづくり・人権尊重

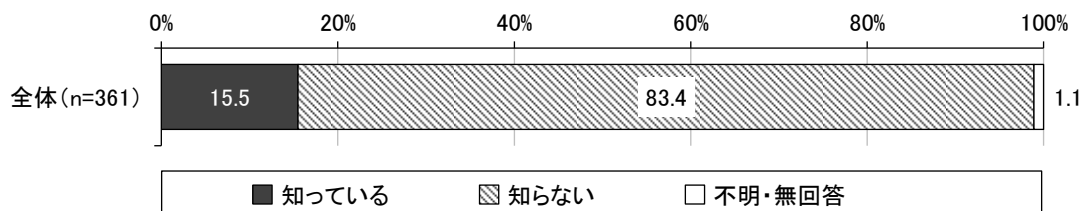
問 22 まちで見かける人の行動で、特に問題があると思うことは何ですか。(2つまで回答)

まちで見かける人の行動で、特に問題があると思うことについてみると、「ショッピングセンターなどの障がい者専用駐車区画に、関係のない人が駐車している」が56.0%と最も高く、次いで「誘導(点字)ブロックの上に自転車などの物を置いている」が31.0%、「困っている人を見かけても、見て見ぬふりをしている」が28.0%となっています。

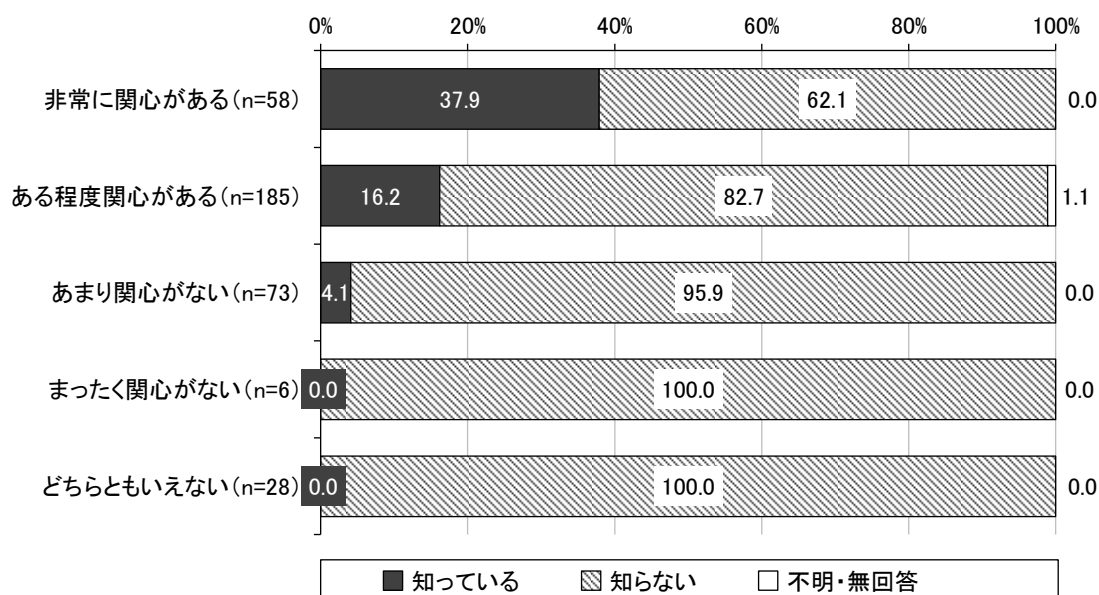


問 23 平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」が施行されたことを知っていますか。(単数回答)

「障害者差別解消法」が施行されたことを知っているかについてみると、「知らない」が83.4%と、「知っている」の15.5%を上回っています。



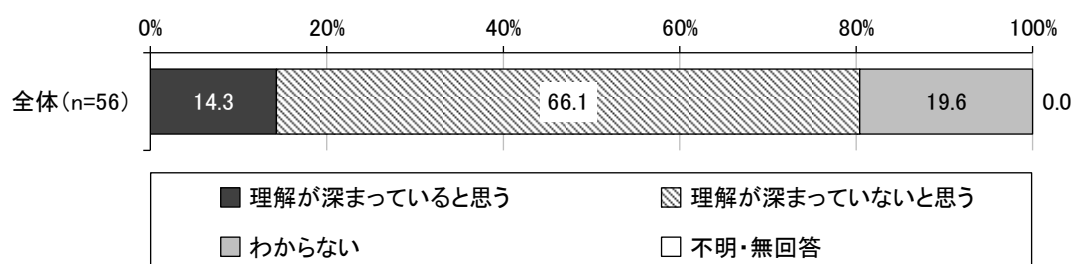
障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、「非常に興味がある」「ある程度関心がある」では「知っている」の割合が他と比べて高くなっています。



問 23 で「知っている」と回答された方にお聞きします。

問 24 障害者差別解消法が施行されて、以前と比べて障がいのある人に対する社会の理解が深まっていると思いますか。(単数回答)

障害者差別解消法が施行されて、以前と比べて障がいのある人に対する社会の理解が深まっていると思うかについてみると、「理解が深まっていないと思う」が 66.1%と最も高く、次いで「わからない」が 19.6%、「理解が深まっていると思う」が 14.3%となっています。

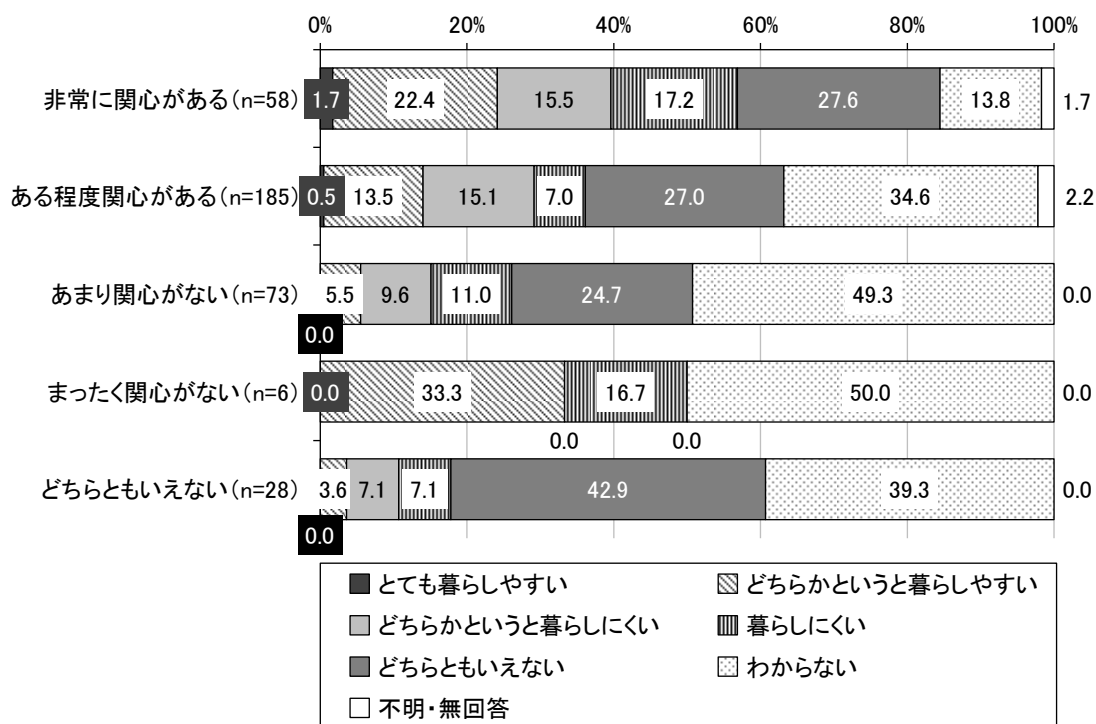
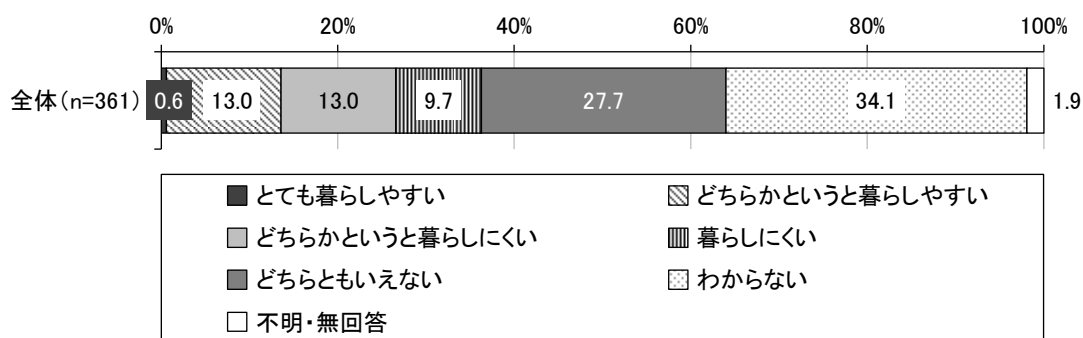


8 障がいのある人に対する加西市の施策

問 25 あなたは、加西市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(単数回答)

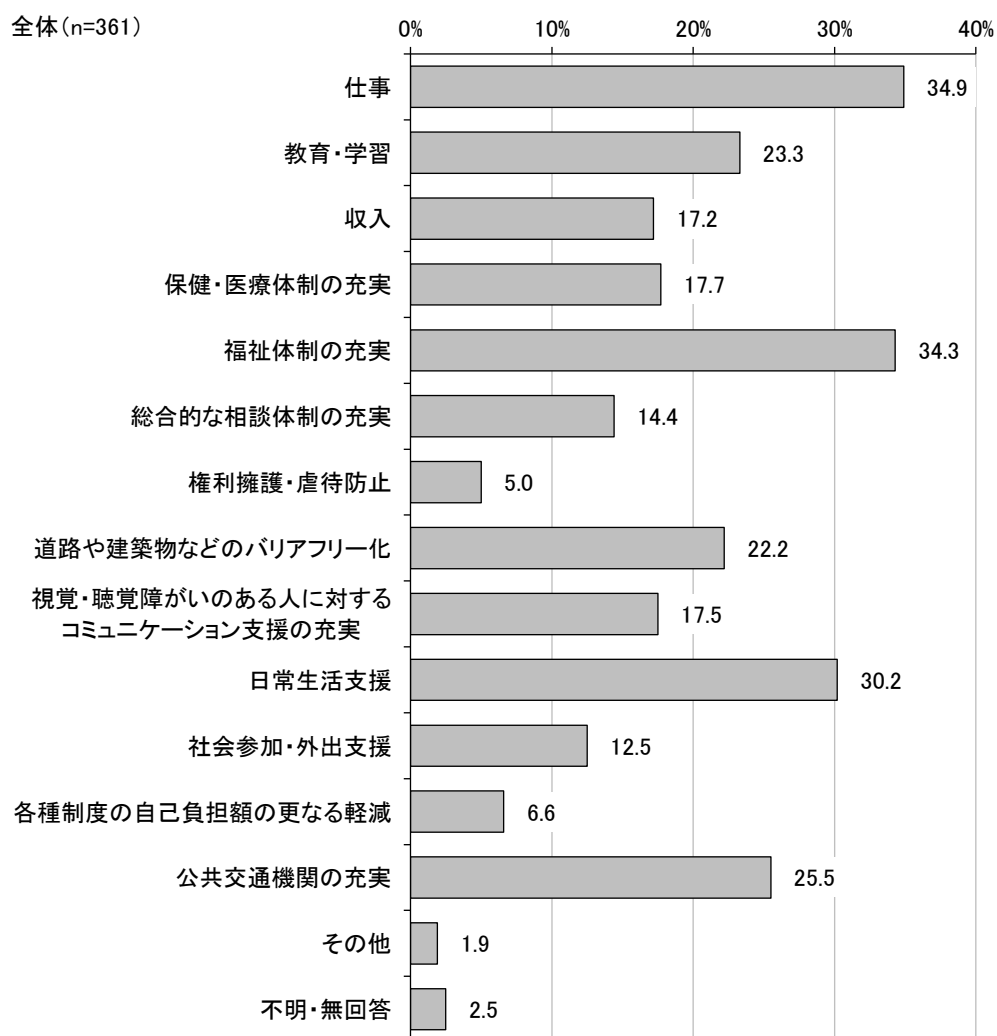
加西市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思うかについてみると、「わからない」が34.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.7%、「どちらかという暮らしやすい」「どちらかという暮らしにくい」が13.0%となっています。

障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、[非常に関心がある][どちらともいえない]では(暮らしやすいかどうか)「どちらともいえない」、[ある程度関心がある][あまり関心がない]では「わからない」が高くなっています。



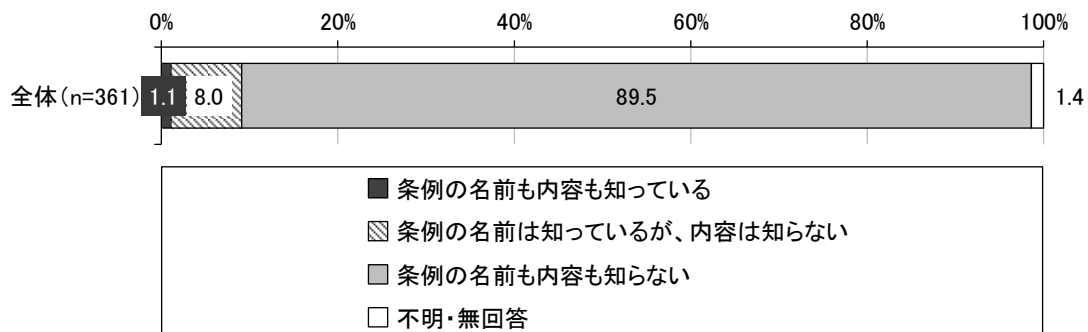
問 26 加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちになるには、次のうち特にどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思いますか。（3つまで回答）

加西市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちになるには、特にどの分野に重点的に取り組むことが必要だと思うかについてみると、「仕事」が34.9%と最も高く、次いで「福祉体制の充実」が34.3%、「日常生活支援」が30.2%となっています。



問 27 平成 28 年 10 月に加西市手話言語条例が施行されたことを知っていますか。(単数回答)

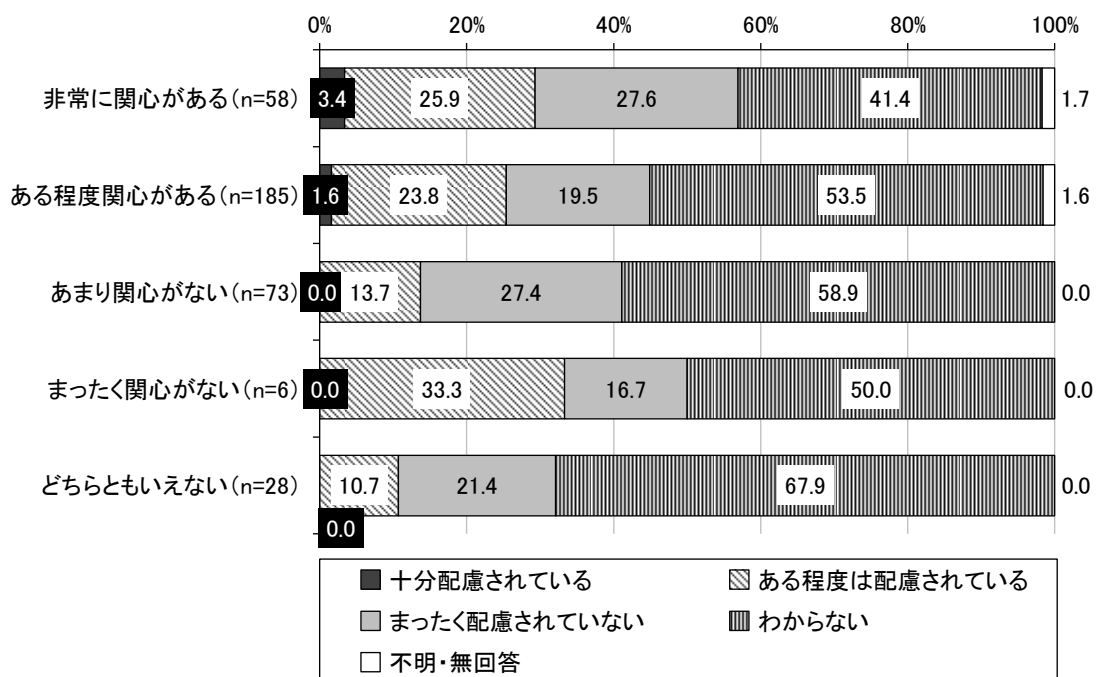
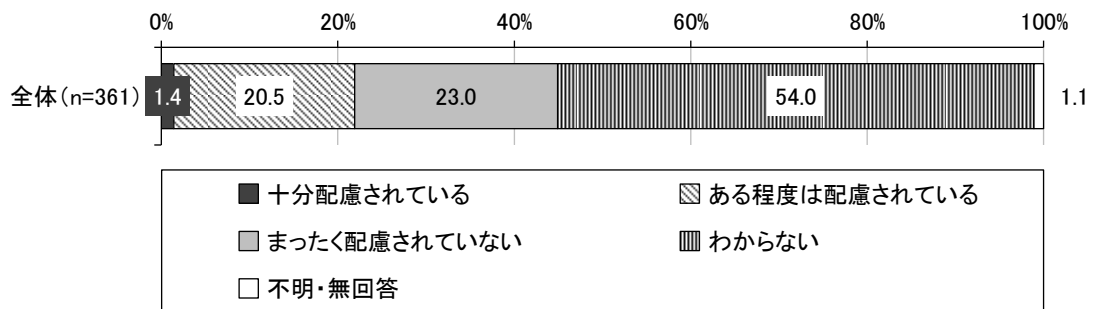
加西市手話言語条例が施行されたことを知っているかについてみると、「条例の名前も内容も知らない」が 89.5%と最も高く、次いで「条例の名前は知っているが、内容は知らない」が 8.0%、「条例の名前も内容も知っている」が 1.1%となっています。



問 28 あなたの住む地域や職場において、ろう者に対してコミュニケーション上の配慮（手話、筆談、字幕など音声以外のコミュニケーション対応）があると感じていますか。（単数回答）

あなたの住む地域や職場において、ろう者に対してコミュニケーション上の配慮があると感じているかについてみると、「わからない」が54.0%と最も高く、次いで「まったく配慮されていない」が23.0%、「ある程度は配慮されている」が20.5%となっています。

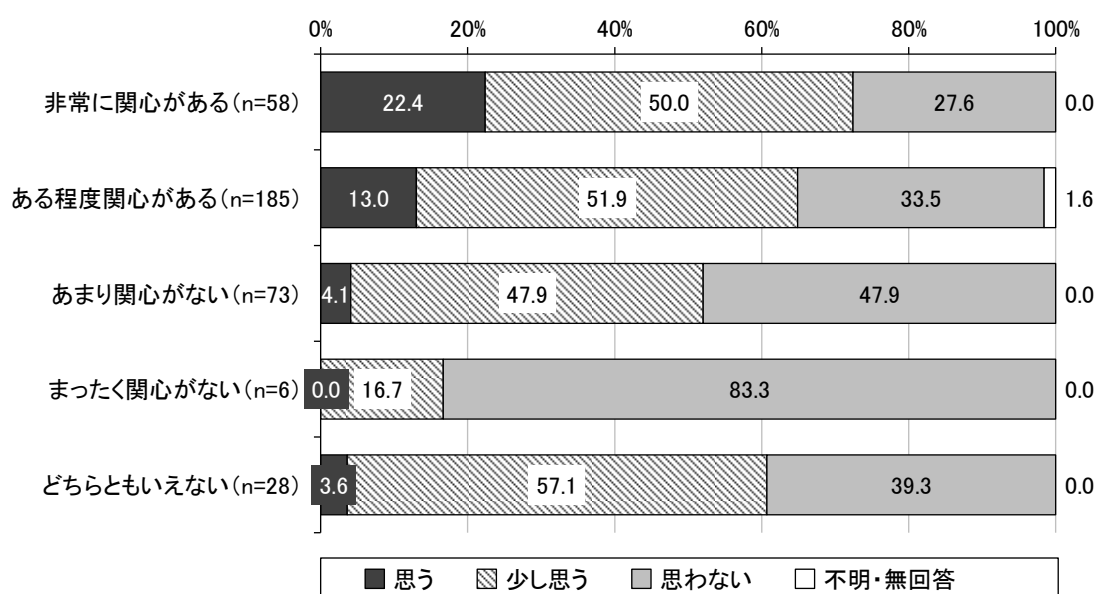
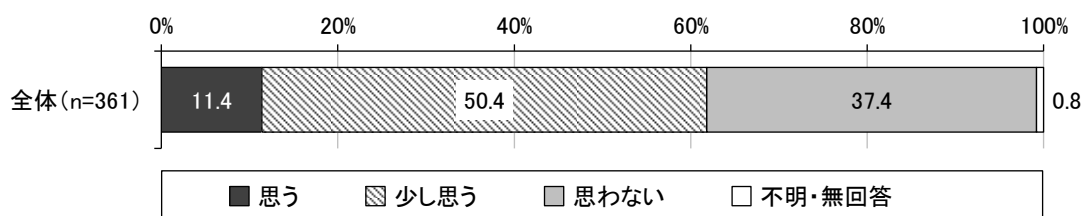
障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、すべての場合において「わからない」が高くなっています。



問 29 手話を学習してみたいと思いますか。(単数回答)

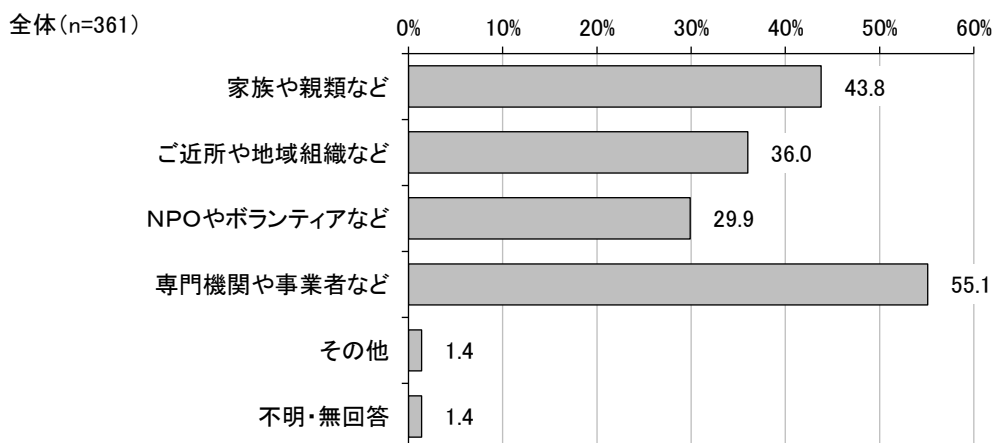
手話を学習してみたいと思うかについてみると、「少し思う」が 50.4%と最も高く、次いで「思わない」が 37.4%、「思う」が 11.4%となっています。

障がいのある人の福祉についての関心度別でみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」では「思う」の割合が他と比べて高くなっています。



問 30 障がいのある人をサポートする支援者は、行政以外では、次のうち特にどれが必要だと思いますか。（2つまで回答）

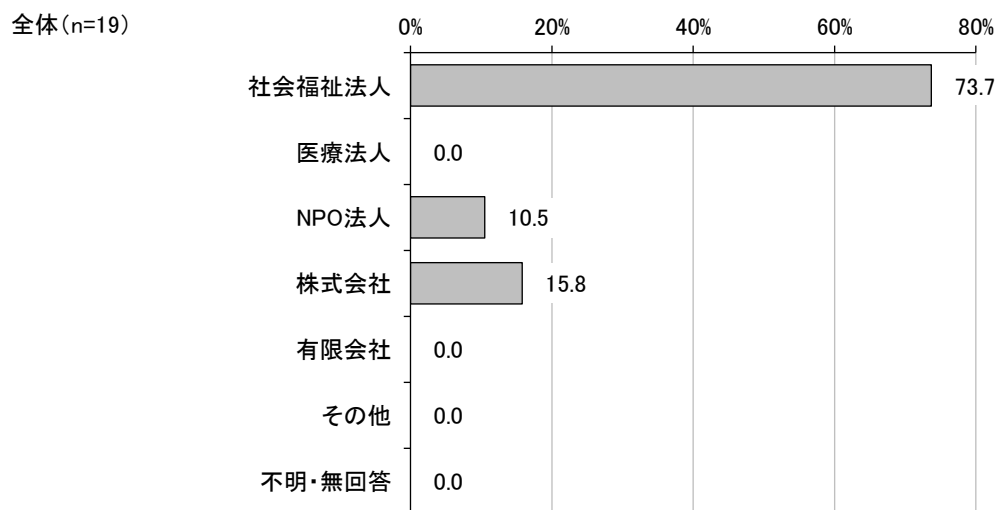
障がいのある人をサポートする支援者は、行政以外では、特にどれが必要だと思うかについてみると、「専門機関や事業者など」が55.1%と最も高く、次いで「家族や親類など」が43.8%、「ご近所や地域組織など」が36.0%となっています。



IV 事業所調査結果

■ 貴事業所の組織形態（単数回答）

組織形態についてみると、「社会福祉法人」が73.7%、「NPO法人」が10.5%、「株式会社」が15.8%となっています。



問 1 貴事業所の障がい福祉サービス提供状況と、今後の計画について教えてください。

※現在の提供状況は9月時点

【居宅介護】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数			予定定員（人）	予定時期（年度）
		加西市の利用者				
1	-	24	23	⇒	-	-
2	40	-	-	⇒	-	-

【同行援護】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数			予定定員（人）	予定時期（年度）
		加西市の利用者				
1	-	3	2	⇒	-	-
2	10	-	-	⇒	-	-

【行動援護】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数			予定定員（人）	予定時期（年度）
		加西市の利用者				
1	-	8	5	⇒	-	-

【生活介護】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数			予定定員（人）	予定時期（年度）
		加西市の利用者				
1	20	27	-	⇒	-	-
2	80	78	15	⇒	-	-
3	45	43	38	⇒	-	-
4	60	60	23	⇒	60	R 6

【自立訓練（生活訓練）】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数			予定定員（人）	予定時期（年度）
		加西市の利用者				
1	12	4	2	⇒	-	-

【就労継続支援（B型）】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	10	0	0	⇒	0	R 5
2	12	16	11	⇒	-	-
3	10	7	7	⇒	-	-

【短期入所】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	8	4.5	2 (1日当りの平均)	⇒	-	-
2	月（30日） 240	延べ 129	5	⇒	-	-
3	8	15	7	⇒	8	R 6

【自立生活援助】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	-	4	4	⇒	-	-

【施設入所支援】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	80	78	15	⇒	-	-
2	50	50	15	⇒	50	R 6

【計画相談支援】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	-	192	148	⇒	-	-
2	-	100	100	⇒	-	-

【移動支援】

	現在の提供状況（人）			⇒	今後の増員・減員予定	
	定員数	利用者数	加西市の利用者		予定定員（人）	予定時期（年度）
1	-	35	33	⇒	-	-

【児童発達支援】

	現在の提供状況（人）		
	定員数	利用者数	加西市の利用者
1	50	46	11
2	5	10	7

⇒
⇒

今後の増員・減員予定	
予定定員（人）	予定時期（年度）
50	-
-	-

【放課後等デイサービス】

	現在の提供状況（人）		
	定員数	利用者数	加西市の利用者
1	8	4	-
2	10	20	20
3	10	22	21
4	10	10	6
5	10	27	24

⇒
⇒
⇒
⇒
⇒

今後の増員・減員予定	
予定定員（人）	予定時期（年度）
-	R5、R6
-	-
-	-
-	-
-	-

【障害児相談支援】

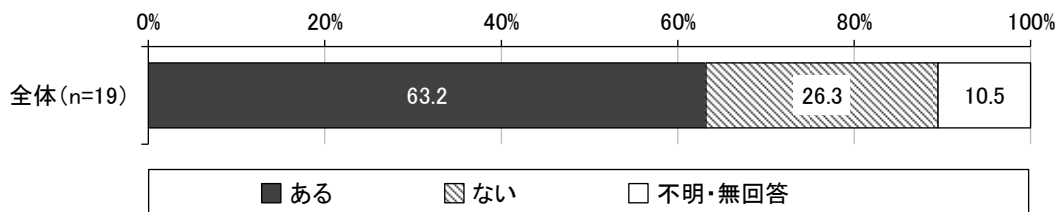
	現在の提供状況（人）		
	定員数	利用者数	加西市の利用者
1	-	18	18

⇒

今後の増員・減員予定	
予定定員（人）	予定時期（年度）
-	-

問2 貴事業所では、利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）できなかったことがありますか。（単数回答）

利用者からの依頼に対して、受け入れ（サービス提供）できなかったことの有無についてみると、「ある」が63.2%、「ない」が26.3%となっています。



問3 受け入れできなかったサービスは何ですか。また、その理由は何ですか。

【居宅介護】〔回答数2件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕
- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔2件〕
- ・その他〔1件〕…市外だった

【行動援護】〔回答数1件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕
- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔1件〕

【生活介護】〔回答数2件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕
- ・事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）〔2件〕
- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔1件〕

【自立訓練（生活訓練）】〔回答数1件〕

- ・その他〔1件〕…利用の対象（障害種別・年齢）ではなかった為

【就労継続支援（B型）】〔回答数1件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕

【短期入所】〔回答数1件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕

【施設入所支援】〔回答数1件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕
- ・事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）〔1件〕

【計画相談支援】〔回答数2件〕

- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔1件〕
- ・その他〔1件〕…市外からの利用相談であった為、相談者の居住地の基幹相談支援センターへ引継いだ。

【移動支援】〔回答数1件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1件〕
- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔1件〕

【児童発達支援】〔回答数 1 件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔1 件〕

【放課後等デイサービス】〔回答数 4 件〕

- ・希望される時間帯（または時期）に利用が集中し、依頼時には定員に達していた〔3 件〕
- ・希望される時間帯に、事業所としてサービス提供していなかった（夜間、休祝日など）〔1 件〕
- ・事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）〔1 件〕
- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔2 件〕

【障害児相談支援】〔回答数 1 件〕

- ・新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）〔1 件〕

問4 利用者からは、どのような障がい福祉サービスを望む声が多いですか。(複数回答)

利用者から望む声が多い障がい福祉サービスについてみると、「放課後等デイサービス」が31.6%と最も高く、次いで「短期入所」「施設入所支援」が26.3%、「移動支援」が21.1%となっています。

全体 (n=19)	件数 (件)	割合 (%)
居宅介護	3	15.8
重度訪問介護	0	0.0
同行援護	1	5.3
行動援護	0	0.0
重度障害者等包括支援	0	0.0
生活介護	2	10.5
自立訓練 (機能訓練)	1	5.3
自立訓練 (生活訓練)	0	0.0
宿泊型自立訓練	0	0.0
就労移行支援	0	0.0
就労継続支援 (A型)	0	0.0
就労継続支援 (B型)	1	5.3
就労定着支援	0	0.0
療養介護	0	0.0
短期入所	5	26.3
自立生活援助	0	0.0
共同生活援助	3	15.8
施設入所支援	5	26.3
計画相談支援	2	10.5
地域移行支援	0	0.0
地域定着支援	0	0.0
移動支援	4	21.1
地域活動支援センター	1	5.3
訪問入浴サービス	2	10.5
日中一時支援	2	10.5
児童発達支援	2	10.5
医療型児童発達支援	0	0.0
放課後等デイサービス	6	31.6
保育所等訪問支援	1	5.3
居宅訪問型児童発達支援	0	0.0
障害児相談支援	2	10.5
その他 (学校卒業後の活動の場)	1	5.3
不明・無回答	1	5.3

問5 利用者から望む声が多いが、不足していると感じられる障がい福祉サービスはありますか。また、それらのサービスについて、定員拡大や新規参入が進まない理由は何だと思われますか。

【居宅介護】〔回答数3件〕

- ・ 職員の確保が困難〔3件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔3件〕

【同行援護】〔回答数1件〕

- ・ 職員の確保が困難〔1件〕
- ・ その他〔1件〕…資格やスキルをもった職員の確保

【行動援護】〔回答数1件〕

- ・ 職員の確保が困難〔1件〕

【生活介護】〔回答数1件〕

- ・ 職員の確保が困難〔1件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔1件〕

【自立訓練（機能訓練）】〔回答数1件〕

- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔1件〕
- ・ 職員の確保が困難〔1件〕

【就労継続支援（B型）】〔回答数1件〕

- ・ 利用需要の見込みが立てづらい〔1件〕
- ・ 利用者の継続的な確保が困難〔1件〕

【短期入所】〔回答数5件〕

- ・ 利用需要の見込みが立てづらい〔1件〕
- ・ 利用者の継続的な確保が困難〔2件〕
- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔3件〕
- ・ 職員の確保が困難〔5件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔1件〕

【共同生活援助】〔回答数3件〕

- ・ 利用需要の見込みが立てづらい〔1件〕
- ・ 利用者の継続的な確保が困難〔2件〕
- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔1件〕
- ・ 職員の確保が困難〔1件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔2件〕

【施設入所支援】〔回答数 3 件〕

- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔2 件〕
- ・ 職員の確保が困難〔2 件〕

【計画相談支援】〔回答数 3 件〕

- ・ 職員の確保が困難〔3 件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔3 件〕

【移動支援】〔回答数 4 件〕

- ・ 利用需要の見込みが立てづらい〔1 件〕
- ・ 職員の確保が困難〔1 件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔2 件〕
- ・ その他〔1 件〕…ヘルパーの車に同乗して社会参加を望まれている。タクシーよりは安価なため

【地域活動支援センター】〔回答数 1 件〕

- ・ その他〔1 件〕…本来の型と異なる形で行っている為

【訪問入浴サービス】〔回答数 2 件〕

- ・ 職員の確保が困難〔2 件〕
- ・ わからない〔1 件〕

【日中一時支援】〔回答数 1 件〕

- ・ 職員の確保が困難〔1 件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔1 件〕

【児童発達支援】〔回答数 1 件〕

- ・ 職員の確保が困難〔1 件〕

【放課後等デイサービス】〔回答数 2 件〕

- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔1 件〕
- ・ 職員の確保が困難〔2 件〕

【障害児相談支援】〔回答数 3 件〕

- ・ サービス提供場所（土地や建物）の確保が困難〔1 件〕
- ・ 職員の確保が困難〔2 件〕
- ・ 報酬単価が低く採算性に不安がある〔3 件〕

問6 円滑な事業運営を進める上で、改善したい（してもらいたい）経営上の課題はありますか。

※経営上の課題は3つまで選ぶ

【居宅介護】〔回答数2件〕

- ・事業計画（経営計画）通りに見通しをもって運営できている〔1件〕
- ・職員の確保〔2件〕
- ・報酬単価〔1件〕
- ・事務作業量の軽減化、効率化〔1件〕

【同行援護】〔回答数1件〕

- ・事業計画（経営計画）通りに見通しをもって運営できている〔1件〕
- ・職員の確保〔1件〕
- ・事務作業量の軽減化、効率化〔1件〕

【行動援護】〔回答数1件〕

- ・職員の確保〔1件〕

【生活介護】〔回答数4件〕

- ・利用者の確保〔3件〕
- ・職員の確保〔3件〕
- ・職員の資質向上〔2件〕
- ・キャリアパスの構築〔1件〕
- ・施設・設備の改善〔1件〕
- ・市民、近隣住民の理解〔1件〕
- ・報酬単価〔1件〕

【自立訓練（生活訓練）】〔回答数1件〕

- ・事務作業量の軽減化、効率化〔1件〕
- ・報酬単価〔1件〕

【就労継続支援（B型）】〔回答数3件〕

- ・利用者の確保〔2件〕
- ・職員の確保〔1件〕
- ・事務作業量の軽減化、効率化〔1件〕
- ・市町村等との連携〔1件〕
- ・報酬単価〔1件〕
- ・働き方改革〔1件〕

【短期入所】〔回答数2件〕

- ・利用者の確保〔1件〕
- ・職員の確保〔2件〕
- ・職員の資質向上〔1件〕
- ・施設・設備の改善〔1件〕
- ・報酬単価〔1件〕
- ・その他〔1件〕…特に短期入所者の利用者の確保が不足

【自立生活援助】〔回答数2件〕

- ・利用者の確保〔1件〕
- ・職員の確保〔1件〕
- ・利用者や家族の制度に対する理解〔1件〕
- ・報酬単価〔1件〕

【共同生活援助】〔回答数 1 件〕

- ・ 利用者の確保〔1 件〕
- ・ 職員の確保〔1 件〕

【施設入所支援】〔回答数 2 件〕

- ・ 利用者の確保〔1 件〕
- ・ 職員の確保〔2 件〕
- ・ 職員の資質向上〔1 件〕
- ・ 施設・設備の改善〔1 件〕
- ・ 報酬単価〔1 件〕

【計画相談支援】〔回答数 3 件〕 ※経営上の課題を 4 つ選択している事業所 1 件の回答を含む

- ・ 職員の確保〔2 件〕
- ・ 職員の資質向上〔2 件〕
- ・ 事務作業量の軽減化、効率化〔1 件〕
- ・ 利用者や家族の制度に対する理解〔1 件〕
- ・ 報酬単価〔3 件〕

【移動支援】〔回答数 2 件〕

- ・ 職員の確保〔2 件〕
- ・ 報酬単価〔2 件〕
- ・ その他〔1 件〕…資格が必要で研修に行かないといけない

【日中一時支援】〔回答数 1 件〕

- ・ 職員の確保〔1 件〕
- ・ 施設・設備の改善〔1 件〕
- ・ 報酬単価〔1 件〕

【児童発達支援】〔回答数 2 件〕

- ・ 職員の確保〔2 件〕
- ・ 報酬単価〔1 件〕
- ・ その他〔1 件〕…通所支援事業の経営上、大きな課題は欠席の多さだと思います。その欠席に関する加算が 94 単位という点は少しいらと感じます。

【放課後等デイサービス】〔回答数 5 件〕

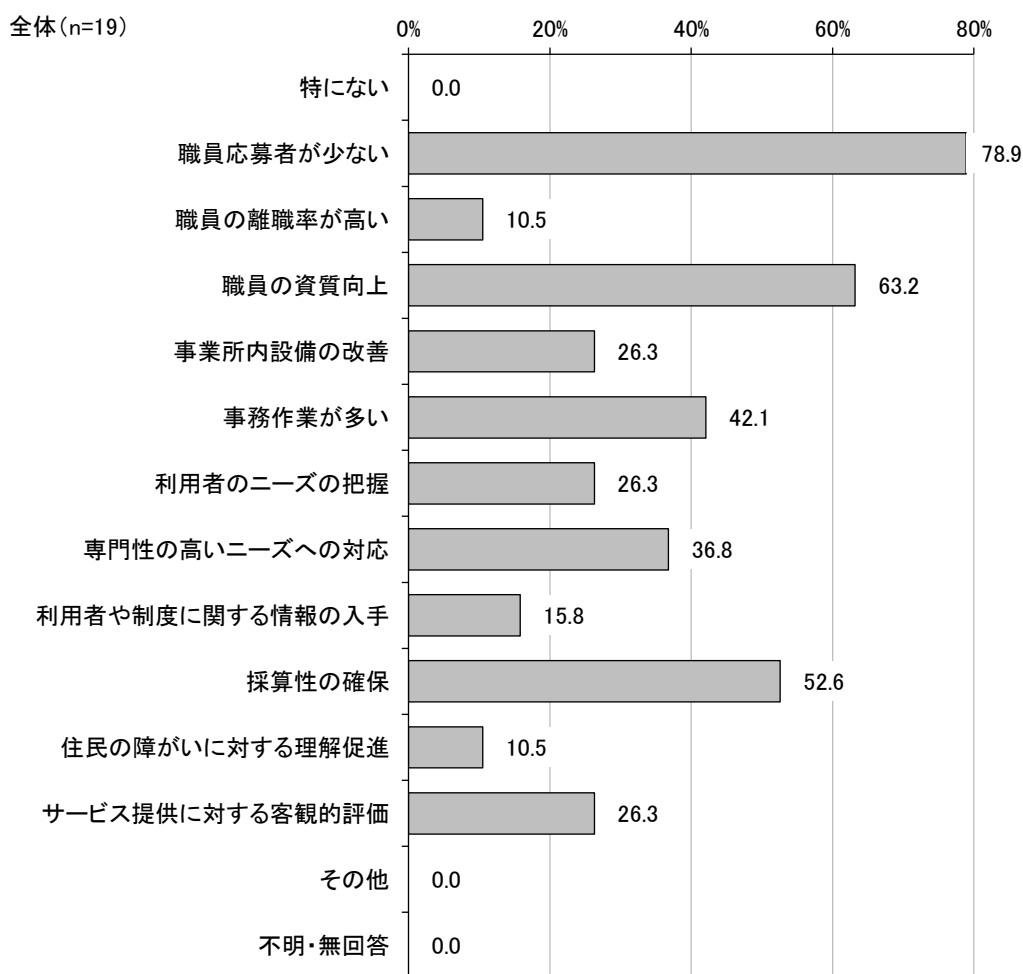
- ・ 特に経営上の課題を感じない〔1 件〕
- ・ 職員の確保〔4 件〕
- ・ 職員の資質向上〔1 件〕
- ・ 事務作業量の軽減化、効率化〔1 件〕
- ・ 報酬単価〔4 件〕
- ・ 働き方改革〔1 件〕

【障害児相談支援】〔回答数 3 件〕 ※経営上の課題を 4 つ選択している事業所 1 件の回答を含む

- ・ 職員の確保〔2 件〕
- ・ 職員の資質向上〔2 件〕
- ・ 事務作業量の軽減化、効率化〔1 件〕
- ・ 利用者や家族の制度に対する理解〔1 件〕
- ・ 報酬単価〔3 件〕

問7 提供するサービスの質の向上に向けた課題は何ですか。(複数回答)

提供するサービスの質の向上に向けた課題についてみると、「職員応募者が少ない」が78.9%と最も高く、次いで「職員の資質向上」が63.2%、「採算性の確保」が52.6%となっています。



問8 提供するサービスの質の向上に向けて、貴事業所が取り組んでいることはありますか。

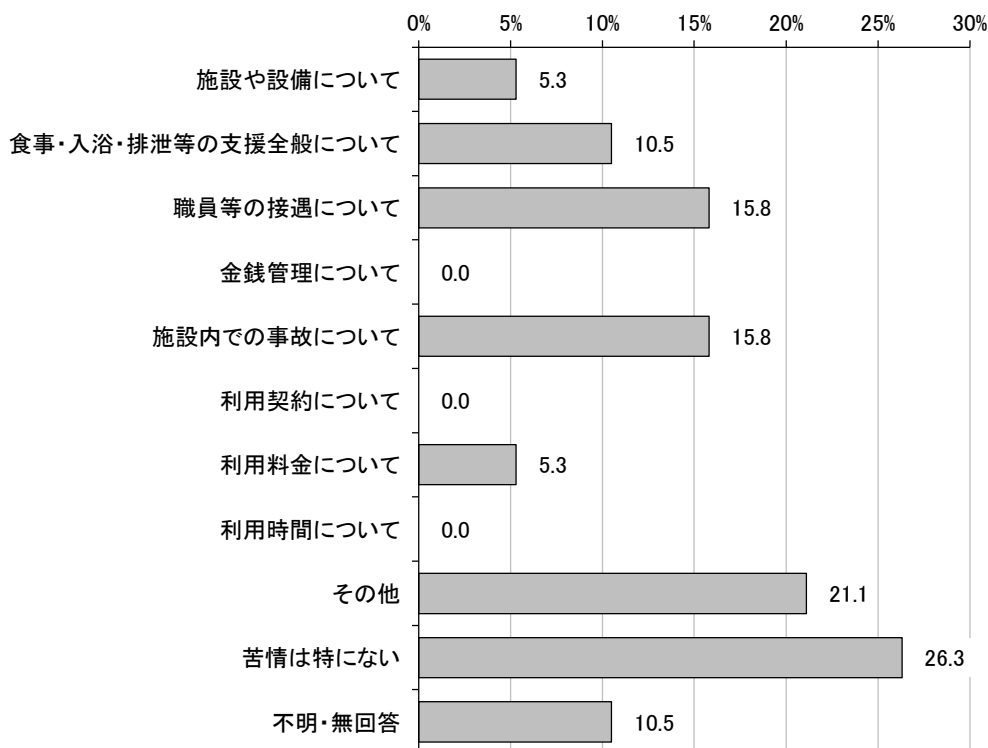
取り組みの名称	具体的な取り組み内容
研修	コンプライアンス、虐待等の研修、ガバナンス強化、苦情解決、第三者委員など
各職員の専門性を可能な限り全職員で共有する	保育士、心理士、それぞれの専門性の知識や技術をカンファレンス等を通して共有をはかる
カンファレンス	利用者を迎え（来所）前に職員間で支援の統一を図れるよう話し合う
内研修	専門的な分野毎に学べるよう整えている
研修	法人全体での研修会、各事業所単位の内部、外部研修
QOL委員会等に参加	他施設との情報共有により、効果的なサービスを取り入れている
各種委員会の設置	行事委員会、利用者自治会等、各種委員会を通じて利用者のニーズを汲み取り、安心して安全な楽しみを持った生活ができるよう支援している
職員研修の実施	毎月実施する施設内研修やスキルアップの為の外部研修等、職員の介護技術を高めサービス向上につなげている
サポーターミーティング	直接介護に携わる職員間の情報共有で、利用者のニーズ把握、環境改善等を行いサービス向上につなげている
内部研修	虐待防止、災害対策、個別支援計画に関する内容を定期開催
虐待防止チェックリスト	年2回実施、フィードバックを含めた研修の開催
相談支援員との連携強化	相談員からの急な要望に対応を行う。利用者の変化に応じて、相談員や他の事業所とも連携を行っている
定例研修会	月に1度、主任相談支援専門員が相談支援専門員に情報共有や研修会等のフィードバックを行っている
専門的研修会の参加	専門的な研修会に積極的に参加している
職員研修	利用者への支援・介助方法・自閉症支援の枠組みや特性・感染対策、心肺蘇生法など多岐にわたる内容で実施している
支援会議	重度の利用者や支援の困難なケースに対応するため支援会議を開催し、職員間で統一した支援が実施できるように協議・検討を行っている
他施設見学	利用者支援の向上を目指して、他施設への見学を実施した。
第三者評価のフィードバック	はりま総合福祉評価センターによる第三者評価を受審した。検証結果を全職員にフィードバックし共有を行った
施設整備の改善	利用者の重度化、高齢化に合わせて、作業中心の活動からレクリエーション、創作等、楽しめる活動ができるよう変更した
余暇等の活動の充実	個別または小グループでの外出の機会を調整し、利用者の意向に合わせた活動を定期的実施している
給食委員会、生活支援委員会	利用者にとって大切な“食”について、様々な角度から検証し、個々に応じた提供と共に充実を図っている
保護者会活動	定期的に情報共有、情報交換の機会をとっている。要望等を受けとめつつ、施設への理解と協力を得られるよう努めている

取り組みの名称	具体的な取り組み内容
人材確保委員会	近隣の学校等と連携し、ボランティア活動や実習等の受け入れ、学生の主体的な活動への協力を行い、見通しをもった人材確保に取り組むと共に、施設の活性化を図っている
意見交換会	他の事業所（放課後等デイサービス）との意見交換を行い、療育支援の質の向上を図っている
研修の受講	相談支援の資質の向上のため、県や民間などが主催する研修に積極的に参加している
部内研修の実施	アセスメント能力の向上や実際の事例を通して支援対応力の強化、ブラッシュアップに努めている
相談支援部研修委員会	年3回研修会を実施し、新たな知識や視点を獲得することで相談援助技術の向上や相談支援体制の充実に向けて取り組んでいる
相談支援部虐待防止委員会	年6回の定例会と、年2回の職員向けにアンケートを実施。アンケートでは、結果を検証し、日々の相談対応等をふり返る機会としている
月1回の事例検討会	—

問9 これまでに、障がい福祉サービス等の利用者からどのようなことに関する苦情がありましたか。(複数回答)

障がい福祉サービス等の利用者からの苦情についてみると、「苦情は特にない」が26.3%と最も高く、次いで「職員等の接遇について」「施設内での事故について」が15.8%、「食事・入浴・排泄等の支援全般について」が10.5%となっています。

全体(n=19)

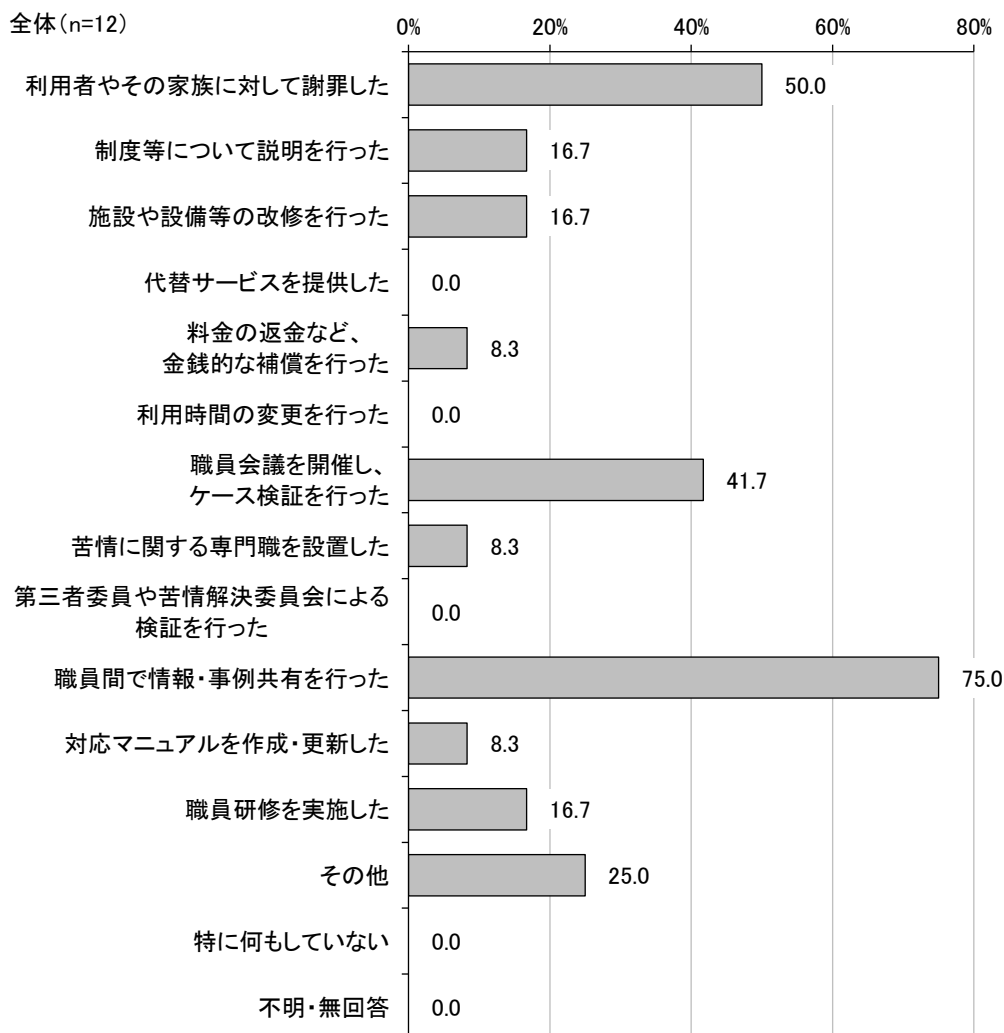


その他
他利用者の匂い（柔軟剤）
利用者支援、計画相談のモニタリング期間
電話のつながりにくさについて
苦情ではなく要望ととらえている

問9で「苦情は特にはない」以外を選択された方にお聞きします。

問10 苦情があった際に、貴事業所はどのように対応しましたか。(複数回答)

苦情があった際の対応についてみると、「職員間で情報・事例共有を行った」が75.0%と最も高く、次いで「利用者やその家族に対して謝罪した」が50.0%、「職員会議を開催し、ケース検証を行った」が41.7%となっています。



その他
物理的な距離の確保
家族と話し合う機会をとった
要望として職員間で情報共有をする

問 11 現在、貴事業所が提供している障がい福祉サービスについて、現状や課題、今後の方向性、事業充実のために必要とすることについて、ご意見をお聞かせください。

内 容
全ての障がい福祉サービスにおいて、人員確保の困難さ、賃金の安さ、今後、当団体だけでなく社会全体の問題点として行政に取り組んでほしいと思います
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営場所を今後も確保すること ・ アタッチメントと非認知能力向上を優先した療育を提供すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児発管が増えると、一つひとつの事業が更に充実すると考えます ・ 職員一人ひとりの研鑽、内研修、外研修の充実、連絡会で、他機関の方々と結びつきをより強くしていくことができれば、良いなと思います
放課後等デイサービスの開所時間と保護者の利用したい時間のずれについて、日中一時支援や学童保育、タイムケア等と連携することで改善できないかと感じています。職員（特に児童発達支援管理責任者）の確保が難しいので事業拡大が展開しにくい
利用者の応募があれば受け入れる
早朝、夜間に勤務できる職員が少ない状況です。また新たな人材の確保が難しいと感じています。人材の定着率を上げる事が大切だと感じています。利用率アップと収益の安定化を継続的に行わなければならないと考えています
地域の方々、子どもや学生たちとの交流を増やしたい。障がいについて学び知ってほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の高齢化・重度化に伴い、以前できていたことができなくなり、介助量が増えている。加えて職員の高齢化も進んでいる ・ 施設設備の老朽化が進み修理費が増え続けている。看護師等専門職が充足しない ・ 今後の方向性として、人員面では、人員募集の継続、職員の高齢化ではロボットの導入やバリアフリーへの取り組み等、設備に関しては補助金制度が必要である
曜日によって、空きがあるが、職員の人数がギリギリなので受け入れる日と出来ていない日がある
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にB型は単価が下がっており、より多くの工賃をと考え施設外就労に参加しているが、スタッフの配置に単価がおいつかない ・ B型の平均工賃によらない区分は機能しているのか疑問、低工賃の場合はそちらに切りかえるなどすすめる必要もあるのでは
職員の人材確保が出来ない（募集をかけても全く無反応）、人材派遣を雇うほどの経費もない。今の現状を維持するしかないと思っています
計画相談の新規職員の確保が難しい。計画作成に向け複数の相談支援専門員の配置をし、育成をする必要があると考える
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各班にわかれて支援していますが、特性に合わせた個別・個別対応が難しいところがある ・ 職員不足
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期入院者の収入補填 ・ 施設建て替えの際の財政的支援 ・ 自主生産品のふるさと納税商品化への促進支援
利用者の当日欠席が多く、経営的な負担が大きい

内 容
<p>一人が担当するケースが多く、また、当然だがケースによっても対応にかかる時間も様々なため、相談支援は効率よく勤務時間内に終了させることが難しい業務であると感じている。その上で、地域のニーズに応えられる事業所を目指すためには、相談員の増員、確保が必要となるが、支援、業務に求められる内容と報酬が見合わない現状があると認識している。今後については、条件（人員確保、報酬など）が揃えば、相談員を増員させ、計画相談を希望される相談者にできるだけ対応できるようにしていきたいと考えている</p>
<p>計画相談においては、指定特定相談支援事業所と役割分担を図りながら、市とも協議する中で、当事業所が受け持つ必要があると判断したケースについては対応しており、市全体として新規でサービス利用を希望される方への計画相談支援が調整できていると感じている。当事業所としては、上記の対応を図る中で、委託相談や基幹相談としての役割を全うすることも求められており、更なる業務整理や、行政等の多機関との連携が欠かせない状況である</p>
<p>現在の制度では、日払いになっているため、予約では定員を満たしていてもキャンセルが入ることは珍しくない。利用人数が減ったからと言って職員に休んでもらうことは簡単ではない（月によっては予約の半数ほどキャンセルする場合もある）。収入に見通しが持てず運営が難しい。求人をして人も来ない状況が常態化しており、仕事に見合う賃金を支払えないことが原因の1つ。職員の処遇改善は喫緊の課題である</p>
<p>介護保険サービス同様にヘルパー等担い手不足が課題となります。これからも多くの方に必要な支援が提供でき、生活の工夫を取り入れ提案できるように、自立支援に向けた取り組みは大切だと思います</p>

問 12 相談体制やサービスの情報提供について、不足していることや今後取り組むべきことについてお聞かせください。

内 容
当事業所では本人の療育と同等に保護者支援を意識しています。引き続き、児童と一番長い時間を共にするご両親の支えになれば、と思っています
まだまだ、経験の浅い職員集団であり、ご相談を受けたときに納得していただける返事ができていない事も多く、地域、関係機関の方々にはご迷惑をおかけしています。そのような中でも、関係機関の皆様には事業所の情報を地域の皆様に丁寧にご提示くださり見学、利用のご相談があります。感謝しております
<ul style="list-style-type: none"> ・法人、法人内事業所について、SNS等での発信をさらに充実しなければと感じています ・当事業所が受入可能な入居希望者の把握（待機者）を安定的にすべきと考えています
利用者家族との相談や情報共有に関して、新型コロナウイルスによる面会制限が続いており、不足している感がある。その中でも満足していただける対応を目指して、ホームページやSNSでの情報提供を検討していきたい
個別面談の機会を月に2度確保しているが、予算上人手が不足する
計画相談で利用者・保護者からのニーズはあるが、空きがないため提供できない事がある。特にヘルパー事業所が少なく、良性が大変である。市内にあった入浴施設がなくなり、障がい者が気軽に利用できなくなっている
園便りやあったかハート等で保護者にはお知らせ公表できているが、まだまだ不足していると考え。いろいろなメディアを使いもっと公表していけるようにしていく
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所、相談員が少ない ・教育・保育・医療・高齢分野との連携
急な相談への対応や緊急対応が必要な際に、十分に人を充てることが出来なかったり、余力を残して対応に当たることが難しい状況がある 事業所のみならず、市全体として、人材育成（後進の育成など）の課題は見受けられる。相談員の高年齢化や相談支援従事者の研修を受講されても、実務に就けない方もある等、相談支援体制を今後整備していくにあたり、今ある資源（人材）を有効に活用していく働きかけも必要であると感じている
利用者本位と言いながら利用料がほぼ発生しないため、必要以上の介入など計画し自立支援とはかけ離れた支援をしている（例 家事援助として毎食分、手作りの食事を提供する計画など）

問 13 加西市の計画策定にあたり、その他、ご意見がありましたらご記入ください。

内 容
いつもお世話になっております。引き続き、御指導御鞭撻宜しく申し上げます
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員さんが少なく、大変な事と思います。息の長いより細かな支援をする必要がある方に、しっかり時間がとれるよう、相談員を増やすことができれば良いと思います ・直接サービスに関わらない(必要ない)人々が正しく福祉サービスについて理解できる機会が増えると、地域全体がより優しくなるのではないかと感じます
在宅の障がいがある方が利用されるヘルパーさんが不足しているというところが何度かありました。不足する原因は様々だと思いますが、必要なサービスだと思います
担当者会議等で他市へ行くことがあります。「加西市は福祉が充実していますね。」と言われることがあります。「あんしん暮らし連絡会」に参加していますが、参加される方々との連携や加西市の福祉を充実させていくための取り組みなど良い機会にめぐまれています。問 11 にも書いていますが、地域住民との交流の機会、特に幼い子供たちから福祉に対しての学び、交流体験を通して自然に共に暮らしていける仕かけができればいいと思います。「福祉のまち加西」と誰もが言ってくれる町づくりを目指したいです
<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場の拡充と相談体制の充実 ・高齢の方が活動、過ごせる場の創出（介護保険とは別）
<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援（身体なし）の単価が最低賃金を下回っている。相談員からの相談依頼が多いが、事業所側としては厳しい所もある ・ヘルパー業務で前日キャンセルがあると、急激に経営が傾く
計画については作成した内容に対して、特に実施できなかった場合、具体的にどのような手段、方法を用いて次の期間までに取り組みを進めていくのかなどの具体的なプロセスが明確ではないこと、また結果進んでおらず、先送りになっている課題も多いと感じています。できるだけより良い方向に着実に計画が進められることを期待しておりますし、当事業所においてもご協力させていただければと考えております

第7期加西市障害福祉計画及び
第3期加西市障害児福祉計画策定に係る
アンケート調査結果報告書

発行:加西市 健康福祉部 地域福祉課 障がい者支援係

TEL:0790-42-8725

FAX:0790-43-1801

発行年月:令和5年 11 月